

# 教育事業部 事業進捗

## (1) 単位互換事業

### 【事業計画の概要及び実績】

#### <概要>

単位互換制度はこれまで 29 年にわたり加盟校が形成してきた京都ワンキャンパスの中核的な取組である。学生は加盟校が提供する約 300~400 科目程度の中から、自身の関心・意欲にあわせて受講でき、大学の枠を超えた多様性のある「学び合い」ができる制度である。国内でもこの規模で運営される単位互換は京都以外になく、京都ならではの高い教育力ある環境の維持・発展は財団の使命である。近年、教育の質保証が求められる中、加盟校ではカリキュラムの充実が図られる一方、他大学の科目履修が時間的、制度的に難しい状況となり受講者数は減少している。このため、国において単位互換を促進する形で大学設置基準の解釈を見直しされたことを背景に、以下のように改革を進めている。

#### 1. 大学設置基準の見直しに伴う事業の改善

- (1) 見直された運用方針に伴う協定校における今後の単位互換制度実施に向けた周知・助言
- (2) 協定校における学内規程及び関連ポリシー等の整備・点検の要請

#### 2. 京都ならではの特色ある科目の展開と加盟校・学生の参加の促進

- (1) 「京都世界遺産 PBL 科目」「京都ミュージアム PBL 科目」における協定校及び受入れ先との連携促進と安定運営
- (2) 協定校との連携促進による特色ある科目の拡充と広報強化

#### 3. グローバル科目の開設及び求められる e ラーニングの仕組みづくり

- (1) 大学の国際化に即したグローバル科目開設に向けた検討
- (2) 新たな IT 技術やデジタルコンテンツを活用した e ラーニングの仕組みづくりの検討

#### 4. リカレント教育の推進 「大学のまち京都」の人材育成力の向上

- (1) 加盟校等におけるリカレント教育の促進、新たなプログラムの開発に資する事業
- (2) 京カレッジ、京都学講座、大学リレー講座、教職等資格取得科目の充実

#### <実績>

##### 1. 2023 年度単位互換科目への出願状況

###### (1) 単位互換への提供科目数について

2023 年度単位互換提供科目数は 341 科目で、2022 年度当初提供科目比で 7 科目の減（▲0.97%）となり、昨年度と比較してほぼ横ばいとなっている。加盟校による提供科目の精査が過年度で一定進められたことが提供科目数の維持に影響しているものと考えられる。また、後期の提供科目では 26 大学・短期大学部（前年度比+5 校）から計 129 科目（前年度比+27 科目）の募集がされ、2022 年度と比較して募集大学数・科目数ともに増加した。

所定の条件を満たした補助金対象科目数で見ると、「プラザ・オンライン科目」と「プラザ推奨科目」をあわせ計 46 科目（総提供科目の 13.5%）が提供され、2022 年度の計 62 科目と比較して 16 科目の減（▲25.8%）であった。内訳では『オンラインのみ』が 23 科目（総提供科目の 6.7%）で 2022 年度の 32 科目から ▲9 科目となっている。

#### ◇2023 年度単位互換提供 341 科目における授業形式内訳

補助金対象「プラザ・オンライン科目」	科目数	補助金対象外	科目数
対面授業（プラザ）	14 科目	対面授業（オンキャンパス）	268 科目
対面授業（プラザ）・オンライン併用	9 科目	対面授業（オンキャンパス）・オンライン併用	26 科目
オンラインのみ	23 科目	その他	1 科目

2023 年度総提供 341 科目 うち補助金対象科目計 46 科目（総提供科目の 13.5%）

※参考 2022 年度総提供 348 科目 うち補助金対象科目計 62 科目 (総提供科目の 17.8%)

提供科目については、今後、総提供科目数の増加を目指すとともに、受講場所に左右されず ICT を活用した教育効果の高いオンライン科目が提供されるよう、補助金制度の広報を積極的に行う。また、学生がグローバルな視点を持つ機会として、「英語で学ぶ科目」に関するガイドラインを策定し、2023 年度は加盟校から英語を教授言語とする 5 科目（語学教育を主な講義内容とする科目を除く）が提供された。オンライン科目と同様に、加盟校に補助金制度を周知し「英語で学ぶ科目」の提供を広く呼び掛ける。

(2) 単位互換科目への出願者数及び履修許可者数について

前期出願期間 (3/17~4/7) の延べ出願者数は 878 名、後期出願期間 (9/1~9/15) の延べ出願者数は 348 名の計 1,226 名、2022 年度比 268 名増 (128.0%) となった。

延べ出願者数 (1,226 名) における開講場所別の出願割合は、オンキャンパス (科目開設大学による開講) 科目の延べ出願者数が 694 名 (56.6%)、キャンパスプラザ京都で開講される科目の延べ出願者数が 159 名 (13.0%)、オンラインで開講される科目の延べ出願者数が 373 名 (30.4%) であり、受講場所を選ばないオンライン科目やキャンパスプラザ京都で開講される科目を受講する割合が合計で 4 割を超える状況となっている。

延べ履修許可者数は 1,034 名で 2022 年度比 256 名の増であった。延べ出願者数に対する履修許可率 (延べ履修許可者数/延べ出願者数) では、2022 年度は 81.2% (778/958) に対して 2023 年度は 84.3% (1,034/1,226) と 3.1 ポイント増加している。

**2023 年度単位互換提供科目数・出願者数・履修許可者数 ( )内は 2022 年度数**

協定大学数	提供大学数		提供科目数	延べ出願者数	延べ出願者数 前年度比	延べ履修許可 者数	延べ履修許可 者数前年度比
大学 33 短期大学 9 合計 42※1	大学 30 短期大学 7 合計 37 (大学 29 短期大学 6 合計 35)	前期	341 (348)	878 (743)	+135 (+39)	758 (610)	+148 (-17)
		後期	129 (102) ※2	348 (215)	+133 (-42)	276 (168)	+108 (-75)
		合計	341	1,226	+268	1,034	+256

※1 短期大学部を併設しているところはそれぞれを別カウントした。  
 ※2 後期科目数については前期で科目数を確定し後期は其中で再募集を行っている。

(3) 2024 年度単位互換制度に向けた取り組みについて

- ① 7 月 14 日 (金) に第 1 回単位互換・京カレッジに関する事務担当者会議をオンラインにて開催し、各大学の事務担当者に対して 2023 年度単位互換事業に関する実施状況を報告するとともに、2024 年度単位互換事業に関する各種補助金の申請手続き等について説明を行った。
- ② 1 月 16 日 (火) にキャンパス・コンソーシアム函館、ふじのくに地域・大学コンソーシアム、教育ネットワーク中国、南大阪地域大学コンソーシアム、大学コンソーシアム大阪、大学コンソーシアム京都の関係者がオンラインにて一堂に介し、広域単位互換事業に関する意見交換会を実施した。「広域単位互換ネットワーク (仮称)」における広域型単位互換制度の展開イメージを共有の上、今後の方向性 (協議会の設置有無や開始時期等) について意見交換した。
- ③ 大阪・関西万博に向け、京都の大学生を対象とした特色ある単位互換科目として、京都光華女子大学から「産官学連携プロジェクト e~EXPO KYOTO 論 未来と世界の変え方~」という名称で科目が提供される予定である。

(4) 2024 年度科目提供及び出願期間について

各大学からの提供科目数は 339 科目 (2023 年度は 341 科目) であった。そのうち、オンラインのみで実施される科目は 10 科目 (2023 年度は 23 科目) となった。出願期間は 3/15~4/5 正午を最長として、各大学がその期間内で設定する。

## 2. 2023年度京都世界遺産 PBL 科目・京都ミュージアム PBL 科目の履修登録・科目実施状況

### (1) 履修登録状況

「京都世界遺産 PBL 科目」は 2015 年度に 6 大学・6 世界遺産による 7 科目からスタートし、9 年目となる。2023 年度は 6 大学 6 世界遺産 7 科目（前年度：5 大学 5 世界遺産 6 科目）の提供が決定した。

「京都ミュージアム PBL 科目」は、2020 年度に新たな PBL 科目として開講し、今年度で 4 年目となる。2023 年度は、3 大学・3 受入先 3 科目（前年度：4 大学・4 受入先 4 科目）の提供が決定した。しかしながら、鉄道博物館と立命館大学（科目開設大学）との連携による PBL 科目について、後期に向けて開講準備を進めていたものの、当初担当を予定していた教員による対応が困難となり、当該科目の趣旨や内容に合致する教員を確保すべく調整を進めたものの、後任を見つけるに至らなかった。これに伴い、科目開設大学から PBL 科目としての提供を取りやめる旨の申し入れがあり、年度途中ではありながらも閉講を判断することとなった。

### (2) 2023 年度世界遺産 PBL 科目・京都ミュージアム PBL 科目の特別講座、成果発表等について

#### ①インタビュートレーニング、プレゼンテーショントレーニングについて

2022 年度はそれぞれで実施したが、2023 年度に関しては、昨年度と同様に、元 NHK アナウンサーの森吉弘氏（帝京大学共通教育センター特任准教授）を講師として招き、インタビュートレーニング・プレゼンテーショントレーニングを合わせて 5 月 21 日（日）にオンラインで実施した。

当日は 46 名が参加し、うち 37 名が回答した受講者アンケート（回答率 80.4%）では、「大いに満足」が 59%（22 名）「満足」が 41%（15 名）と回答し、高い満足度が確認できた。今回の実施状況をもとに、次年度以降に関して、より一層、講義内容や受講しやすい時期などについて継続して検討していきたい。

#### ②成果報告会について

12 月開催予定の京都世界遺産 PBL 科目・京都ミュージアム PBL 科目の成果報告会は、12 月 10 日（日）に対面で開催した。

当日は、各 PBL 科目受講生、担当教員のみならず、世界遺産所有者・関係者、ミュージアム関係者にも参加いただき、各クラスの発表にコメントをいただくなど、有意義な報告会を開催することができた。

### ◇2023 年度世界遺産 PBL 科目（7 科目）履修登録者数

受入先 世界遺産	開設大学	科目名	担当教員	受講数（） 内単互生	2022 年度
①上賀茂神社	京都産業	京都の世界遺産 PBL ～上賀茂神社の魅力を学生の視点で発信する～	吉野 秋二	20 (8)	13 (4)
②清水寺	立命館	特殊講義 I 「清水寺の△△の○○（良い点）を磨け！、もしくは□□（困っている点）を救え！」	青柳 憲昌、 遠藤 直久、 宗本 晋作	9 (4)	9 (2)
③仁和寺	京都光華女子	産官学連携プロジェクト：仁和寺で学ぶ京都の観光と文化財～京都世界遺産 PBL～	大島祥子 朝比奈 英夫	11 (4)	10 (2)
④二条城	同志社	京都世界遺産 PBL 科目～最新のマーケティング手法を活用して文化遺産の問題を発見し解決する	多田 実	23 (4)	30 (12)
⑤清水寺	立命館	特殊講義（教養 E） I 「京都の文化遺産とその保護～清水地域の防災への取り組み」	大窪 健之	30 (4)	24 (2)
⑥醍醐寺	京都橘	遺産情報演習 I < a >	小林 裕子 中久保 辰夫	17 (1)	22 (0)
⑦比叡山延暦寺	龍谷	古都の仏教 一仏教大師最澄・比叡山延暦寺の魅力と現代一	道元 徹心	11 (2)	-
合計				121 (27)	108 (22)

### ◇2023 年度世界遺産 PBL 科目（7 科目）の大学別履修登録状況（単位互換生の所属大学）

受入先	①上賀茂 神社	②清水寺	③仁和寺	④二条城	⑤清水寺	⑥醍醐寺	⑦比叡山 延暦寺	合計

開設大学	京都産業	立命館	京都光華女子	同志社	立命館	京都橘	龍谷	
大谷					1			1
京都先端科学	1							1
京都産業					1			1
京都女子	1			1				2
京都芸術		1						1
京都府立医科			1					1
同志社	2	3	1					6
同志社女子	1				2			3
立命館				3			1	4
龍谷	3							3
種智院			2				1	3
京都経済短期						1		1
科目開設校	12	5	7	19	26	16	9	94
合計	20	9	11	23	30	17	11	121

#### ◇2023年度京都ミュージアム PBL 科目（2科目）履修登録者数

受入先	開設大学	科目名	担当教員	受講数（ 内単互生）	2022年度
京セラ美術館	大谷大学	フィールドワーク特殊演習（PBL）	宮崎 健司	16（2）	20（4）
京都国際マンガミュージアム	京都精華大学	コラボレーション概論 A（京都ミュージアム企画デザイン演習）	葉山 勉	14（4）	17（3）
合計				30（6）	78（24）※

※2022年度は4科目開講しており、その合計受講者数を表記

#### ◇2023年度京都ミュージアム PBL 科目（2科目）大学別履修登録状況（単位互換生の所属大学）

受入先	京セラ美術館	京都国際マンガミュージアム	合計
開設大学	大谷	京都精華	
京都産業	1	1	2
平安女学院		1	1
立命館		2	2
龍谷	1		1
科目開設校	14	10	24
合計	16	14	30

#### (3) 2024年度の実施に向けて

京都世界遺産 PBL 科目は6大学6世界遺産7科目、京都ミュージアム PBL 科目は1大学1ミュージアム1科目で実施する予定である。

#### 3. 2024年度「プラザ推奨科目」の募集について

7月14日（金）に第1回単位互換・京カレッジに関する事務担当者会議をオンラインにて開催し、各大学の事務担当者に対して申請手続き等にかかる説明を行った。9月末まで申請受付を行った結果、新規開講で2件（講義科目1件、演習・実習科目1件）、継続開講で10件の計12件のプラザ推奨科目申請があった。2023年度第2回教育事業企画検討委員会（2023.11.7開催）において審議の結果、「プラザ推奨科目」として申請された全12科目が採択された。

#### 4. グローバル科目の開設及び求められるeラーニングの仕組みづくり

##### (1) グローバル科目の開設について

2022年度に「英語で学ぶ科目」に関するガイドラインを策定し、2023年度から英語を教授言語とす

る科目（語学教育を主な講義内容とする科目を除く）で同ガイドラインの要件を満たす科目に対して科目運営補助金を支給する仕組みを構築した。その結果、加盟校3大学から5科目が提供された。2023年度も加盟校に補助金制度を周知し、引き続き「英語で学ぶ科目」の提供を広く呼び掛ける。

加えて、2024年度に向けて、6月27日（金）開催の第1回教育事業企画検討委員会において「国際共修科目」に関するガイドラインを策定した。各大学が開講する科目のうち、日本人学生と外国人留学生が共に学び合うプロセスで、学生らが互いの共通点と違いを認識して、新しい自己を発見し自己成長へとつながる学習科目（語学教育を主な講義内容とする科目を除く）で同ガイドラインの要件を満たす科目に対して科目運営補助金を支給する仕組みを構築した。9月末まで申請受付を行った結果、新規開講で3件の目申請があった。2023年度第2回教育事業企画検討委員会（2023.11.7開催）において審議の結果、「国際共修科目」として申請された全3科目が採択された。

本件については単位互換・京カレッジに関する事務担当者会議等を通じて複数回周知を行っており、引き続き単位互換制度への科目提供を促進していく。

## (2) eラーニングの仕組みづくりについて

単位互換事業においてはオンライン授業がもつ「受講機会拡大」「教育の質向上」の可能性を重視し、同授業の単位互換提供を促進するため、新たな補助金の枠組み「プラザ・オンライン科目」を制定した（従来の「プラザ科目」からの発展。教育事業企画検討委員会〔2020年11月10日開催〕にて承認）。これにより、従来キャンパスプラザ京都で実施する科目のみを支給対象としていた補助金について、キャンパスプラザ京都実施とオンライン実施を併用する科目、及びオンライン実施のみの科目にも対象を拡大した。

2023年度単位互換提供科目は341科目であり、そのうち「対面授業（オンキャンパス）・オンライン併用」は26科目（全体の7.6%）、「対面授業（プラザ）・オンライン併用」は9科目（全体の2.6%）であった。また、「オンラインのみ」は23科目（全体の6.7%）となり、コロナ禍が明け、各大学が対面授業に戻したことも影響していると思われ、軒並み昨年度より減少した。

2023年度から「プラザ・オンライン科目」に該当する科目の提供促進策として、科目運営補助金を3万円から5万円に増額するとともに加盟大学が専任教員の有無に関わらず科目を提供することができるよう申請要件の見直しを行っており、引き続き広く加盟校に周知する。

## 5. 教職等資格取得に必要な科目の履修を支援する単位互換科目充実

### (1) 日曜講座開設による京都全体の教職課程の充実

これまで京都教育大学のオンキャンパス科目として開講されてきた教職科目は、2021年度からその一部を日曜日に集中講義形式で行うプラザ科目（「教職日曜講座」）として開講することとしてきたが、これまでの受講者数等を勘案し、2023年度は平日に5科目（10単位）をオンキャンパス科目として提供された。

### 【実施スケジュール（主要事項）】

3月17日～4月7日	出願期間
4月14日	履修可否通知メール配信（AM5:00～）
5月21日	PBL科目インタビュー・プレゼンテーショントレーニング講座
6月27日	第1回教育事業企画検討委員会
7月14日	第1回単位互換・京カレッジ事務局担当者会議
7月下旬～9月下旬	前期・夏期集中科目対象アンケート
7月30日～8月6日	前期試験・レポート提出期間（基本）
8月8日～9月20日	夏期集中科目開講
9月1日～9月15日	後期出願期間（この期間内で各大学で期間設定）
9月21日	後期科目開講開始
9月16日～9月21日	科目提供大学履修可否入力期間
9月22日	単位互換後期履修可否通知メール配信（AM5:00～）
9月下旬	2023年度プラザ推奨科目の2024年度「新規・更新」「継続」申請締切
11月7日	第2回教育事業企画検討委員会
11月17日	第2回単位互換・京カレッジ事務局担当者会議

12月10日	PBL科目全体成果発表会
11月17日～1月15日	2024年度単位互換・京カレッジシラバス入力期間
12月23日～1月4日	冬期講義停止期間
1月下旬～2月下旬	後期・通年科目対象アンケート
1月24日～1月30日	後期試験・レポート提出期間
2月6日	科目提供大学から学生所属大学への成績通知締切
2月中旬	シラバス校正・修正期限、キャンパスプラザ教室確保
2月下旬	単位互換・京カレッジポータルサイト年度切替日
3月上旬	各種チラシ及びウェブサイト学生公開、大学案内
3月15日～4月5日	2024年度単位互換科目出願期間（この期間内で各大学で期間設定）

## (2) 生涯学習事業（京カレッジ）

### 【事業計画の概要及び実績】

#### <概要>

京カレッジにおいて、「大学講義」、「市民教養講座」、同講座における「京都力養成コース」、「教養力養成コース」、2022年度から新たに開始した「リカレント教育プログラム」の5分野で約170科目を開講し、出願者は延べ1,200名規模となり、特にシニア層の利用が中心となっている。また、加盟校の生涯学習プログラムを紹介する大学リレー講座によって、市民を加盟校プログラムの受講に繋ぐなどを含めて、市民の学ぶ意欲に応える加盟校の教育環境の充実を促進している。

5ステージでは、職業人や社会人の継続的な学び＝「リカレント教育」の環境充実が大学に求められている。近い将来において、加盟校がその特徴を活かした形で、社会人の生涯を通じての「学びの継続」に応える大学に変わること为目标に、以下のように新たな取組みを展開する。

#### 1. 加盟校等におけるリカレント教育の実践促進

- (1) 加盟校が実施するリカレント教育の先行事例調査を行う
- (2) 加盟校プログラムの市民紹介企画を計画する

#### 2. 社会人、シニア層を対象とした新たな大学プログラムの開発に資する事業の実施

- (1) 社会人対象リカレント教育の実験的プログラムを検討する

#### 3. 京カレッジ、京都学講座、大学リレー講座の充実

- (1) 大学連携による京都学講座、大学リレー講座の実施促進

#### <実績>

##### 1. 2023年度生涯学習事業京カレッジ出願状況について

- (1) 提供科目数、出願者数、受講許可者数等について

①5分野で大学講義・公開講座を168科目（前年度179科目）提供する。

##### 1) 大学講義（A～I）

単位修得も可能な科目（科目等履修生・聴講生）

##### 2) 市民教養講座（J）

健康・芸術・文化など幅広く学べる講座

##### 3) 市民教養講座 京都力養成コース（K）

京都をより深く学べるコース

##### 4) 市民教養講座 教養力養成コース（L）

フィールドワークを通じて文化力・地域力（地域人材の育成）の向上を目的としたコース

##### 5) リカレント教育プログラム（R）

働く世代に向けて企画した、スキルを高め視野を広げるための講座

②2023年度は168科目が提供され、2022年度179科目より11科目の減少となった。前期出願者実数は967名（2022年度前期801名）、延べ1,298名（2022年度前期1,249名）となった。後期出願は、前期募集にて定員に満たなかったものを中心に45科目（前年度比-10科目）の提供を受け、7

月15日（土）に募集情報を公開し、8月8日（火）～8月22日（火）に出願受付を行った。また、リカレント教育プログラム「現代の教養講座『宇宙移住の現在・未来について』」後半プログラムについて出願受付した結果、新規出願者数は合計36名（前年度比+14名）、延べ出願者数は71名（前年度比+42名）となった（出願対象外科目へ出願した2名を除く）。

- ③2021年度から紙出願票に加えWEBから出願できるように「京カレッジWEB出願システム」を構築した。募集ガイドや案内チラシを中心に積極的に利用促進を図った結果、前期のリカレント教育プログラム出願者を除く出願者延べ1,142名の出願中、675名（59.1%）がWEB出願を利用し、前年度744名（59.5%）とほぼ横ばいとなった。2年連続で約60%の利用者がWEB出願を活用していることから、今後WEBを活用した京カレッジ事業のさらなる受講促進に向けて期待が持てる結果となった（リカレント教育プログラムについてはすべてWEB出願のみ）。

◇2023年度京カレッジの出願状況について ※（ ）内は2022年度数

科目提供 大学数	提供 科目数	出願 科目数 ※1	出願者数						受講許可者 延べ数
			実数			延べ数			
			前期	後期	合計	前期	後期	合計	
25 (23) 大学・ 短期大学 2 (2) 機関	168 (179)	82 (83)	967 (801)	36 (22)	1,003 (823)	1,298 (1,249)	71 (29)	1,369 (1,278)	968 (781)

※1 前期出願のみの科目数を記載

(2) 2024年度京カレッジの科目提供及び出願について

2024年度は177科目が提供され、2023年度165科目より12科目の増加となった。また、2024年度募集ガイド請求件数は3/2AM時点で200件（昨年度368件）であり、2023年度に比して減少している状況である。出願期間は3/2～3/15に設定しており、WEB出願システム及び出願票にて受付を行う。

2. 2023年度京都学講座「京都と“えんため”」の実施状況について

(1) 京カレッジ・京都学講座開講記念講座の実施について

2023年3月4日（土）に瞳みのる氏（（ザ・タイガース）音楽家、著作家）、京都産業大学文化学部教授の小林一彦氏を招聘のうえ実施した。申込653件の中から抽選により250名の受講者を決定し講座を実施した。

(2) 基本講座及び実地講座に関わる状況について

- 1) 2023年度の定員は、2022年度の260名から400名に変更して募集した結果、出願者数は650名であった（2022年度は536名）。時勢にあった講座テーマを設定することができたため、コロナ禍前の2019年度水準（523名）を超える出願者数を確保することができた。
- 2) 当選者・落選者に案内を送付し、受講料納付を経て385名の受講が決定した。
- 3) 新たな取り組みとして、すでに受講した方には復習でより学びを深めるために、今後受講を検討されている方や受講を迷っている方には、講座の様子や雰囲気少しでも体験できるように、実施した一部の講義をオンライン視聴（YouTube 限定公開によるオンデマンド配信）できるよう環境構築を行った。新規受講者獲得にも繋がるよう今後広報活動を進めていく。

◇2023年度京都学講座実施状況について

回	開講日	テーマ	講師 *敬称略	参加者 午前 午後
特別	3/4	あの素晴らしいエンタメの時代 －1960年代後半のめくるめく京都－	瞳みのる 小林一彦	183

基本①	5/13	京の今日の狂言 －歴史と特色、楽しみ方－	森西 真弓	169 159
基本②	5/27	京都でフォークと出会った青春	杉田 二郎 川島 智生	168 160
基本③	6/3	日本アニメ史入門 －日本アニメ人気の理由を歴史から探る－	津堅 信之	155 131
基本④	6/17	義満と世阿弥 －日本独自の演劇「能」のルーツを探る－	井沢 元彦 川島 智生	163 151
基本⑤	7/8	落語に親しむ －落語の雑学あれこれ－	桂 よね吉	169 151
基本⑥	8/5	京神輿学事始め －神輿は誰が、どのように昇くのか－	中西 仁	151 147
基本⑦	9/9	京都における三味線音楽の楽しみ －三味線音楽の今と昔、その魅力－	重森 三果	155 141
基本⑧	10/7	フォークルとパッチギの京都	松山 猛 川島 智生	145 137
基本⑨	10/21	都をどりの歴史と現在 －都をどりの構成・作詞者として－	植木 朝子	155 135
基本⑩	12/16	18世紀の京都画壇 －若冲、蕪村、応挙、芦雪－	岡田 秀之	144 137
実地①	7/29	大江能楽堂能楽体験鑑賞講座 －明治の香り高き能楽堂で－	大江 美智子 ディエゴ・ベレッキア	95
実地②	12/23	花街のしきたりと空間 －祇園甲部歌舞練場とお茶屋－	杉浦 京子 川島 智生	50 49

※「出席者数」には学生特別枠（基本講座のみ）での参加も含めている。

### 3. 2023年度大学リレー講座の実施状況について

#### (1) 実施状況

- 1) 京都学、宗教、歴史・文学、健康、自然科学への関心が高く、それを意識した講義テーマで2023年度は11大学1短期大学12講座で実施。
- 2) 平均受講者数は2016年度約60名、2017年度は約140名、2018年度・2019年度は約210名と推移しており、市民への認知度は高まっている。2020年度から感染症対策として定員130名とした結果、平均受講者数は2020年度約103名、2021年度約92名であった。2022年度はコロナ対策ガイドラインの範囲内で定員を再設定し、平均受講者数は約131名となっている。
- 3) 2023年度は、各回で定員を200名に設定するとともに、受講方法をこれまでの当日先着順から事前申込制に変更して実施した結果、平均受講者数は約107名であった。

#### ◇2023年度大学リレー講座実施状況について（無料・事前申込制 定員200（6/10のみ150））

回	講座日	開講大学	テーマ	担当教員	申込者 参加者
1	5/6	佛教大学	法然のロジック	市川 定敬	200 147
2	5/20	京都先端科学大学	動物と人間の違いは何か？ －食べることの意味から環境問題を考える－	田中 和博	169 120
3	6/10	京都文教大学	認知症とともに生きる －認知症にやさしいまちの実現に向けて－	平尾 和之	137 100
4	6/24	京都精華大学	多様な価値観を認め合う「共生社会」のあり方 を考える	ウスビ・サコ	134 101
5	9/2	花園大学	平安貴族社会と平安京	中町 美香子	200 155
6	11/4	大谷大学	日常生活と健康管理 －インドの伝統文化から学ぶ－	ダシュ ショバラニ	141 105



7	11/18	京都文教短期大学	スリランカの社会と仏教	仲宗根 充修	112 80
8	11/25	京都女子大学	透明人間、ヌードになる －SFの前と後－	中前 正志	95 64
9	12/9	平安女学院大学	シンデレラとサンタクロース	高橋 義人	95 76
10	12/23	同志社女子大学	京都南郊に向けられた観光のまなざし	天野 太郎	133 97
11	2/3	種智院大学	即身成仏 －仏になるとはどういうことか？	松本 峰哲	170 146
12	2/24	龍谷大学	死に対する悩みとカウンセリング	児玉 龍治	126 96

#### 4. 2022 年度以降の生涯学習事業推進にあたって

##### (1) リカレント教育関係の推進

- ・第5ステージプランとして大学におけるリカレント教育を推進するため、2019年6月25日第1回教育事業企画検討委員会において、財団のリカレント教育の推進方針（定義とビジョン）と「リカレント教育企画検討委員会」の設置と役割について決定した。

【財団で検討するリカレント教育の定義】「現役で働く人・世代」が、教養的なものよりも、様々な職種での力量形成を含めた「働くことに係る学び直しや継続的な学び」とする。

【財団のリカレント教育推進のビジョン】10年後の京都の大学が、「生涯を通して学びたいときに学びたいものを学ぶための大学」として、多くの社会人の知的好奇心に応えることに留まらず、各年齢段階の多様な職業、社会での様々な役割を持つ人に対して、人生の現在と未来において、どのように仕事をしていくかという学びの場としても機能していること。このリカレント教育の展開によって、「大学のまち京都、学生のまち京都」として、「学生と社会人の学び合い」が盛んに行われ、そこで取り込まれる新たな価値の創造を通じて、京都の各大学が持続的に人材育成力を高めていること。財団はこのビジョンの下、加盟校支援と加盟校の取り組みをリードする事業を行う。

##### (2) 2023 年度リカレント教育プログラムの実施状況について

- 1) 2023年4月22日に開催した特別講演「土井隆雄宇宙飛行士に聞く『有人宇宙活動』」申込者数は213名、当日の参加者数は140名であった。宇宙飛行士から直接話を聞ける機会だったこともあり、企画やその内容に関して、多くの参加者から好評をいただいた。
- 2) 2023年度は、「現代の教養講座『宇宙移住に向けた最先端研究と企業技術』」、「働く人のためのデータサイエンス講座-現場で使える分析法・処理法-」、「現代の対人援助に必要なこと-新しい領域と課題の生成をめぐって」の3講座を開講する。「現代の教養講座『宇宙移住に向けた最先端研究と企業技術』」前半プログラムの申込者は55名、受講者は49名（50代以下71.4%、60代以上28.6%）、「働く人のためのデータサイエンス講座-現場で使える分析法・処理法-」の申込者は27名、受講者は21名（50代以下61.9%、60代以上38.1%）、「現代の対人援助に必要なこと-新しい領域と課題の生成をめぐって」の申込者は73名、受講者は64名（50代以下78.1%、60代以上21.9%）、「現代の教養講座『宇宙移住に向けた最先端研究と企業技術』」後半プログラムの申込者は54名、受講者は39名（50代以下82.0%、60代以上18.0%）であった。

#### ◇働く人のためのデータサイエンス講座－現場で使える分析法・処理法－

回	講座日	テーマ	担当教員	当日受講者
1	6/24	10:30-12:00 「違いがあるといえるか調べよう (1) 」	土田 潤	16
		13:00-14:30 「違いがあるといえるか調べよう (2) 」		
		14:45-16:15 「要因の効果があるか判定しよう」		
2	7/1	10:30-12:00 「ある変数の値をいくつかの変数の値から予測しよう」	谷岡 健資	17
		13:00-14:30 「多数の変数を少数の変数に要約しよう」		

		14:45-16:15 「データの奥にある要因を求めよう」		
3	7/15	10:30-12:00 「データをグループに分けよう」	谷岡 健資	9
		13:00-14:30 「実際の分析に向けて」		
		14:45-16:15 「現実的な課題にチャレンジしよう」		

#### ◇現代の教養講座『宇宙移住に向けた最先端研究と企業技術』

開講	講座日	テーマ	担当教員	当日受講者
特別講演	4/22	土井隆雄宇宙飛行士に聞く有人宇宙活動	土井 隆雄	140

開講	回	講座日	テーマ	担当教員	当日受講者
前半	1	6/1	宇宙移住のための「コアバイオームコンセプト」	山敷 庸亮	40
	2	6/15	恒久的な宇宙居住に向けた人工重力施設研究	大野 琢也	27
	3	6/29	ムーンビレッジ・月に社会を作ることを考える	稲谷 芳文	21
	4	7/13	宇宙移住に関する国際宇宙法	青木 節子	17
	5	7/27	宇宙環境での人への影響 ー将来の宇宙移住を目指してー	寺田 昌弘	18
後半	1	10/5	宇宙移住のための「コアテクノロジー」	山敷 庸亮	28
	2	10/19	宇宙で地球外生命体の存在を探る	佐々木 貴教	18
	3	11/2	宇宙木材工学	村田 功二	14
	4	11/16	将来の長期的月面探査に資する研究及びその地上における社会実装	稲富 裕光	14
	5	11/30	宇宙における水産養殖の研究と地上の先端技術	遠藤 雅人	13

#### ◇現代の対人援助に必要なこと -新しい領域と課題の生成をめぐる-

回	講座日	テーマ	担当教員	当日受講者
1	7/7	社会的養育の子どもとライフストーリーワーク	徳永 祥子	38
2	7/28	治療的司法の現場から ー万引き事案を中心に、障害事案も含めてー	西谷 裕子	25
3	8/25	食と対人援助：精神疾患患者への食を通じた精神栄養学的アプローチ	井戸 由美子	17
4	9/8	対人援助に関わる人が“受援”するとき	黒瀧 安紀子	15
5	9/22	子ども・若者ケアラーの現状と支援をめぐる課題	斎藤 真緒	12
6	10/6	多様な人々で構成する「共生社会」を生き抜く力について	ウスビ・サコ	14

#### 5. 2024年度の生涯学習事業にむけて

##### (1) 京カレッジ・京都学講座開講記念講座、基本講座、実地講座について

7月25日(火)に第1回京都学企画検討委員会を開催し、次年度のプログラムについて企画検討を開始した。次年度は「新しい京都の観光」を総合テーマに、今後、講師の選定・依頼を行う予定

で検討が進められた。開講記念講座 1 講座、基本講座 10 講座、実地講座 2 講座の登壇候補者及び各回テーマが決定し調整を進めている。

・2024 年 3 月 2 日の開講記念講座について、新聞広告や京カレッジ受講生への案内等により広報を開始し、WEB 受付フォーム又は往復はがきにて 2 月 19 日を締め切りとして応募受付を行った。応募数（延べ）は WEB：257 件（88.9%）、往復はがき：32 件（11.1%）の計 289 件（実人数：260 名／昨年度 653 件）であった。定員 250 名に設定してはいたものの、講座当日に一定数の欠席者が発生することを見込み、応募者全員を受講可として 2 月 24 日に通知を行った。開催当日は 187 名が受講し、受講者アンケートでは 68.2%が満足したとの回答であった。

#### ◇2024 年度京都学講座

講座種別	開講予定	テーマ -サブタイトル-	講師 *敬称略	所属等
特別	3/2	古都・京都観光の持続可能な発展を考える	山上 徹 川島 智生	同志社女子大学 名誉教授 神戸情報大学院大学 客員教授
基本①	5/11	アニメツーリズムの今、そしてこれから -「聖地化」の観点から京都を見る-	山本 寛	アニメーション監督 山本寛事務所 代表取締役
基本②	5/25	オーバーツーリズム最新事情から見る新たな課題 -鎌倉・ヴェネチアなど国内外の例を中心に-	佐滝 剛弘	城西国際大学 観光学部 教授
基本③	6/8	着地型観光にみる一歩進んだ観光形態と将来性 -郊外型観光から街中観光へ-	山村 純也	株式会社らくたび 代表取締役
基本④	6/22	「光る君」の生きた京都 -再生する『源氏物語』の世界-	須藤 圭	福岡大学 人文学部 日本語日本文学科 准教授
基本⑤	7/13	近代初頭における京都観光と京名所 -国内外の旅行者は京都で何を観て、 体験したのか？-	長谷川 奨悟	天理大学 国際学部日本文学科 講師 (2024 年 4 月就任予定)
基本⑥	9/21	みんなで作る京都観光 -市民、観光客、観光事業者・従事者、 そして未来。“四方よし”の持続可能な観光へ-	京都市 産業観光局 観光 MICE 推進室 職員	
基本⑦	10/12	京都の観光政策の過去・現在・未来 -持続可能な京都観光をめざして-	若林 靖永	京都大学 客員教授 名誉教授 佛教大学 社会学部 公共政策学科 教授
基本⑧	11/9	ダークツーリズムの可能性 -新しい京都の可能性-	井出 明	金沢大学 国際基幹教育院 教授
基本⑨	11/30	ツーリストシップで問う、新しい旅行の仕方 -ツーリストにも、スポーツマンシップのように シップなるものがあれば？-	田中 千恵子	一般社団法人 ツーリストシップ 代表理事
基本⑩	12/21	みんながしあわせになる 京都観光 -『持続可能な京都観光に関する 83 指標』を 考察する-	豊田 陽 川島 智生	豊田旅行 代表 神戸情報大学院大学 客員教授
実地①	7/20	町衆が担う祇園祭の実態と見所とは -山鉦巡行以外の祇園祭の楽しみ方-	山村 純也	株式会社らくたび 代表取締役
実地②	12/12	京都観光のメッカ清水にある歴史的建造物を守って -京都を代表する洋風住宅 清水 五龍閣-	上田 闕三郎 川島 智生	清水順正 会長 神戸情報大学院大学 客員教授

#### (2) 2024 年度大学リレー講座の開講について

2023 年度第 2 回教育事業企画検討委員会（2023.11.7 開催）において 2024 年度の実施方針等が承認され、2023 年 12 月 11 日（月）を期日として募集した結果、下記のとおり 10 大学 1 短期大学による計 11 講座が決定した。

#### ◇2024 年度大学リレー講座

開講予定	大学	タイトル	講師 *敬称略
5/4	佛教大学	『源氏物語』を読む-裏の主題と影の主役-	神原 勇介

5/18	京都先端科学大学	健康寿命延伸に向けた食品の持つ栄養や機能性について	藤田 裕之
6/29	京都文教大学	仏典は言い訳する	平岡 聡
8/24	花園大学	和歌から見る平安人の暮らしとところ	鎌田 智恵
9/28	京都文教短期大学	年齢はただの数字でしかない ～100歳時代を健康に生きる運動と食～	森井 秀樹
10/19	嵯峨美術大学	嵯峨大念佛狂言を知る	芳野 明
10/26	種智院大学	天平の僧・行基菩薩とその社会救済	佐伯 俊源
11/2	大谷大学	やさしい哲学的幸福論	西尾 浩二
12/7	平安女学院大学	サンタクロースの文化人類学	高橋 義人
12/14	同志社女子大学	"富良野はなぜ観光地になったのか？ —観光地化・地域活性化に向けての可能性—"	天野 太郎
2/22	京都精華大学	陶芸家・石黒宗磨が遺した工房と陶片	中村 裕太 米原 有二

(3) 2024年度京カレッジ「市民教養講座（京都力養成コース・教養力養成コース）」の採択について  
2023年7月から募集していた2024年度「市民教養講座（京都力養成コース・教養力養成コース）」では計7件（新規3件／継続4件）の申請があり、2023年度第2回教育事業企画検討委員会（2023.11.7開催）において全申請が採択された。

(4) 2024年度のリカレント教育プログラムについて  
2023年7月18日（火）に第1回リカレント教育企画検討委員会を開催し、下記の3プログラムを開講することが決定した。

◇働く人のためのデータサイエンス講座—現場で使える機械学習—

回	実施日	講義テーマ	講師氏名	講師肩書
1	6/8	機械学習概論	黄 宏軒	福知山公立大学 情報学部 教授
		決定木		
		ベイズ識別	大塚 琢馬	NTTコミュニケーション科学基礎研究所 協創情報研究部 主任研究員
2	6/29	パターンマイニング	馬 強	京都工芸繊維大学 情報工学・人間科学系 教授
		ロジスティック識別	桂井 麻里衣	同志社大学 理工学部インテリジェント情報工学科 准教授
		サポートベクトルマシン		
3	7/13	ニューラルネット	宮森 恒	京都産業大学 コンピュータ理工学部 教授
		深層学習		
		生成系AI		

※開催方法：ハイフレックス

◇現代の教養講座—宇宙移住に向けた社会構築—

回	実施日	講義テーマ	講師氏名	講師肩書
---	-----	-------	------	------

前半	1	6/6	宇宙移住に向けたコアソサエティの条件（Ⅰ）	山敷 庸亮	京都大学大学院総合生存学館 教授、 京都大学 SIC 有人宇宙学研究センター長
	2	6/13	超速でわかる！宇宙ビジネス	片山 俊大	一般社団法人 Space Port Japan 共同創業者&理事
	3	6/27	宇宙居住のための人工重力研究	大野 琢也	鹿島建設株式会社 イノベーション推進室 担当部長
	4	7/18	サーキュラーエコノミーが拓く宇宙移住	大貫 美鈴	宇宙ビジネスコンサルタント
	5	7/25	宇宙環境での人体への影響～宇宙医学から宇宙居住を考える	寺田 昌弘	京都大学宇宙総合学研究ユニット 特定准教授
後半	1	10/3	宇宙移住に向けたコアソサエティの条件（Ⅱ）	山敷 庸亮	京都大学大学院総合生存学館 教授、 京都大学 SIC 有人宇宙学研究センター長
	2	10/17	月に持続的な社会をつくる・・・人類の宇宙進出について考える	稲谷 芳文	宇宙航空研究開発機構 名誉教授
	3	10/24	民間が続々参入する有人宇宙分野の世界トレンド	森 裕和	宇宙ビジネスコンサルタント、Blue Abyss Cofounder and VP of Business Development
	4	11/7	宇宙移住に向けた国際宇宙法	青木 節子	慶應義塾大学 大学院法務研究科 教授
	5	11/14	こころの進化と宇宙	足立 幾磨	京都大学霊長類研究所 准教授

※開催方法：オンライン

### ◇対人援助のフロンティアよりよく生きるための支援とは何かを考えるー

#### <オンデマンド講義>

回	講義テーマ	講師氏名	講師肩書
1	対人援助職の受援 ーCOVID-19、能登半島地震の経験を通してー	黒瀧 安紀子	京都橘大学看護学部 准教授
2	対人援助における心身の健康と精神栄養学的アプローチ	井戸 由美子	京都女子大学家政学部食物栄養学科 教授
3	生まれた家庭から離れて暮らす子どものライフストーリーワーク	徳永 祥子	立命館大学/ ウェスタンシドニー大学客員研究員
4	人間的な刑事裁判を目指して～治療的司法の取り組み	西谷 裕子	弁護士・大阪弁護士会所属リバティ 総合法律事務所
5	ヤングケアラー/ケアラーの視点から考える家族まるごと支援	斎藤 真緒	立命館大学産業社会学部 教授
6	「多文化」カウンセリングとマイクロアグレッション： ラポール形成を阻害する無自覚な差別の存在	丸一 俊介	在日コリアンカウンセリング&コミュニ ティセンター長、障害福祉サービ ス事業所ほっとハウス所長、精神保 健福祉士・公認心理師
		朴 希沙	在日コリアンカウンセリング&コミュニ ティセンターカウンセラー、 臨床心理士・公認心理師
7	第三者に何ができるか！？ ー目の前で起きるパワーハラスメントへの介入方法を学ぶ	西井 開	立教大学・ 日本学術振興会特別研究員（PD）
8	学生ジョブコーチによる就労支援の取り組みから考える対人援助	中鹿 直樹	立命館大学総合心理学部 教授

#### <演習（対面）>

回	実施日	講義テーマ	講師氏名	講師肩書
1	12/15	対人援助のフロンティア	中村 正	リカレント教育企画検討委員会委員長・立命館 大学 特任教授

### 【実施スケジュール（主要事項）】

4月1日～5月上旬	履修可否通知（各大学から出願者へ文書にて通知）
4月上旬	京都学講座受講許可者発送
4月19日	京都学講座 受講料振込期日 受講許可者最終決定
4月22日	リカレント教育プログラム特別講演「土井隆雄宇宙飛行士に聞く有人宇宙飛行」
5月6日	大学リレー講座開講日＜佛教大学＞
5月13日	京都学講座開講日＜第1回＞
5月20日	大学リレー講座開講日＜京都先端科学大学＞
5月27日	京都学講座開講日＜第2回＞
5月下旬	京都学講座実地講座可否通知
5月下旬	京カレッジ会員証発行
6月1日	リカレント教育プログラム「現代の教養講座 宇宙移住に向けた最先端研究と企業技術」
6月3日	京都学講座開講日＜第3回＞
6月10日	大学リレー講座開講日＜京都文教大学＞
6月15日	リカレント教育プログラム「現代の教養講座 宇宙移住に向けた最先端研究と企業技術」
6月27日	第1回教育事業企画検討委員会
6月17日	京都学講座開講日＜第4回＞
6月24日	リカレント教育プログラム「働く人のためのデータサイエンス講座」
6月24日	大学リレー講座＜京都精華大学＞
6月29日	リカレント教育プログラム「現代の教養講座 宇宙移住に向けた最先端研究と企業技術」
7月1日	リカレント教育プログラム「働く人のためのデータサイエンス講座」
7月7日	リカレント教育プログラム「現代の対人援助に必要なこと」
7月8日	京都学講座開講日＜第5回＞
7月13日	リカレント教育プログラム「現代の教養講座 宇宙移住に向けた最先端研究と企業技術」
7月14日	第1回単位互換・京カレッジ事務局担当者会議
7月15日	後期出願科目発表
7月15日	リカレント教育プログラム「働く人のためのデータサイエンス講座」
7月18日	第1回リカレント教育企画検討委員会
7月25日	第1回京都学企画検討委員会
7月27日	リカレント教育プログラム「現代の教養講座 宇宙移住に向けた最先端研究と企業技術」
7月28日	リカレント教育プログラム「現代の対人援助に必要なこと」
7月29日	京都学講座 実地講座①
8月5日	京都学講座開講日＜第6回＞
8月25日	リカレント教育プログラム「現代の対人援助に必要なこと」
8月30日	出願者データアップロード、出願票の開講大学への送付
9月2日	大学リレー講座＜花園大学＞
8月8日～8月22日	後期出願期間
9月8日	リカレント教育プログラム「現代の対人援助に必要なこと」
9月9日	京都学講座開講日＜第7回＞
9月22日	リカレント教育プログラム「現代の対人援助に必要なこと」
9月29日	第2回京都学企画検討委員会
10月5日	リカレント教育プログラム「現代の教養講座 宇宙移住に向けた最先端研究と企業技術」

10月6日	リカレント教育プログラム「現代の対人援助に必要なこと」
10月7日	京都学講座開講日<第8回>
10月19日	リカレント教育プログラム「現代の教養講座 宇宙移住に向けた最先端研究と企業技術」
10月21日	京都学講座開講日<第9回>
10月31日	第2回リカレント教育企画検討委員会
11月2日	リカレント教育プログラム「現代の教養講座 宇宙移住に向けた最先端研究と企業技術」
11月4日	大学リレー講座開講日<大谷大学>
11月7日	第2回教育事業企画検討委員会
11月16日	リカレント教育プログラム「現代の教養講座 宇宙移住に向けた最先端研究と企業技術」
11月17日	第2回単位互換・京カレッジ事務局担当者会議
11月18日	大学リレー講座開講日<京都文教短期大学>
11月中旬～1月中旬	シラバス入力期間
11月25日	大学リレー講座開講日<京都女子大学>
11月30日	リカレント教育プログラム「現代の教養講座 宇宙移住に向けた最先端研究と企業技術」
12月8日～13日	第3回京都学企画検討委員会（メール審議）
12月9日	大学リレー講座開講日<平安女学院大学>
12月16日	京都学講座開講日<第10回>
12月23日	京都学講座 実地講座②
12月23日	大学リレー講座開講日<同志社女子大学>
1月26日	第3回リカレント教育企画検討委員会
2月3日	大学リレー講座開講日<種智院大学>
2月上旬	ポスター・京都学リーフレット配布開始（市・関連施設）
2月中旬	京カレッジ・京都学講座新聞広報
2月中旬	京カレッジ・京都学講座開講記念講座応募締切
2月中旬	シラバス校正・修正締切
2月24日	大学リレー講座開講日<龍谷大学>
3月2日	2024年度京カレッジ・京都学講座『新しい京都の観光 ―誰もが満足できる持続可能な観光をめざして―』開講記念講座 「古都・京都観光の持続可能な発展を考えるーオーバーツーリズムを超えて」 2024年度科目公表、募集ガイド・大学リレー講座チラシ配布開始
3月2日～15日	2024年度京カレッジ出願期間
3月下旬	出願票・出願者データの各大学への送付

### (3) インターンシップ事業

#### 【事業計画の概要及び実績】

<概要>

財団によるインターンシップ・プログラムは、これまで25年にわたり、学生の大学から社会への接続を目的としたキャリア教育として大学連携によって展開している。近年は加盟校、企業・団体がそれぞれインターンシップを行うようになり、新卒採用目的を含めてインターンシップが普及したことから、財団による比較的期間が長いプログラムへの学生参加と受入協力の企業・団体が減少している。一方で、学生が十分な企業研究や職業意識の形成ができていない状態での進路選択が多いことへの懸念に加え、京都地域の産業活性化に資するインターンシップのあり方の研究の必要性も出されている。このような状況を踏まえ、学生が職業観を深め、京都地域の各種産業への関心を高め、受入先団体の組織改善に資するという、京都全体での人材育成と社会活性化を促進するインターンシップを進める。

## 1. 学生の成長と企業・団体の活性化に資するインターンシップ・プログラムの促進

- (1) 各コースの教育目標とその方法について必要な見直しを行う。
- (2) 学生の専門分野を活かした社会経験と受入れ先の組織課題の進捗に係ることのできるプログラムの構築
- (3) 優れた実習プログラムのモデル化や、受入先間の経験交流を促進し、プログラム全体の質向上を図る。
- (4) 2年生次生向けのプログラム説明や広報の強化
- (5) コーディネーターと事務局の能力発揮を含む体制づくり

## 2. 加盟校のインターンシップ・プログラムの今後の方向性調査と連携の推進

- (1) 加盟校とのプログラム内容に係わる接点の拡大
- (2) 加盟校・財団の連携による学生広報の強化

## 3. 優れた実習プログラムを実施する受入先企業・団体と大学との接点の拡大

- (1) 優れた受入先への感謝状贈呈の継続実施の方法を検討する。
- (2) 受入先と大学の接点の拡大

## 4. 修了生（OB・OG）との継続的連絡体制の構築と現役学生への教育支援

- (1) 修了生（OB・OG）と事務局の連携強化
- (2) 修了生（OB・OG）と現役生への支援強化

## 5. 新たなインターンシップ・プログラムの調査研究

- (1) 外部団体とのインターンシップについての意見交換の機会の設定
- (2) 優れたインターンシップを実施する大学（加盟校以外も含む）、団体等への積極的な情報収集

## 6. メディア等を活用した情報発信

- (1) 外部団体等積極的な関係強化
- (2) メディアを通じた発信力の向上

### <運営実績>

#### 1. 広報

2022年に引き続き、オンラインの活用を中心とした広報を進めた。特に2020年3月から開始したインターンシップ・ポータルサイトについては、学生に安心してプログラムを受講していただけるよう、2022年度にプログラムを受講された学生に協力いただき、「先輩からのメッセージ」動画を新たに追加した。

各大学との連携について、出向ガイダンスを3月3日（金）から4月26日（金）までに希望のあった10大学で実施した。また、大学ポータルサイトでの紹介やコーディネーターから学生への呼びかけを行った。大学だけでなく、修了生からの広報、「大学のまち京都・学生のまち京都」公式アプリ KYO-DENTやSNSによる情報発信など学生との接点を増やす取組を行った。

#### 2. 受入連携先件数

受入先登録件数は、ビジネスコース／パブリックコースが130件（前年129件）、長期プロジェクトコースが12件（前年13件）であった。新型コロナウイルスの影響も緩和されたことから、受け入れ先の大幅な減少がなくなったと考える。登録件数は2022年度比と同等であった。

### <2023年度 登録団体数等> ※（ ）は2022年度実績

コース名	登録団体数	受入団体数	受入率
ビジネス	97 (97)	54 (66)	55.7% (68.0%)
パブリック	33 (32)	20 (25)	60.6% (78.1%)
長期プロジェクト	12 (13)	6 (10)	50.0% (76.9%)
合計	142 (142)	80 (101)	56.3% (71.1%)



<2023年度受入先登録内訳>

ビジネス	継続：84件	新規：3件	復活：10件
パブリック	継続：29件	新規：2件	復活：2件
長期プロジェクト	継続：11件	新規：1件	復活：0件

3. オンライン説明会の実施結果

(1) プログラム説明会・相談会

開催日時 4月15日（土） 18:00～20:30

学生参加者 182名（2022年度 251名）

協力者（修了生） 10名（2022年度 13名）

(2) 長期プロジェクトコース説明会・相談会

開催日時 4月20日（木） 18:00～20:10

学生参加者 33名（2022年度 32名）

協力者（修了生） 2名（2022年度 2名）

4. 出願状況等

4月7日（金）から5月5日（金）までの出願期間において、193名（2022年度：285名、2021年度：362名）の出願があった。

また、5月12日（金）及び同月13日（土）の2日間で実施したWeb面接については、183名が受験し、6月3日（土）に学生あてに選考結果を発表した。

修了生数について、ビジネスコース／パブリックコースは、10月19日（木）、長期プロジェクトコースは、11月30日（木）のコーディネーター会議で確定した。

2023度 コース別 出願者数等 ※（ ）は2022年度実績

コース名	出願者数		実習許可者数		修了生	
ビジネス	178	(255)	104	(142)	100	(129)
パブリック			49	(65)	40	(63)
長期プロジェクト	15	(30)	15	(28)	13	(22)
合計	193	(285)	168	(235)	153	(214)

2023度 学年別 出願者数及び実習許可者数 ※（ ）は2022年度実績

学年	出願者数				実習許可者数			
	人数		割合		人数		割合	
1年次（回生）	10	(12)	5.2%	(4.2%)	9	(7)	5.4%	(3.0%)
2年次（回生）	54	(73)	28.0%	(25.6%)	53	(60)	31.5%	(25.5%)
3年次（回生）	122	(199)	63.2%	(69.8%)	101	(167)	60.1%	(71.1%)
4年次（回生）	4	(0)	2.1%	(0.0%)	3	(0)	1.8%	(0.0%)
5年次以上（回生）	0	(0)	0.0%	(0.0%)	0	(0)	0.0%	(0.0%)
大学院生	3	(1)	1.6%	(0.4%)	2	(1)	1.2%	(0.4%)
合計	193	(285)	100%	(100%)	168	(235)	100%	(100%)

5. 教員の体制について

ビジネスコース／パブリックコース 17名（ビジネス 12名、パブリック 5名）、長期プロジェクトコース 7名の体制で運営した。

6. 財団におけるインターンシップ生受入状況について

総務部を窓口としてビジネス・パブリックコースで1名を受入れ、8月22日（火）から26日（土）、

9月5日（火）から9日（土）の期間で実習が行われた。

## 7. プログラムの進捗状況

### (1) ビジネスコース/パブリックコース

本コースの講義は昨年度に引き続き全てオンラインで開催した。6月17日（土）から初回講義がスタートし、9月16日（土）の事後学習（実習経験交流会）をもって全4回の講義を終了した。

なお、2023年度本コースにおける学生都合による辞退者は、6名であった。辞退理由については、他団体主催のインターンシップへの参加や、プログラムへの理解不足であった。また、急な体調不良による辞退もあった。

### (2) 長期プロジェクトコース

本コースの講義は昨年度に引き続き対面講義で開催した。6月15日（木）から対面による初回講義がスタートし、10月26日（木）に9回目の講義を実施した。昨年度同様、これまでの講義はすべて対面にて開催したが、受入先の利便性等を踏まえ、オンライン参加も可能な体制を整えた。

長期プロジェクトコースについては、学生都合による辞退は2名（開講前）であった。辞退理由については、それぞれ、将来に向けてほかに取り組みたい事柄（資格等）ができたためであった。

プロジェクト活動では、対面を中心にインタビュー等を実施しながら、適宜、Zoom等によりチーム内で作業の進捗状況が共有された。

各チームの活動は、約5か月にわたるプログラムの総括として、11月11日（土）のプロジェクト・プレゼンテーションにて、これまでの成果を発表し、約5か月間のプログラムを終えた。

## 8. 「インターンシップ・プログラム」の名称変更について

2022年6月に、一般社団法人日本経済団体連合会と大学関係団体等の代表者により構成される「採用と大学教育の未来に関する産学協議会」による協議を受けて、「インターンシップを始めとする学生のキャリア形成支援に係る取組の推進に当たっての基本的考え方」（文部科学省・厚生労働省・経済産業省）が改正され、「学生のキャリア形成支援に係る産学協働の取組み」が4つの類型に整理された。

財団によるインターンシップは、開設当初から大学教育の一環とした教育プログラムとして実施しており、タイプ2「キャリア教育」に位置づけられるが、タイプ2として実施する場合は「インターンシップ」と称することができない。

これを受けて、第1回及び第2回インターンシップ事業企画検討委員会にて、2024年度以降の財団が実施する「インターンシップ・プログラム」の名称変更について審議した結果、新たな名称は「産学連携教育プログラム」に決定した。また、コース名称についても、「ビジネスコース/パブリックコース」は「エクスターンシップ（就業体験）コース」、「長期プロジェクトコース」は「プロジェクト企画実践コース」に変更することとなった。

## 9. 受入先実習プログラム研究会

本会は、実習プログラムについての事例紹介や意見交換を通じて、実習内容や課題等を共有し、次年度の受入体制の充実を図るとともに、受入先同士、受入先と大学との繋がり強化を目的として2018年度から年1回の頻度で開催しており、2月15日（木）に第6回目を開催した。

今回は、同業種、異業種、隔たりなくバランスの取れたグループ分けを行い運営した。グループディスカッションでは、昨年度アンケート結果を踏まえ、満遍なく情報共有できるよう、昨年度実施した代表者（2社）による事例報告は行わず、フリーな形で意見交換が行われた。これにより、多くの参加者が実習事例や課題等、それぞれの経験を踏まえながら意見交換いただくことができた。一方で、想定以上に実習事例や課題共有に時間を要した面もあり、次年度は大まかな時間配分を決めておく等改善する。

### <規模・参加数>

参加希望受入先数：27 企業・団体 32 名（左記のうち 25 企業・団体 29 名参加）

参加大学（キャリア担当部署）：6 大学 8 名（左記のうち 6 大学 7 名参加）

※参加大学のうち3大学3名は、キャリア担当部署＝受入部署のため参加希望受入先数にも積算  
コーディネーター教員：ビジネスコース/パブリックコース 計4名

## 10. 次年度に向けて

### (1) 教員の体制について

次年度も今年度と同程度の受講者数を想定し、今年度と同数の教員で運営する。

<2024年度コーディネーター数>

ビジネス/パブリックコース 17名 内訳：継続15名 新規2名 復活0名  
長期プロジェクトコース 7名 内訳：継続5名 新規2名 復活0名

### (2) 受入先確保について

受入先の開拓では、受講希望が多かった業種（観光、食品、官公庁）を中心に開拓を行った。特に再登録（復活依頼）に力を入れ、受講者から人気の高いホテル業界からは、4企業に再登録（復活）いただいた。

新規登録については、関係団体から紹介された企業団体、当財団の事業と関係のある企業団体を中心に依頼した。また、インターンシップに興味のある企業・団体から直接連絡が入った場合には、先方へ伺い、本プログラムについて丁寧に説明を行うとともに、会社概要（事業内容、従業員数、実習場所など）を確認した上で、受入先として適切であると判断できたものについて登録手続きを進めた。

<2024年度受入先登録状況>

ビジネス 100件 (97件) 内訳：継続87件 新規4件 復活9件  
パブリック 30件 (33件) 内訳：継続29件 新規0件 復活1件  
プロジェクト企画実践 10件 (12件) 内訳：継続7件 新規2件 復活1件

### (3) 広報について

2024年度から産学連携教育プログラムとして名称を変更し実施する。学生や受入先、大学へは、早期にプログラムの名称が変更したことを広報するため、広報物（学生募集ガイドや受入先冊子等）の修正を行った。また、ポータルサイトでは、昨年度に引き続きプログラムの特色や魅力をより明確に打ち出していくために、実習先情報や修了生からのメッセージなど紹介内容のさらなる充実を図った。特に、修了生からのメッセージについては、インタビュー動画を掲載し、本プログラムに参加した理由や実習中の心境などの紹介を通して、学生の積極的な参加を促すこととした。

以上のコンテンツについては、今後予定している各大学での出向ガイダンスで積極的に活用する。

## 【実施スケジュール（主要事項）】

4月	各大学への出向ガイダンス実施
4月7日（金）～5月5日（金）	インターンシップ学生 Web 出願期間
4月13日（木）	第1回ビジネスコース/パブリックコース コーディネーター（以下C0）会議
4月15日（土）	プログラム説明会・相談会
4月20日（木）	長期プロジェクトコース説明会・相談会
5月12日（金）、5月13日（土）	Web 面接
5月25日（木）	第1回長期プロジェクトコースC0会議
6月2日（金）	第1回科目担当者会議（講義内容、成績評価基準）
6月3日（土）	インターンシップ・全マッチング合否結果発表
6月8日（木）	受入先担当者説明会 第2回ビジネスコース/パブリックコースC0会議
6月15日（木）	第1回長期プロジェクトコース受入先との合同会議 長期プロジェクトコース 講義①
6月17日（土）	ビジネスコース/パブリックコース 事前学習①
6月22日（木）	長期プロジェクトコース 講義②

6月23日(金)	第1回インターンシップ事業企画検討委員会(以下「企画検討委員会」)
6月29日(木)	長期プロジェクトコース 講義③
7月1日(土)	第3回ビジネスコース/パブリックコースC0会議 ビジネスコース/パブリックコース 事前学習②
7月6日(木)	第2回長期プロジェクトコースC0会議 長期プロジェクトコース 講義④
7月8日(土)	ビジネスコース/パブリックコース 事前学習③
7月8日(土)~7月15日(土)	事前学習レポート提出(Web) ビジネスコース/パブリックコース
7月13日(木)	長期プロジェクトコース 講義⑤
8月22日(火)	第2回企画検討委員会
8月31日(木)	第3回長期プロジェクトコースC0会議
9月7日(木)	長期プロジェクトコース 講義⑥
9月14日(木)	第4回ビジネスコース/パブリックコースC0会議
9月16日(土)	ビジネスコース/パブリックコース 事後学習 (実習経験交流会/修了式)
9月17日(日)~9月30日(土)	事後学習レポート提出(Web) ビジネスコース/パブリックコース
10月5日(木)	長期プロジェクトコース 講義⑦
10月12日(木)	長期プロジェクトコース 講義⑧
10月13日(金)	C0成績採点提出期限 ビジネスコース/パブリックコース
10月19日(木)	第5回ビジネスコース/パブリックコースC0会議
10月21日(土)	修了生との意見交換会
10月26日(木)	長期プロジェクトコース 講義⑨
10月27日(金)	第3回企画検討委員会
11月2日(木)	第4回長期プロジェクトコース C0会議
11月11日(土)	長期プロジェクトコース 講義⑩ (プロジェクト・プレゼンテーション/修了式)
11月11日(土)~11月16日(木)	学習レポート及びプロジェクト報告書提出(Web) 長期プロジェクトコース
11月24日(金)	C0成績採点提出期限 長期プロジェクトコース
11月30日(木)	第2回長期プロジェクトコース受入先との合同会議 第5回長期プロジェクトコースC0会議
12月1日(木)	2024年度受入先登録画面 OPEN
12月8日(金)	第4回企画検討委員会
12月12日(火)	第2回科目担当者会議(プログラム総括、成績評価説明)
1月下旬~2月	受講案内他について各大学への訪問
2月15日(木)	実習プログラム研究会
2月16日(金)	第5回企画検討委員会
3月1日(金)	2024年度学生向け実習検索サイト OPEN

## 教育事業部 各種委員会等の開催について

### 単位互換事業・生涯学習事業(京カレッジ)

#### ① 教育事業企画検討委員会(専門委員会)

6月27日(火) 第1回(主要議題:2023年度状況報告および2024年度計画について)

11月7日(火) 第2回(主要議題:2024年度開講について)

## (2)生涯学習事業(京カレッジ)

### ① リカレント教育企画検討委員会 ※2019年度発足

主要議題：財団が推進するリカレント教育に関する施策の企画検討

7月18日(火) 第1回(主要議題：2023年度状況報告および2024年度計画について)

10月31日(火) 第2回(主要議題：2024年度計画の具体化について)

1月26日(金) 第3回(主要議題：2024年度計画の決定について)

### ② 京都学企画検討委員会

7月25日(火) 第1回(主要議題：2024年度京都学講座のテーマについて)

9月29日(金) 第2回(主要議題：2024年度京都学講座の講師案について)

12月8日(金) 第3回※書面会議(主要議題：2024年度講師候補者(依頼状況等)について)

## (3)インターンシップ事業

### ① インターンシップ事業企画検討委員会(専門委員会)

6月23日(金) 第1回(主要議題：2023年度事業の目的、計画の確認)

8月22日(火) 第2回(主要議題：2024年度「インターンシップ・プログラム」の名称変更について)

10月27日(金) 第3回(主要議題：2024年度事業計画について)

12月8日(金) 第4回(主要議題：2024年度事業計画について)

2月16日(金) 第5回(主要議題：2023年度プログラムの振り返り、2024年度運営について)

### ② インターンシップ・プログラム コーディネーター会議(ビジネス・パブリックコース)

4月13日(木) 第1回(主要議題：2023年度プログラム運営計画 他)

6月8日(木) 第2回(主要議題：事前学習実施について 他)

7月1日(土) 第3回(主要議題：事後学習及び中間指導について 他)

9月14日(木) 第4回(主要議題：2024年度講義計画(シラバス)について 他)

10月19日(木) 第5回(主要課題：成績評価確定、2024年度講義計画確定 他)

### ③ インターンシップ・プログラム コーディネーター会議(長期プロジェクトコース)

5月25日(木) 第1回(主要議題：2023年度成績基準、出願・選考について 他)

6月15日(木) 受入先合同会議 第1回(主要議題：2023年度プログラム計画 他)

7月6日(木) 第2回(主要議題：プロジェクト進捗について 他)

8月31日(木) 第3回(主要議題：プロジェクト進捗について 他)

11月2日(木) 第4回(主要議題：2024年度講義計画(シラバス)について 他)

11月30日(木) 第5回(主要議題：成果報告会、成績評価、2024年度講義計画 他)

受入先合同会議 第2回(主要議題：年度総括、2024年度プログラム計画 他)

## 教育開発事業部 事業進捗

### (1) FD事業

#### 【事業計画の概要および実績】

##### <概要>

FD が義務化され、現在では学修者本位の教育を提供するための教学マネジメントを支える基盤としてFDの高度化が議論されている。FD事業の運営は、FDフォーラムを担当する「FDフォーラム企画検討委員会」およびFDフォーラム以外のFD事業を担当する「FD企画研究委員会」の2委員会体制で推進する。

##### ◆FDフォーラム

今年度で29回目を迎え、加盟大学の情報発信を重視した運営や参加者間の交流に、前年度までの経験を活かして取り組む。今年度は、対面・オンライン形式で開催することを予定しており、分科会での相互交流やポスターセッションによる情報発信についても、引き続き重視していくこととする。

##### ◆FD合同研修プログラム

FD合同研修プログラムでは、次の3つの事業を展開する。

##### ・大学執行部塾

6月下旬に行われる当財団理事会・評議員会・会員総会開催日に実施する。2020年度までは、各加盟校の学長等の大学執行部層のみを対象とする研修プログラムであったが、2021年度からは、大学執行部層以外も参加対象としオンラインで聴講できるように運用している。

##### ・テーマ別研修

新任教員やFDの基礎的な事項を学び直したいと考える教員や、FD関連部署に勤務する職員、またはFDに関心のある教職員を対象とした研修プログラムを実施する。加盟校教職員が抱える問題や課題をテーマとして設定し、ニーズに合った形態で実施する。

##### ・京都FD交流会

FDに関する様々なテーマのもと、加盟校教職員のFD活動における工夫や悩みを共有しながら課題の解決に向けたヒントを探り、加盟校の枠を越えた教職員の交流機会を提供する。年度内3回の実施を予定している。

##### ◆高等教育情報NAVI「教まちや」

加盟校をはじめとする教育機関が高等教育に関するイベント情報を収集する際のハブ機能を担うツールとして2014年度に開始した。(1)イベントの投稿・掲載、(2)教まちやNews(ブログ機能)、(3)メールマガジンの3つのコンテンツがある。「教まちやNews」に掲載する大学の幅を広げるため、加盟校の事務職員によるリレー方式での掲載など、引き続き、様々な大学の特色ある取り組みを発信する。

## ◆第29回FDフォーラム

全体テーマ DX・AI時代の高等教育のゆくえ

日時 2024年2月23日(金)・24日(土)

場所 対面・オンライン開催

参加者数 計 468名(内訳:対面148名/オンライン320名)

### シンポジウム

会場 4階 第2講義室

テーマ 学びの連続体へのまなざし～生成系AIへの耐性・代替不可能性を求めて～

シンポジスト

今村 正治氏(佐賀女子短期大学 学長)

上田 紀行氏(東京工業大学 副学長)

堀江 未来氏(立命館大学グローバル教養学部 教授(立命館小学校・校長))

参加者数 294名(内訳:対面117名、オンライン177名)

### ポスターセッション

会場 2階ホール

- ① 京都産業大学) グローバルコモンズ学生ボランティアスタッフ「LINK」実践報告～学生主導の語学イベントを通じた学生スタッフの経験と学び
- ② 京都産業大学) 学生ファシリテータの考えから調べる活動意義
- ③ 京都華頂大学  
華頂短期大学) 初年次教育における課題と今後の展望～大学生活スタートブック改訂に向けて～
- ④ 京都薬科大学) Excel オンラインを用いた初年次基礎科学実習における実習支援の取り組み
- ⑤ 京都文教大学) 高校生の自己分析と進路選択に寄り添う新たな入試前プログラム「進路探求プログラム」の意義と課題
- ⑥ 京都外国語大学  
京都外国語短期大学) 京都外国語大学コミュニティ通訳の取り組みと今後の課題
- ⑦ 京都ノートルダム女子大学) 授業ツールという観点で見るメタバースの可能性～高大連携授業やオンデマンド授業における実践事例
- ⑧ 大谷大学) ハイブリッド授業(オンライン&教室)とワークショップ型授業の試み～ZOOMとボランティア講師を体験して～
- ⑨ 京都女子大学) 司書課程の学びを活かしたローカルウィキペディア記事の執筆～主体的に選択し、客観的に記述する～

参加者数 92名

### 分科会

<第1分科会> 4階第4講義室 ハイブリッド

テーマ 身構えないで学べる授業環境の構築を目指して

登壇者 山田 剛史氏(関西大学教育推進部 教授)

大島 和美氏(京都産業大学 教育支援研究開発センター F工房 嘱託職員)  
京都文教大学 学生

参加者数 79名(内訳:対面26名/オンライン53名)

<第2分科会> 5階第2～4演習室 ハイブリッド

テーマ 大学教育の起爆剤?!アカデミックDX

登壇者 村上 正行氏(大阪大学 全学教育推進機構 教育学習支援部 教授)

重田 勝介氏(北海道大学 情報基盤センター 教授)

森村 吉貴氏(京都大学 情報環境機構 准教授)

参加者数 86名（内訳：対面 26名／オンライン 60名）

<第3分科会> 4階第3講義室 ハイブリッド

テーマ 大学教育におけるAIの活用ならびにその弊害

登壇者 鈴木 基之氏（大阪工業大学 情報科学部 教授）

松本 和幸氏（徳島大学 理工学研究部 准教授）

楨原 絵里奈（立命館大学 情報理工学部 講師）

参加者数 131名（内訳：対面 41名／オンライン 90名）

<第4分科会> 6階第5講習室 ハイブリッド

テーマ 大学における自校教育の効果と課題

登壇者 喜村 仁詞氏（岡山県立大学保健福祉学部現代福祉学科 准教授）

元根 朋美氏（帝塚山大学全学教育開発センター 准教授）

大谷 由香氏（龍谷大学文学部仏教学科 特任准教授）

参加者数 45名（内訳：対面 15名／オンライン 30名）

<第5分科会> 4階第4講義室 ハイブリッド

テーマ ことばの教育はいかに変わる"べき"か

登壇者 山中 司氏（立命館大学生命科学部 教授）

牛窪 隆太氏（東洋大学国際教育センター 准教授）

参加者数 60名（内訳：対面 21名／オンライン 39名）

<第6分科会> オンラインのみ

テーマ 「ケア」に直面する学生を支えるために

登壇者 田中 智子氏（佛教大学 社会福祉学部 教授）

河西 優氏（Young Carers Action Research Project 発起人  
/立命館大学衣笠総合研究機構人間科学研究所研究員）

鈴木 美佳子氏（大谷大学学生支援部）

参加者数 62名（オンライン）

<第7分科会> 4階第3講義室 ハイブリッド

テーマ 大学授業でICTでALしよう！

登壇者 伊藤 慎一郎氏（京都産業大学 情報理工学部 准教授）

平井 重行氏（京都産業大学 情報理工学部 教授）

長澤 直子氏（京都先端科学大学 経済経営学部 講師）

参加者数 105名（内訳：対面 38名／オンライン 67名）

<第8分科会> オンラインのみ

テーマ 生成AIと人類の未来：技術、教育、魂、共存の可能性

登壇者 浅田 稔氏（大阪国際工科専門職大学 副学長）

水上 拓哉氏（特定国立研究開発法人理化学研究所

革新知能統合研究センター 特別研究員）

金子 雄太氏（同志社女子大学 現代社会学部社会システム学科 助教）

参加者数 66名（オンライン）

<第9分科会> 4階第4講義室 対面のみ

テーマ 授業評価アンケートの自由記述の自動分類とその応用

登壇者 松河 秀哉氏（東北大学 高度教養教育・学生支援機構 講師）

参加者数 28名（対面）

<第10分科会> 5階第2～4演習室 ハイブリッド

テーマ どうないします？これからのキャリア教育と就職支援



登壇者 松高 政 氏（京都産業大学 経営学部 准教授）  
岡本 鈴佳氏（株式会社マイナビ就職情報事業本部 就職ナビ統括本部  
関西ブロック 京都キャリアサポート1課課長）  
代崎 拓也氏（京都文教大学・短期大学 就職部就職進路課 係長）

参加者数 46名（内訳：対面8名／オンライン38名）

<第11分科会> 4階第3講義室 ハイブリッド

テーマ 学習指導要領が変わると大学教育も変わる？

登壇者 西岡 加名恵氏（京都大学 大学院教育学研究科 教授）  
谷口 和成氏（京都教育大学 理学科 教授）  
宮野 公樹氏（京都大学 学際融合教育研究推進センター 准教授）

参加者数 96名（内訳：対面29名／オンライン67名）

<第12分科会> オンラインのみ

テーマ “人・AI新世”の時代の学びとその支援

登壇者 巳波 弘佳氏（関西学院大学 副学長／情報化推進機構 機構長／AI活用人材育成  
プログラムプロジェクト統括／工学部 情報工学課程 教授）  
澁川 幸加氏（中央大学文学部教育学専攻 特任助教／中央大学教育力研究開発機  
構研究員）  
玉木 和将（米インストラクチュア社（Canvas LMS 供給元）Channel Account  
Manager APAC Japan

参加者数 86名（オンライン）

#### ◆大学執行部塾

日時 2023年6月24日（土）11:00～12:20

開催形式 ハイブリッド形式（当財団理事会・評議員会出席者のみ配信会場からの参加、  
上記以外はオンライン配信）

配信会場 キャンパスプラザ 4階 第3講義室

テーマ 「学修成果を重視した戦略的マネジメントにおける執行部の役割（仮題）」

講師 池田 輝政 氏（愛知江南学園 役員）

参加者数 対面 21名 オンライン 45名

#### ◆IRフォーラム

日時 2023年8月26日（土）13:00～17:30

場所 オンライン開催

参加者数 601名（申込者数835名）

テーマ 変革する大学！学修成果の可視化と教学マネジメントの実践  
～IRデータを活用し、学科教育の改善や教職員の学生支援スキル向上に取り組んだ事例～

#### 基調講演

テーマ カリキュラムの改善に向けたIR

講師 中井 俊樹 氏（愛媛大学 教育・学生支援機構 教育企画室 教授）

#### 事例発表1

テーマ 『学科ポートフォリオ』による教育活動可視化と教育活動点検の仕組み  
～学科の多様性を尊重したデータに基づく教育活動の展開～

報告者 河田 学 氏（京都芸術大学 芸術学部 学部長）

市川 亮祐 氏 (京都芸術大学 教学支援二課)

**事例発表 2**

テーマ ディプロマ・ポリシーに掲げた能力の達成度可視化と学生の成長支援に向けた取り組み  
～全科目をキャリア教育と位置づけ、全学教職員で育む『駿大社会人基礎力』～

報告者 梅村 慶嗣 氏 (駿河台大学 学長補佐)

雷 光一 氏 (駿河台大学 事務部長)

事例発表モデレーター 森 正美 氏 (京都文教大学 学長)

◆FD 合同研修プログラム・テーマ別研修

(1) FD 基礎知識

(シラバス設計／到達目標と評価課題の設計／授業方法の工夫)

公 開 2023年9月20日(水)～2024年3月31日(日)

講 師 中島 英博 (立命館大学 教育開発推進機構 教授)

開催形態 オンデマンド

申込者 77名

(2) IR

テ ー マ IR 奮闘記－IR 的思考を授業に活かすには？

日 時 2023年9月13日(水) 13:30～15:30

開催形態 オンライン(ワークショップ型)

講 師 高橋 真 氏 (大谷大学 社会学部 准教授)

進 行 戸次 顕彰 氏 (大谷大学 文学部 講師)

中川 昌幸 氏 (平安女学院大学 国際観光学部 助教)

参加者数 17名

(3) レポート指導 (AI Chat)

テ ー マ レポート課題で考えておくべきこと  
－基本確認と生成系 AI との兼ね合い－

日 時 2023年10月14日(土) 13:30～15:40

開催形態 オンライン(ワークショップ型)

講 師 島村 健司 氏 (龍谷大学 ライティングサポートセンター スーパーバイザー)

進 行 柏木 紀哉 氏 (龍谷大学 経営学部 准教授)

星 優也 氏 (池坊短期大学 文化芸術学科 専任講師)

参加者数 36名

(4) ゼミ・研究室運営 (少人数指導)

テ ー マ ゼミ・研究室運営について考える

日 時 2023年11月10日(金) 18:30～20:30

開催形態 オンライン(ワークショップ型)

講 師 鍛冶 宏介 氏 (京都先端科学大学 人文学部 教授)

萩野 晃大 氏 (京都産業大学 情報理工学部 准教授)

進 行 小山 智朗 氏 (京都先端科学大学 人文学部 准教授)

参加者数 11名

(5) 初年次教育

テ ー マ 大学独自の初年次教育を考える  
～一大学の実践を例に～

日 時 2024年1月16日(火) 18:30～20:30(予定)

開催形態 オンライン(ワークショップ型)

講 師 坂本 尚志 氏(京都薬科大学 薬学部 准教授)

進 行 高尾 郁子 氏(京都薬科大学 学生実習支援センター 助教)

松瀬 理保 氏(京都外国語大学 国際貢献学部グローバル観光学科 講師)

参加者数 25名

(6) 授業設計・授業実践

テ ー マ 学生の自己形成を促すパーソナル・ライティング  
～自己から、他者、世界へ、と認識を育むことの大切さ～

日 時 2024年3月5日(火) 18:30～20:30

開催形態 オンライン(ワークショップ型)

講 師 谷 美奈 氏(帝塚山大学 全学教育開発センター 教授)

進 行 林 千恵子 氏(京都工芸繊維大学 基盤科学系 教授)

根岸 裕子 氏(京都華頂大学 現代家政学部 准教授)

参加者数 25名

◆京都 FD 交流会

(1) 学生の国語力(日本語教育)

テ ー マ 「あたりまえのことだからこそ丁寧に！読み書きのトレーニングを通じて大学での学び  
に必要な『考える』力を育む」

日 時 2023年8月10日(木) 13:30～16:30

開催形態 対面開催(ワークショップ型)

講 師 創価大学 文学部 講師 福 博充 氏

参加者数 20名

(2) 大学の環境変化(DX)

テ ー マ 「初中等教育の環境変化から考える教育 DX: 情報技術に振り回されずに教育変革の主  
体であり続けるために」(仮称)

日 時 2023年12月16日(土) 13:00～15:20

開催形態 ハイブリッド開催

講 師 (株)EdLog 代表取締役社長/文部科学省初等中等教育局視学委員(GIGA スクール戦略担  
当) 中川 哲 氏

参加者数 8名

(3) 障がい学生支援

テ ー マ 「実情と課題！障がい学生支援の実情と大学が取り組むべきこととは？～4月1日から  
の法改正を見据えて～」

日 時 2024年3月23日(土) 13:30～16:30

開催形態 対面開催(ワークショップ型)

講 師 京都大学 学生総合支援機構 准教授 村田 淳 氏

参加者数 16名

### 【実施スケジュール（主要事項）】

6月24日（土）	大学執行部塾
8月10日（木）	京都FD交流会「学生の国語力（日本語教育）」
8月26日（土）	IRフォーラム
9月13日（水）	FD合同研修プログラム・テーマ別研修「IR」
10月14日（土）	FD合同研修プログラム・テーマ別研修「レポート指導（AI Chat）」
11月10日（金）	FD合同研修プログラム・テーマ別研修「ゼミ・研究室運営（少人数指導）」
12月16日（土）	京都FD交流会「大学の環境変化（DX）」
1月16日（火）	FD合同研修プログラム・テーマ別研修「初年次教育」
2月23日（金・祝）・24日（土）	第29回FDフォーラム
3月5日（火）	FD合同研修プログラム・テーマ別研修「授業設計・授業実践」
3月23日（土）	京都FD交流会「障がい学生支援」

## （2）SD事業

### 【事業計画の概要および実績】

<概要>

#### ◆SD共同研修プログラム

社会人としての基礎知識から大学職員としての汎用的なスキルの修得など研修内容の幅を拡げ多様な受講生ニーズを踏まえて、職務遂行能力向上に寄与するプログラムを企画・実施する。

#### ◆SDゼミナール

実施9年目を迎えている。コロナ禍で、2020年度～2021年度の2年間は、全日程対面開催が困難なため中止し、2022年度はオンラインで開催した。2023年度は全日程対面で行う。過去6年間実施してきた内容や受講生アンケート結果を参考に、応募条件や人数、開講形態、内容等を見直し、プログラムの充実を図り企画・実施する。

#### ◆SDフォーラム

高等教育の動向を踏まえての先進事例紹介の場、また、外部有識者の知識やノウハウを獲得する場として、SD分野で関心の高いテーマを設定し、大学教職員の能力向上や大学の枠を超えた情報交流の場を提供することを目的として実施する。特に各加盟校や他組織における類似企画との差別化を図るために、プログラム（分科会数、規模等）や運営面でより魅力的なものとなるよう、アンケート結果等からニーズを分析し、SD研修委員会においてプログラムの充実を図る。

#### ◆SDガイドブック

隔年で更新しており、2025年度版発行に向けて、アンケート調査を実施し、ニーズを踏まえて充実したものとする。

## ◆SD 共同研修プログラム

### (1) 知るほどなっとくビジネスマナー

日 時 2023年3月23日(木)、3月24日(金)、5月12日(金) 13:00~17:00

対 象 若手教職員(入職1~2年目)(対象以外の方でも参加可能)

講 師 藤原 真理弥 氏(株式会社 話し方教育センター)

参加者数 3月23日(木) [7名(加盟校7名)]

3月24日(金) [15名(加盟校14名、非加盟校1名)]、

5月12日(金) [12名(加盟校12名)]

[参考]2022年度実績 3月24日(9名)、3月25日(10名)、5月25日(9名)

2021年度実績 3月25日(17名)、3月26日(7名)、5月13日(10名)

### (2) 大学職員のための高等教育情勢(基礎)

日 時 2023年6月14日(水) 13:00~16:00

対 象 全教職員(勤続年数にかかわらず参加可能)

講 師 岡田 雄介 氏(龍谷大学 入試部・高大連携推進室 事務部長)

参加者数 申込者数 25名(定員充足)

### (3) これからの大学職員“URA”(基礎)

日 時 2023年7月12日(水) 13:00~16:00

対 象 全教職員(勤続年数にかかわらず参加可能)

講 師 天野 絵里子 氏(京都大学学術研究展開センター (KURA))

参加者数 参加者数 24名(定員充足)

### (4) データやグラフの読み方・使い方

日 時 2023年8月9日(水) 13:00~16:00

対 象 勤続5年目まで(対象以外の方でも参加可能)

講 師 山本 幸一 氏(明治大学 研究推進部 研究知財事務室)

参加者数 23名(定員充足)

### (5) 課題進捗のためのプロジェクト・ファシリテーション

日 時 2023年9月20日(水) 13:00~17:00

対 象 勤続5年以上(対象以外の方でも参加可能)

講 師 中西 勝彦 氏(京都文教大学 総合社会学部 助教)

参加者数 21名(定員充足)

### (6) 安心できるチーム作りーメンタルヘルス・ラインケア研修

日 時 2023年11月24日(金) 13:00~16:00

対 象 勤続10年以上および管理職(対象以外の方でも参加可能)

講 師 山田 容子 氏(株式会社ビジネスプラスサポート 人材育成プロデューサー)

参加者数 20名(定員充足)

### (7) 大学職員のキャリアー大学院進学とその後ー(※オンライン開催)

日 時 2023年12月6日(水) 13:00~16:00

対 象 全教職員(勤続年数にかかわらず参加可能)

講 師 岡田 雄介 氏(龍谷大学入試部・高大連携推進室 事務部長)

谷口 優美 氏(立命館大学人事部人事課 課長補佐)

松田 優一 氏(関西大学管財局管財グループ 主任)

白藤 康成 氏(京都産業大学 学長室 IR 推進室)

村山 孝道 氏(京都文教中学高等学校 事務長) ※コーディネーター

参加者数 36名

#### ◆SDゼミナール

申込締切 2023年4月27日(木) 受講者:8名(2022年度実績:10名)

【オリエンテーション】2023年5月27日(土)13:00~14:30

【第1回】 「アカデミック・ライティングの基礎」

日時 2023年5月27日(土)14:50~16:50

講師 坂本 尚志 氏(京都薬科大学 一般教育分野 准教授)

【第2回】 「大学の歴史と制度」

日時 2023年6月3日(土)13:50~17:00

講師 宮林 常崇 氏(東京都立大学法人 東京都立大学理系管理課長兼学務課長)

【第3回】 「大学の戦略とリーダーシップ」

日時 2023年6月10日(土)13:50~17:00

講師 吉武 博通 氏(情報・システム研究機構監事/東京家政学院理事長/筑波大学名誉教授)

【第4回】 「アカデミック・リテラシーと政策提言レポート」

日時 2023年6月17日(土)13:50~17:00

講師 村山 孝道 氏(京都文教中学校・高等学校 事務長)

【第5回】 「大学教育の質保証に向けた教学マネジメント」

日時 2023年6月24日(土)13:50~17:00

講師 西野 毅朗 氏(京都橘大学 教育開発・学習支援室/経営学部 経営学科 准教授)

【第6回】 「大学と社会」

日時 2023年7月1日(土)13:50~17:00

講師 深尾 昌峰 氏(龍谷大学 政策学部 教授)

【第7回】 「大学と高大連携・高大接続」

日時 2023年7月8日(土)13:50~17:00

講師 荒瀬 克己 氏(独立行政法人教職員支援機構 理事長)

【第8回】 「大学と高等教育政策」

日時 2023年7月15日(土)13:50~17:00

講師 松坂 浩史 氏(文部科学省大臣官房総務課長)

【第9回】 「ブランディング・学生募集」

日時 2023年7月22日(土)13:50~17:00

講師 上條 憲二 氏(愛知東邦大学 経営学部 地域ビジネス学科 教授)

【公開プレゼンテーション】 2023年9月9日(土)13:00~18:00

【公開プレゼンテーションフォロー研修】2023年9月16日(土)13:50~17:00

【政策提言レポート一次提出締切】 2023年10月2日(月)

【政策提言レポート最終提出締切】 2023年11月6日(月)

【2022年度SDゼミナール修了生対象 フォローアップ研修】

日時 2023年5月20日(土)13:30~16:30

講師 田口 真奈 氏(京都大学 教育学研究科 准教授)

参加者数 8名

#### ◆第21回SDフォーラム

日時 2023年10月28日(土)10:00~15:00

場所 オンライン(Zoom)

全体テーマ 「組織」と「個人」が共に成長する大学を目指して」

参加者数 92名（昨年度 163名）

**基調講演**

タイトル 「教職員の意欲・能力を引き出す組織づくり」

登壇者 太田 肇 氏（同志社大学 政策学部 教授）

参加者数 86名

**分科会**

<分科会 1>

テーマ 「人材育成を科学する - 職員間の実践知共有に向けた Off-JT を中心に -」

登壇者 竹中 喜一 氏（近畿大学 IR・教育支援センター 准教授）

参加者数 47名

<分科会 2>

テーマ 「パーパスモデル 自分の想いと組織をつなぐ、チームを動かすコミュニケーション」

登壇者 吉備 友理恵 氏（株式会社日建設計 イノベーションセンター プロジェクトデザイナー）

参加者数 26名

**【実施スケジュール（主要事項）】**

**【今後の主な予定】**

3月23日（木）	
3月24日（金）	SD 共同研修プログラム「知るほどなっとくビジネスマナー」
5月12日（金）	
5月20日（土）	2022年度SDゼミナール修了生対象 フォローアップ研修
5月27日（土）	SDゼミナール オリエンテーション
	SDゼミナール（第1回）「アカデミック・ライティングの基礎」
6月3日（土）	SDゼミナール（第2回）「大学の歴史と制度」
6月10日（土）	SDゼミナール（第3回）「大学の戦略とリーダーシップ」
6月14日（水）	SD 共同研修プログラム 「大学職員のための高等教育情勢（基礎）」
6月17日（土）	SDゼミナール（第4回）「アカデミック・リテラシーと政策提言レポート」
6月24日（土）	SDゼミナール（第5回）「大学教育の質保証に向けた教学マネジメント」
7月 1日（土）	SDゼミナール（第6回）「大学と社会」
7月 8日（土）	SDゼミナール（第7回）「大学と高大連携・高大接続」
7月12日（水）	SD 共同研修プログラム 「これからの大学職員“URA”（基礎）」
7月15日（土）	SDゼミナール（第8回）「大学と高等教育政策」
7月22日（土）	SDゼミナール（第9回）「ブランディング・学生募集」
8月 9日（水）	SD 共同研修プログラム 「データやグラフの読み方・使い方」
9月 9日（土）	SDゼミナール 公開プレゼンテーション
9月16日（土）	SDゼミナール 公開プレゼンテーションフォロー研修
9月20日（水）	SD 共同研修プログラム
	「課題進捗のためのプロジェクト・ファシリテーション」
10月 2日（月）	SDゼミナール 政策提言レポート一次提出締切

10月28日(土)	第21回SDフォーラム
11月6日(月)	SDゼミナール 政策提言レポート最終提出締切
11月24日(金)	SD共同研修プログラム 「安心できるチーム作りーメンタルヘルス・ラインケア研修」
12月6日(水)	SD共同研修プログラム 「大学職員のキャリアー大学院進学とその後」

### (3) 京都高大連携研究協議会事業

#### 【事業計画の概要および実績】

##### <概要>

高大連携事業は、京都府教育委員会、京都市教育委員会、京都府私立中学高等学校連合会、京都商工会議所及び当財団の連携によって「京都高大連携研究協議会」を組織し、2003年度から取り組んでいる。

現在、文部科学省では、変化の激しい時代において、新たな価値を創造していく力を育成するために「高大接続改革」の取り組みが進められている。その動向を十分に踏まえながら、各種事業を展開する。

##### ◆高大連携教育フォーラム

高校・大学間の連携・接続教育問題における国内最新動向の情報共有、事例研究や京都における取り組みの情報発信に一定の評価を得ており、毎年200名前後の参加者を得ている。「高大接続改革」の動向を見据え、高等学校、大学の双方の視点を摺り合わせながらテーマを検討し企画・実施する。また、高等学校、大学関係者が相集い、交流できる企画となるよう検討する。

##### ◆高大社連携フューチャーセッション

高校生・大学生のキャリア発達を促すことを目的として、設定したテーマについて、高校生・大学生・社会人といった世代、学校間を越えて対話・交流する。京都府北部地域、京都市内地域ともに多くの高校生・大学生の参加が得られるよう、高等学校関係者と連携を取りながら、高校生・大学生が参加しやすい内容の企画を検討する。

##### ◆京都高校・大学教職員交流会

「高大接続改革」の推進が求められる中、高等学校および大学教職員がともに課題を出し合い、それぞれの立場への理解促進を図り、交流を深める場として「京都高校・大学教職員交流会」を開催する。引き続き、本交流会の知名度向上を図るとともに、参加者自らが主体的に関与できるよう工夫しながら実施する。

##### ◆京都高大接続地域ネットワーク (KARN)

京都全体の大学入学者の受け入れ体制の強化、魅力発信を進め、入試改革や高大接続を実現できる人材開発とネットワーク化を目指し、「京都高大接続地域ネットワーク」を立ち上げ、京都府内の高校・大学教職員を対象とした企画を試行的に実施する。

##### ◆第21回高大連携教育フォーラム

日時 2023年12月2日(土)  
場所 対面開催



テーマ 「どうすれば良い問いをデザインできるか  
ー高校の探究と大学の研究の共通点を探るー」

参加者数 134名

#### 基調講演

##### 基調講演 1

テーマ 協働する探究と問いのデザイン  
～学習指導要領における資質・能力の3つの柱と連携させて～

講師 藤原 さと 氏 (一般社団法人こたえのない学校 代表理事)

##### 基調講演 2

テーマ 問いづくりの今、そしてこれから ～問いと問いづくりをめぐる思考と実践の旅～

講師 佐藤 賢一 氏 (京都産業大学生命科学部教授  
／特定非営利活動法人ハテナソン共創ラボ 代表理事)

参加者数 132名

#### フロア参加型鼎談

登壇者：塩瀬 隆之 氏 (京都大学 総合博物館 准教授)  
藤原 さと 氏 (一般社団法人こたえのない学校 代表理事)  
佐藤 賢一 氏 (京都産業大学生命科学部教授  
／特定非営利活動法人ハテナソン共創ラボ 代表理事)

#### 分科会

第1分科会 高大接続に向けた新しいチーム探究活動は、どのように開発・実践されたのか？

コーディネーター 乾 明紀 氏 (京都橘大学 経済学部 教授)  
井上 実 氏 (京都府教育委員会 指導部高校教育課 指導主事)

報告者 乾 明紀 氏 (京都橘大学 経済学部 教授)  
斉藤 和彦 氏 (京都府立医科大学 教育センター 入試室 特任教授)  
伊藤 恵哉 氏 (京都府教育委員会 指導部高校教育課 指導主事)

参加者数 40名

第2分科会 そもそも「良い問い」とは何か  
～理科の実践を通して、「良い問い」の指標をつくる～

コーディネーター 安川 隆司 氏 (京都市教育委員会 指導部学校指導課 指導主事)  
報告者 貴村 仁 氏 (京都市位堀川高等学校 研究部 常勤講師)  
安川 隆司 氏 (京都市教育委員会 指導部学校指導課 指導主事)

参加者数 7名

第3分科会 情報教育で繋がる・繋げる高等学校と大学  
～理想と現実、期待と不安を越えて～

コーディネーター 鈴木 潤 氏 (同志社中学校・高等学校 教諭)  
報告者 長谷川 卓也 氏 (京都橘高等学校 教諭)  
片岡 祐介 氏 (京都橘大学 工学部情報工学科 准教授)

参加者数 15名

特別分科会① 高校から大学へ 入学前教育の現状とG P

コーディネーター／報告者 山本 以和子 氏 (京都工芸繊維大学 工芸科学部 教授)  
ファシリテーター 當山 明華 氏 (長崎大学 教育開発推進機構アドミッションセンター 助教)

参加者数 20名

特別分科会② 大学生と高校生の共創が作り出す物語とは  
～高校生と大学生が描く未来～

コーディネーター 滋野 哲秀氏（龍谷大学 里山学研究センター 客員研究員）  
報告者 清永 雄亮（龍谷大学 文学部 4年次生）  
上口 貴子（福知山公立大学 地域経営学部 4年次生）  
宮内 裕大（京都府立大学 公共政策学部 公共政策学科 4年次生）  
参加者数 7名

◆2023年度高大社連携フューチャーセッション

日時 2023年11月3日（金・祝）  
テーマ 探求・研究を心から楽しむコツを考えよう  
～どうすれば探求・研究や良い問いを将来のキャリアにつなげられるか～  
コーディネーター 杉岡 秀紀氏（福知山公立大学 地域経営学部 准教授）  
乾 明紀氏（京都橘大学 経済学部 教授）  
オブザーバー 滋野 哲秀氏（元龍谷大学 文学部・元京都教育大学 教授）  
ファシリテーター 長谷川 夕起氏（京都橘中学校・高等学校 探求学習コーディネーター主任）  
参加対象 高校生・大学生・教職員等  
参加者数 32名

◆京都高校・大学教職員交流会

第17回

日時 2023年7月8日（土）14:00～16:00  
実施形態 対面及びオンライン（Zoom）  
テーマ 「探究カリキュラム改革で大きく成長した生徒たち、そして教職員。  
探究の深化は何をもたらすのか」  
コーディネーター 滋野 哲秀氏（元龍谷大学 文学部・元京都教育大学 教授）  
事例報告者 石田 憲彰氏（京都府立宮津天橋高等学校 宮津学舎 教諭）  
参加者数 19名（対面8名、遠隔11名）

第18回

日時 2024年2月3日（土）14:00～16:00  
実施形態 対面及びオンライン（Zoom）  
テーマ 「高等学校での探究学習の経験は、大学における学生の学びやキャリア形成に  
どのような影響を与えているのか、大学生・社会人・高校教員の語りから、高校  
における探究学習を考える。」  
コーディネーター 滋野 哲秀氏（元龍谷大学 文学部・元京都教育大学 教授）  
事例報告者 松本 夢花氏（京都府八幡市立男山第二中学校教諭）  
佐藤 小雪氏（龍谷大学国際学部3回生）  
大島 結人氏（京都府立ホクリョウ高等学校教諭）  
参加者数 15名（対面9名、遠隔6名）

◆ 高校生のための進学応援プログラム

・ 工学系編

日 時 2023年7月15日(土) 13:00~16:00  
 定 員 20名(工学系に関心のある高等学校1年~3年 女子)  
 参加者数 5名(申込者8名)

・ 文学系編

日 時 2023年7月29日(土) 13:00~16:00  
 定 員 20名(文学系に関心のある高等学校1年~3年)  
 参加者数 3名(申込者4名)  
 コーディネーター 山本 以和子 氏(京都工芸繊維大学 工芸科学部 教授)

【実施スケジュール(主要事項)】

【今後の主予定】

7月8日(土)	第17回京都高校・大学教職員交流会【ハイブリッド形式】
7月15日(土)	高校生のための進学応援プログラムイベント(工学系編)
29日(土)	高校生のための進学応援プログラムイベント(文学系編)
11月3日(金)	2023年度高大社連携フューチャーセッション
12月2日(土)	第21回高大連携教育フォーラム
2月3日(土)	第18回京都高校・大学教職員交流会【ハイブリッド形式】

各種委員会等の開催について

■ 開催報告 ■

(1) FD 事業

① FD フォーラム企画検討委員会

6月21日(水)	第1回FDフォーラム企画検討委員会
7月14日(金)	全体テーマ・シンポジウムに関する意見交換会
8月29日(火)	第2回FDフォーラム企画検討委員会
10月7日(土)	第3回FDフォーラム企画検討委員会
11月7日(火)	第4回FDフォーラム企画検討委員会
2月16日(金)	第5回FDフォーラム企画検討委員会
3月29日(金)	第6回FDフォーラム企画検討委員会

② FD 企画研究委員会

5月31日(水)	第1回FD企画研究委員会
7月21日(金)	第2回FD企画研究委員会
9月7日(木)	第3回FD企画研究委員会
12月21日(木)	第4回FD企画研究委員会
3月26日(火)	第5回FD企画研究委員会

## (2) SD事業

### ③ SD研修委員会

5月11日(木)	第1回SD研修委員会
7月4日(火)	第2回SD研修委員会
9月21日(木)	第3回SD研修委員会
11月29日(水)	第4回SD研修委員会
3月12日(火)	第5回SD研修委員会

## (3) 京都高大連携研究協議会事業

以下の④・⑤の会議は、大学コンソーシアム京都に設置された専門委員会とは異なり、京都高大連携研究協議会に設置された委員会である。

### ④ 京都高大連携研究協議会 役員会

7月7日(金)	第1回役員会(書面会議)
3月8日(金)	第2回役員会(書面会議)

### ⑤ 京都高大連携研究協議会 運営委員会

7月6日(木)	第1回運営委員会
3月8日(金)	第2回運営委員会

### ⑥ 高大連携推進室会議

4月21日(金)	第1回高大連携推進室会議
5月24日(水)	第1回拡大高大連携推進室会議
9月14日(木)	第2回高大連携推進室会議
11月22日(水)	第3回高大連携推進室会議
1月18日(木)	第4回高大連携推進室会議
2月14日(水)	第5回高大連携推進室会議
3月28日(木)	第6回高大連携推進室会議

以上

■事業進捗■

(1) 京都学生祭典事業

【事業計画の概要および実績】

<概要>

京都学生祭典は、「大学のまち京都」を盛り上げるべく 2003 年から開催され、2022 年度で第 20 回を迎えた。学生で組織する京都学生祭典実行委員会は、10 月に主催する祭典当日の企画・運営だけでなく、近年では、1 年間を通して、地域交流を深めるため精力的に活動を行っている。

時代の変化の中には明るい話題だけでなく、将来に不安を感じる人もいるなか、「京都学生祭典だからこそできることは何か」と学生自ら問いに向き合い、学生の力を結集させたお祭りをつくり、京都から日本を盛りあげていくことを目指す。

事務局の一翼を担う当事業部では、祭典に向けての支援に加え、1 年間の活動を学生の成長の機会として捉え、年間を通じた支援体制の整備を行う。

I. 第 21 回京都学生祭典

大学の枠を越えた学生の力を結集させ、「大学のまち・学生のまち」京都の魅力を社会に発信し、京都の地域活性化に貢献するとともに、その活動を通して学生が共に成長していくことを目的に、「京都学生祭典」を京都学生祭典組織委員会の一員として共催した。

《開催日時》2023 年 10 月 8 日（日）11 時 00 分～18 時 00 分

※雨天の影響により 16 時までの短縮開催として実施

《会 場》平安神宮前・岡崎プロムナード一帯（京都市左京区）/公式 YouTube Live

《テ ー マ》「飛んで、翔ける！～京に輝く学生の力～」

《企画趣旨》第21回京都学生祭典本祭では、記念となる第20回が終わり、再び新たな未来へ向かって「翔けだして行く」第21回とする。京都学生祭典の実行委員および関係者全員がこのお祭りを通じて羽ばたき、輝けるような1年となるように、京都学生祭典が先頭に立って、学生に呼びかけ、学生を引っ張っていくことを目指す。

《企画内容》第21回京都学生祭典本祭は新型コロナウイルス感染防止対策を十分に講じ、全て対面で行い、一部YouTube Live 配信を実施した。来場者数は66,110人であり、北メインステージのYouTubeLive視聴者数は2,585人であった。

【実施スケジュール（主要事項）】（2024 年 3 月 31 日時点）

12 月 14 日（水）	第 21 回京都学生祭典事務局会議（2022 年第 6 回）
1 月 31 日（火）	第 21 回京都学生祭典企画検討委員会（2023 年第 1 回）
2 月 16 日（木）	第 21 回京都学生祭典事務局会議（2023 年第 1 回）
3 月 14 日（火）	第 21 回京都学生祭典企画検討委員会（2023 年第 2 回）
3 月 24 日（金）	第 21 回京都学生祭典組織委員会（2023 年第 1 回）
4 月 19 日（水）	第 21 回京都学生祭典事務局会議（2023 年第 2 回）
5 月 30 日（火）	第 21 回京都学生祭典企画検討委員会（2023 年第 3 回）
6 月 16 日（金）	第 21 回京都学生祭典事務局会議（2023 年第 3 回）

7月14日(金)	第21回京都学生祭典企画検討委員会(2023年第4回)
8月17日(木)	第21回京都学生祭典事務局会議(2023年第4回)
8月30日(水)	第21回京都学生祭典企画検討委員会(2023年第5回)
9月22日(金)	第21回京都学生祭典組織委員会(2023年第2回)
10月24日(火)	第21回京都学生祭典事務局会議(2023年第5回)
11月17日(金)	第21回京都学生祭典企画検討委員会(2023年第6回)
12月5日(火)	第21回京都学生祭典組織委員会(2023年第3回)
12月21日(火)	第22回京都学生祭典事務局会議(2023年第6回)
1月31日(水)	第22回京都学生祭典企画検討委員会(2024年第1回)
2月15日(木)	第22回京都学生祭典事務局会議(2024年第1回)
3月6日(水)	第22回京都学生祭典企画検討委員会(2024年第2回)
3月27日(水)	第22回京都学生祭典組織委員会(2024年第1回)

◆第21回京都学生祭典実行委員会研修実施一覧(2024年3月31日時点)

開催日	テーマ	対象	講師/所属	参加者数
4月21日(金)	祭典の基礎研修	全員	企画検討委員長 木村 光博 氏	17名
8月5日(土)	救命講習	全員	京都市消防局消防学校教育管理課救命講習係	23名

◆第22回京都学生祭典実行委員会研修実施一覧(2024年3月31日時点)

開催日	テーマ	対象	講師/所属	参加者数
2月9日(金)	稟議書研修	全員	第22回副実行委員長	14名
2月15日(木)	マネジメント研修	執行部	保利雅彦(一般社団法人京都経済同友会 事務局 課長/第21回京都学生祭典 事務局構成員)	6名
3月6日(水)	スタートアップ研修	執行部	企画検討委員長 木村 光博 氏	7名
3月10日(日)	就活ガイダンス OBOG 座談会	全員	(株)マイナビ 鶴見耕太郎 キャリアカウンセラー 中本雅和(第21回京都学生祭典企画検討委員)・OBOG4名	14名
3月20日(水)	安寧小学校研修 (使用方法に関する確認)	担当	第21回おどり手リーダー	7名

◆第21回京都学生祭典実行委員会活動内容一覧(2024年3月31日時点)

開催日	活動内容	担当部	参加者数
1月15日(日)	古川町商店街ボランティア	第21回全体	4名

1月31日(金)	京都市表敬訪問	第20回および第21回四役	8名
2月11日(日)	紫竹ルネサンス	全体	8名
2月20日(月)	岡崎地域夜警	全体	7名
3月5日(日)	紫竹キッズキャンパス	全体	3名
3月12日(日)	紫竹キッズキャンパス	全体	3名
3月18日(土)	紫竹キッズキャンパス	全体	3名
3月20日(月)	岡崎地域夜警	全体	7名
3月27日(月)	さんさん山城	全体	4名
4月1日(土)	さんさん山城	全体	7名
4月20日(木)	岡崎地域夜警	全体	7名
4月30日(日)	K-Style radio 収録	全体	3名
5月13日(土)	第1回留学生交流会	年間交流部	70名
5月21日(日)	K-Style radio 収録	全体	4名
6月10日(土)	京都国際映画祭×京都学生祭典コラボ新歓	全体	10名
6月20日(火)	岡崎夜警	全体	7名
6月23日(金)	SDGs 研修	全体	30名
6月23日(金)	K-Style radio 収録	全体	2名
6月24日(土)	京北めぐる市・万博ワークショップ	全体	3名
7月23日(日)	K-Style radio 収録	全体	2名
7月24日(月)	三条商店街夏祭りボランティア	年間交流部	4名
7月29日(土)	KBS 京都ラジオ「ラニーノーズの鼻」出演	全体	2名
7月30日(日)	安寧夏まつり(演舞披露・ブース企画)	全体	12名
8月20日(日)	岡崎夜警	全体	8名
8月29日(火)	K-Style radio 収録	全体	2名
8月30日(水)	パートナー交流会	全体	31名
9月3日(日)	プレイベント	全体	33名
9月5日(火)	京都府表敬訪問	四役	3名
9月9日(土)	紫竹まつり	年間交流部	9名
9月16日(日)	成功祈願	全体	30名
9月16日(日)	KBS 京都ラジオ「ラニーノーズの鼻」出演	全体	2名
9月20日(水)	岡崎夜警	全体	10名
9月23日(土)	第2回留学生交流会	年間交流部	19名
9月26日(火)	K-Style radio 収録	実行委員長	1名
10月1日(日)	決起集会	全体	67名
10月9日(月)	K-Style radio 収録	実行委員長	1名
10月10日(火)	氏子大祭(岡崎神社)	全体	6名
10月11日(水)	氏子大祭(岡崎神社)	全体	4名

10月15日(日)	自治記念式典	四役	2名
10月16日(月)	氏子大祭(岡崎神社)	全体	5名
10月17日(火)	氏子大祭(岡崎神社)	全体	7名
10月20日(金)	岡崎夜警	全体	6名
11月20日(月)	岡崎夜警	全体	9名
12月1日(金)	関西万博500日前記念イベント	実行委員長	1名
12月2日(土)	紫竹ルネサンス	全体	12名
12月20日(水)	岡崎夜警	全体	8名
1月14日(日)	CoCo白川ランタン祭り	全体	4名
1月20日(土)	岡崎夜警	第22回全体	8名
1月23日(火)	京都市表敬訪問	第21回・22回実行委員長	2名
2月18日(日)	京都マラソンボランティア	全体	10名
2月20日(火)	岡崎夜警	全体	11名
3月20日(水)	岡崎夜警	全体	11名
3月22日(金)~24日(日)	アップサイクルでSDGsフェス	全体	5名

◆新実行委員説明会

3月より新実行委員の募集を開始した。HPやSNSを活用し説明会についての投稿をしたうえで、可能な限り対面で説明会を行った。3月はオンラインで1回、4月は対面で4回実施した。6月までの毎週土曜日にキャンパスプラザ京都での説明会を定期的実施し、年間を通して実行委員加入に努めた。新歓活動は7月まで行った。

◆第21回実行委員構成人数(10月時点)

構成人数 90名(20大学 0大学院 1短期大学 0専修学校(昨年同時141名))

① 財団加盟校 計90名

(単位:名)

加盟校名	本年度	前年度	加盟校名	本年度	前年度
京都大学	0	3	京都芸術大学	0	0
京都教育大学	0	2	京都橘大学	4	1
京都工芸繊維大学	2	3	京都ノートルダム女子大学	2	1
京都市立芸術大学	0	0	京都美術工芸大学	1	1
京都府立大学	2	0	京都文教大学	4	4
京都府立医科大学	0	0	京都文教短期大学	0	0
福知山公立大学	0	0	京都薬科大学	0	0
池坊短期大学	0	0	嵯峨美術大学	0	0
大谷大学	2	1	嵯峨美術短期大学	1	0
京都医療科学大学	3	0	種智院大学	0	0
京都外国語大学	7	5	成安造形大学	1	3
京都外国語短期大学	0	0	同志社大学	10	15



京都華頂大学	0	0	同志社女子大学	3	13
華頂短期大学	0	0	花園大学	0	0
京都看護大学	0	0	佛教大学	4	2
京都経済短期大学	0	1	平安女学院大学	1	10
京都光華女子大学	0	0	明治国際医療大学	0	0
京都光華女子大学短期大学部	0	0	立命館大学	17	19
京都産業大学	12	24	龍谷大学	1	1
京都女子大学	6	19	龍谷大学短期大学部	0	0
京都精華大学	0	0	大阪医科大学	0	0
京都西山短期大学	0	0	京都情報大学院大学	0	0
京都先端科学大学	7	11	放送大学・京都学習センター	0	0

② 財団非加盟校 0名(昨年同時期2名)

※本年度より、実行委員数は、①誓約書提出、②会費納入、③会員情報の登録完了をもってカウントする。

③ 各部署人数

(単位：名)

部署名	本年度	昨年度	部署名	本年度	昨年度
四役	3	4	年間交流部	12	13
企画運営部	25	54	営業部	10	12
警備部※	12	0	広報部	14	25
おどり普及部	9	19	総務部	5	14

※第21回京都学生祭典実行委員会から警備部が企画運営部から独立。

◆第21回おどり手構成人数(10月時点)

構成人数 685名 / 20大学 0大学院 0短期大学 0専修学校 (前年同時期：714名)

① 財団加盟校 684名

(単位：名)

加盟校名	本年度	昨年度	加盟校名	本年度	昨年度
京都大学	38	36	京都芸術大学	0	0
京都教育大学	0	6	京都橘大学	90	92
京都工芸繊維大学	7	10	京都ノートルダム女子大学	24	24
京都市立芸術大学	0	0	京都美術工芸大学	0	0
京都府立大学	33	22	京都文教大学	30	30
京都府立医科大学	3	4	京都文教短期大学	0	0
福知山公立大学	0	0	京都薬科大学	36	34
池坊短期大学	0	0	嵯峨美術大学	0	0
大谷大学	3	5	嵯峨美術大学短期大学部	0	0
京都医療科学大学	0	0	種智院大学	0	0
京都外国語大学	0	1	成安造形大学	0	0
京都外国語短期大学	0	0	同志社大学	52	67

京都華頂大学	0	0	同志社女子大学	60	57
華頂短期大学	0	0	花園大学	0	0
京都看護大学	0	0	佛教大学	3	3
京都経済短期大学	0	0	平安女学院大学	0	1
京都光華女子大学	11	16	明治国際医療大学	0	0
京都光華女子大学短期大学部	0	0	立命館大学	91	81
京都産業大学	101	63	龍谷大学	63	65
京都女子大学	36	90	龍谷大学短期大学部	0	0
京都精華大学	2	0	大阪医科薬科大学	0	0
京都西山短期大学	0	0	京都情報大学院大学	0	0
京都先端科学大学	1	0	放送大学・京都学習センター	0	0

② 財団非加盟校 1 名（関西外国語大学 1 名）（前年同時期：7 名）

## 1. 本祭

### 第 21 回京都学生祭典（本祭）

テーマ「飛んで、翔けろ！～京に輝く学生の力～」 10月8日（日）11：00～18：00

※午後からの雨天が予想されたため、16:00 までの短縮開催とした。

@平安神宮前・岡崎プロムナード一帯

※一部企画を公式 YouTube チャンネル（YouTube Live にて実施）配信

《来場型企画》

ステージ企画	<b>Opening 企画</b>
※平安神宮前など 3 つのステージにて有観客で行う。一部企画をライブ配信。	開演！京炎そでふれ！
	パレード
	全国おどりコンテスト
	京炎 そでふれ！コンテスト企画
	SDGs×ファッション企画
	Kyoto Student Music Award
	総おどり
	<b>Grand Finale 企画</b>
岡崎プロムナード企画	食企画、企業行政ブース、
岡崎グラウンド企画	体験企画、みこし展示

＜来場者数＞

来場者数は 66,110 名、YouTube Live の視聴回数は 2,585 回であった。

※参考：本祭当日の公式 HP アクセス数は 13,976 回

## 2. プレイベント

日 時：9月3日（日）10：00～16：00

場 所：イオンモール KYOTO センターコート

企画内容：京炎 そでふれ！普及チームによる演舞

年間交流部による工作ブース（でんでん太鼓、うちわ）と遊びブース（巨大ジェンガ、コンノリ）

- ・当日は約 253 名（延べ人数）の一般参加があった。子どもを対象とした工作ブース・遊びブースが好評であったため、本祭でも巨大ジェンガの実施を行うこととした。大きなトラブル等もなく、無事終えることができた。

### 3. 広報関係

#### (1) 広報方針

- ・京都学生祭典に触れる機会を増やし、「京都学生祭典」という言葉を聞いたことがない人や見たことがない人に届けることを方針としている。年々本祭の来場者数が減っているため、第 21 回京都学生祭典では、知名度向上に向けた広報展開を重点的に検討した。また、SNS での広報展開は第 20 回で実施してきたことを土台とし、継続し続けた。

#### (2) 本機校正を伴う広報物の制作・編集業務の委託契約

- ・広報物の制作は、納品時期にあわせて分割で委託契約を行った。A4 チラシ、A2 ポスターは（株）サンエムカラーに依頼した。8 月上旬に納品完了、配架した。公式パンフレットについてはアール工芸印刷社に依頼した。9 月上旬に納品完了、配架した。オリジナルグッズについてはアール工芸印刷社に依頼し、SDGs を踏まえて 100%再生プラスチックを使用したクリアファイルを作成し、9 月中旬に納品完了、配架した。報告パンフレットはアール工芸印刷社に依頼し、11 月下旬に納品完了、関係各所に配布した。

#### (3) 新聞広告の掲載

- ・第 21 回では京都新聞にて 1 面広告を実施した。（10 月 1 日掲載）

#### (4) 交通広告

- ・京都市営地下鉄中づり広告（10/2～10/8）、京都駅ホーム階ポスタージャック（9/29～10/5）

#### (5) SNS 広告

- ・Google リスティング広告、Instagram ストーリー型動画広告、Twitter の画像広告

##### 【掲載期間】

2023 年 8 月 25 日（月）～9 月 9（火）日、9 月 24 日（日）～10 月 8 日（日）

#### (6) 京都市「市政広報板」への掲載

- ・京都市と調整し、10 月 1 日～15 日に京都市市政広報板に広告を掲載した。

#### (7) 他のメディア

No	掲載日	掲載メディア	掲載内容
1	3 月 15 日（水）	NHK 京都 NEWS WEB	京都府警 PR コラボ
2	3 月 28 日（火）	京都新聞（朝刊）	京都府警 PR コラボ
3	6 月 20 日（火）	フリーペーパーBE/ST vol. 57 2023 SUMMER	実行委員長インタビュー
4	7 月	サンガタイムズ_2023 年 7 月号 vol. 115	京都サンガ 京炎 そでふれ！披露

5	8月31日(木)	J:COM 京都みやびじょん 「LIVE ニュース」	京都学生祭典について、SDGs×ファッションショー、京炎みこし
6	9月4日(月)	京都新聞(朝刊)	イオンモール KYOTO プレイベント
7	9月17日(日)	京都新聞(朝刊)	成功祈願
8	10月1日(日)	京都新聞(朝刊 一面広告)	本祭告知
9	10月1日(日)	KYOTO 市民しんぶん No. 978	本祭告知
10	10月1日(日)	フリーペーパーBE/ST vol. 58 2023	本祭告知
11	10月7日(土)	京都新聞(朝刊)	本祭告知
12	10月9日(月)	京都新聞(朝刊)	本祭
13	10月14日(土)	J:COM 京都みやびじょん 「ジモトトピックス」	本祭について
14	12月7日(木)	NHK 国際放送	京都学生祭典について
15	3月18日(月)	京都新聞(WEB) 京都・滋賀プレスリリース (PR TIMES)	2025年大阪・関西万博機運醸成『MIXTURE-STATION』開催について

#### 4. 営業関係

##### (1) 営業方針

- ・営業部の実行委員数が少ないことから、実行委員全員が一丸となり営業活動を行った。

##### (2) 協賛アプローチ

###### 《スペシャルパートナー》

- ・2022年12月：第20回のスペシャルパートナー企業より第21回から協賛を降りるとの連絡があった。
- ・新規でスペシャルパートナー企業を獲得するのは困難なため、既存の金額アップや少額の新規企業開拓の方向で営業活動を行った。

###### 《KYO-SENSE パートナー》

- ・6月上旬：協賛案内実施。
- ・6月下旬：協賛回答有。昨年度と同額とし KYO-SENSE パートナー枠で協賛が確定。

###### 《オフィシャルパートナー》

- ・4月上旬：オフィシャルパートナーへアプローチ開始。
- ・4月下旬：全ての既存協賛企業へ増額アプローチを含めアプローチ開始。
- ・5月下旬：既存数社より増額の回答あり。また、他の既存数社からは昨年度同額との回答あり。

###### 《その他協賛企業》

- ・4月下旬：既存協賛企業と、昨年度、協賛希望の連絡をいただいた新規企業へのアプローチ開始。
- ・5月連休明け：新規企業へアプローチ開始。
- ・6月末：協賛企業アプローチ終了。広報物へのロゴ掲載など、スポンサープログラムを実施できなくてもよい協賛企業の場合には本祭直前まで営業活動を継続。

##### (3) 個人サポーター

- ・10月末まで募集(実績：74組)

#### (4) パートナー交流会

日 時：8月30日（水）16:00～17:30

場 所：キャンパスプラザ京都 2階ホール

参加者：協賛企業24名、企画検討委員8名、実行委員38名

#### (5) 成果報告会・感謝祭

関係者・協賛企業の皆様に本年度の総括と感謝を伝える場として、下記の通り開催した。

日 時：12月12日（火）

成果報告会 18:00～18:30（場所キャンパスプラザ京都 第3講義室）

感謝祭 18:45～19:45（場所：キャンパスプラザ京都 ホール）

参加者：協賛企業含め関係者計38名、実行委員37名

### 5. 公募関係

#### (1) メインビジュアル

4月1日（土）～5月26日（金）募集受付、エントリー：30件

実行委員会による審査を経て決定した。

#### (2) 本祭企画

食企画・Kyoto Student Music Award・SDGs×ファッション企画等、7月末ですべて募集を締め切った。SDGs×ファッション企画については6月23日に実行委員と出演団体に対して、京都市よりSDGsの研修を実施していただいた。また、6月24日に開催された京北めぐる市にて、京都大学大学院地球環境学堂准教授兼京都里山SDGsラボ（ことす）運営協議会共同代表の浅利美鈴様より、着られなくなった着物を素材としてお譲りいただいた。SDGs×ファッション企画は4団体、食企画（串フェス）は10団体（学生団体は7団体）、Kyoto Student Music Awardは28団体、全国おどりコンテスト マルチ部門は9団体、よさこい部門は5団体、京炎 そでふれ！コンテストは11団体、岡崎グラウンド企画は3団体の応募があった。

### 6. 新型コロナウイルス感染症防止対策

令和5年5月8日から新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けが5類感染症となったことから、事務局会議や京都府、京都市と検討し、別途ガイドラインは作成しないこととした。

### 7. 交通規制・警備関係

#### (1) 交通規制

川端警察署と連携を取り、準備を進め、本祭当日に交通規制を実施した。6月21日に1回目の打ち合わせ、8月2日に2回目の打ち合わせを実施した。

#### (2) 警備

交通規制を行うにあたり、警備員を配置する必要がある、協議の結果、昨年の実績もある株式会社コトナに依頼することとなった。

### 8. その他

#### (1) おどり普及部活動内容一覧

開催日	活動内容	参加実行委員数	参加者数
11月9日(水)	京都府警察学校	4名	17名
11月14日(月)	京都府警察学校	5名	17名
11月30日(月)	京都教育大学附属京都小中学校	1名	20名
12月3日(土)	養正ワイワイフェスタ	16名	-
12月21日(水)	京都府警察学校	7名	17名
12月26日(月)	京都府警察学校	6名	17名
1月11日(水)	京都府警察学校	7名	17名
1月21日(土)	京都府警察学校	6名	16名
2月19日(日)	京都マラソン沿道盛り上げ隊	11名	6名
2月27日(月)	京都市立洛水中学校	4名	60名
3月1日(水)	京都市立洛水中学校	3名	60名
3月15日(水)	京都府警察 コラボPV試写会	12名	0名
4月2日(日)	さくらよさこい	16名	0名
4月2日(日)	さくらまつり	8名	0名
4月9日(日)	鴨川を美しくする会	16名	1名
5月1日(月)	京都市立大原小中学校	3名	20名
5月2日(火)	京都市立大原小中学校	2名	20名
5月3日(水)	KIDS万博	10名	0名
5月5日(金)	京都駅ビル KIDSDAY2023	9名	3名
5月10日(水)	京都市立大原小中学校	2名	20名
5月28日(日)	決起交流会	20名	70名
5月31日(水)	京都市立大原小中学校	2名	20名
6月18日(日)	京都サンガ披露	29名	56名
7月8日(土)	Sailing Kobe	16名	40名
7月23日(日)	賀茂の水まつり	7名	4名
7月30日(日)	安寧夏祭り	7名	0名
8月3日(木)	桂駐屯地 納涼夏祭り	10名	1名
8月6日(日)	鴨川納涼祭	10名	1名
8月26日(土)~28日(月)	にっぽんど真ん中祭り	5名	20名
9月7日(木)	八条中学校	2名	270名
9月8日(金)	京都教育大学附属小学校	3名	30名
9月12日(火)	八条中学校	3名	270名
9月14日(木)	梅津北小学校	1名	100名
9月15日(金)	京都教育大学附属小学校	2名	30名
9月19日(火)	八条中学校	3名	270名
9月19日(火)	錦林小学校	2名	25名

9月21日(木)	梅津北小学校	2名	100名
9月22日(金)	京都教育大学附属小学校	2名	30名
9月26日(火)	錦林小学校	2名	25名
9月28日(木)	梅津北小学校	3名	100名
9月29日(金)	京都教育大学附属小学校	3名	30名
10月1日(日)	京炎の寺町(寺町商店街でのおどり披露)	67名	-
10月8日(日)	小さな文化祭(洛北ロータリー 贈呈式)	5名	-
10月13日(金)	京都教育大学附属小中学校	2名	30名
10月21日(土)	下京区デイサービス	4名	20名
10月28日(土)	京都ハンナリーズ披露	20名	-
10月30日(月)	洛東高校出前披露	3名	670名
11月11日(土)	京都光華女子大学文化祭	5名	-
11月12日(日)	りょうまよさこい	12名	-
11月20日(月)	京都文化と教育の日 in フェ※	19名	-
11月21日(火)	京都市立広沢小学校	6名	180名
11月26日(日)	九条学区祭	4名	-
12月1日(金)	関西万博500日前記念イベント	14名	-
1月10日(水)	錦林児童館(振り落とし)	4名	14名
2月3日(土)	岡崎自治連合会 わいわい文化祭	9名	-
2月18日(日)	京都マラソン沿道盛り上げ隊	17名	-
3月24日(日)	万博機運醸成イベント『MIXTURE-STATION』	12名	-

#### ※京都文化と教育の日 in フェ

京都府が「万博国際交流プログラム」に採択され、実施。京都・フェの若者交流を目的に開催された。京都府より「京炎！そでふれ」の演舞の要請があり、実行委員を中心に対応。大きなトラブルもなく、無事に開会式とイベント本編の2回のおどり披露・現地の学生との交流を実施した。

#### (2) 本祭施工業者選定

- ・本祭施工及び運営支援業務委託に関わる説明会を3月22日(水)開催。4月28日(金)見積書提出締め切り。3社より見積書の提出があった。5月30日(火)開催の第3回企画検討委員会にて承認を得て(株)新通に決定した。

## II. 第22回京都学生祭典

- ・12月5日(火)開催の第3回組織委員会にて第22回京都学生祭典実行委員会が発足した。
- ・メインビジュアルは公募して決定する。募集期間は2月1日(木)～4月22日(月)とした。
- ・3月6日2023年第2回企画検討委員会にて第22回のテーマが「繋ぐ軌跡、築く未来“Bridge the Past, Build the Future”」に決定した。
- ・本祭施工に及び運営支援業務委託に関わる説明会を2月28日(水)に開催した。

## (2) 京都国際学生映画祭事業

### 【事業計画の概要および実績】

#### <概要>

京都国際学生映画祭は、学生の実行委員会が運営する日本最大規模の国際学生映画祭で、2002年（第5回）から財団が単独で主催している。2023年度においても、国内外を問わず実行委員が広く学生作家の映像作品をコンペ形式で募集し、選考した作品を上映する第26回京都国際学生映画祭（京都文化博物館フィルムシアター・2024年2月10～12日開催予定／オンライン開催・2024年2月配信予定）の企画や運営、PRを1年間担っていく。

京都国際学生映画祭は、文化芸術都市であり、「学生のまち」でもある京都で、学生クリエイターの発掘や情報発信、国際交流を深める上で開催する意義は大きい。映画祭を支える実行委員は人員不足が続いていたが、2022年度に実地開催できたこともあり2023年度は20名超の実行委員が継続することになった。引続き、新規実行委員の獲得を目指しつつ、実行委員の成長を促すための支援を行うとともに、実行委員とのコミュニケーションを図り、当該事業を展開していく。

#### <実績>

#### 【実施スケジュール（主要事項）】

2023年	
3月1日（水）	第26回京都国際学生映画祭実行委員会発足
3月15日（水）	2022年度 京都国際学生映画祭 第4回企画検討委員会
4月1日（金）	コンペ作品募集開始および新規実行員募集の案内・広報開始
4月1日（土）10時 ～7月21日（金）16時	第26回京都国際学生映画祭コンペティション作品募集期間
5月20日（土）	第1回研修会
5月30日（火）	2023年度 京都国際学生映画祭第1回企画検討委員会
6月17日（土）	第2回研修会（講師：板倉 一成 氏）
7月1日（土）	第3回研修会（講師：鈴木 卓爾 氏）
7月29日（土）	2023年度 京都国際学生映画祭第2回企画検討委員会
9月12日（火）	2023年度 京都国際学生映画祭第3回企画検討委員会
11月25日（土）	2023年度 京都国際学生映画祭第4回企画検討委員会
2024年	
2月10日（土）～12日（月）	第26回京都国際学生映画祭 in 京都文化博物館フィルムシアター
2月17日（土）～23日（金）	オンライン配信
2月27日（火）	2023年度 京都国際学生映画祭第5回企画検討委員会

#### ◆第26回実行委員構成人数<3月時点>

構成人数：32名 大学31 短期大学1 専修学校0 （前年度：51名 内非加盟校11名）

#### ① 加盟校 計26名

大学・短期大学名	本年度	前年度	大学・短期大学名	本年度	前年度
----------	-----	-----	----------	-----	-----



京都大学	1	7	京都先端科学大学	0	0
京都教育大学	0	0	京都橘大学	1	0
京都工芸繊維大学	0	0	京都ノートルダム女子大学	0	0
京都市立芸術大学	0	0	京都美術工芸大学	0	1
京都府立大学	0	1	京都文教大学	0	0
京都府立医科大学	0	0	京都文教短期大学	0	0
福知山公立大学	0	0	京都薬科大学	0	0
池坊短期大学	0	0	嵯峨美術大学	1	0
大谷大学	0	0	嵯峨美術大学短期大学部	1	0
京都医療科学大学	0	0	種智院大学	0	0
京都外国語大学	5	6	成安造形大学	0	0
京都外国語短期大学	0	0	同志社大学	5	7
京都華頂大学	0	0	同志社女子大学	1	2
華頂短期大学	0	0	花園大学	0	0
京都看護大学	0	0	佛教大学	1	1
京都経済短期大学	0	0	平安女学院大学	0	0
京都芸術大学	1	0	明治国際医療大学	0	0
京都光華女子大学	0	0	立命館大学	7	12
京都光華女子大学短期大学部	0	0	龍谷大学	1	1
京都産業大学	0	1	龍谷大学短期大学部	0	0
京都女子大学	0	1	大阪医科薬科大学	0	0
京都精華大学	1	0	京都情報大学院大学	0	0
京都西山短期大学	0	0	放送大学・京都学習センター	0	0

② 非加盟校：6名

(大阪大学3名、神戸大学1名、大阪公立大学1名、Simmelweis Univ 1名)

**【特記事項】**

進捗報告 (第26回)

① 国内部門

・第26回京都国際学生映画祭コンペティション作品募集

(2023年4月1日(土)10時(JST)～7月21日(金)16時(JST))

[ ] はアニメーション作品数

	国内	海外	総数
2023年度(第26回)受付作品数	134 [29]	300 [26] (38カ国)	434
2022年度(第25回)受付作品数	160 [22]	221 [55] (29ヶ国)	381
2021年度(第24回)受付作品数	172 [34]	143 [52] (25ヶ国)	315
2020年度(第23回)受付作品数	100 [16]	272 [33] (22ヶ国)	372
2019年度(第22回)受付作品数	101 [12]	176 [45] (29ヶ国)	277

2018年度（第21回）受付作品数	98 [23]	490 [115] (33ヶ国)	588
-------------------	---------	------------------	-----

・最終審査員は以下の3名に決定（11月11日（土）最終審査）

大江 崇允氏（1981）：『美しい術』、『適切な距離』

山口 淳太氏（1987）：『ドロステのはてで僕ら』、『リバー、流れないでよ』

山戸 結希氏（1989）：『5つ数えれば君の夢』、『おとぎ話みたい』、『溺れるナイフ』

## ② 企画部門

### プレイベント

・血巡りホラー上映会～京都の夜で恐怖の夜～

日程：2023年12月9日（土）16:00～20:00

会場：長寿山 本昌寺

来場者数：40名 参加実行委員数：14名

内容：映画監督の清水崇氏、怪異蒐集家の木原浩勝氏、そして第20回京都国際学生映画祭入選監督の作品を上映し、トークイベントを行った。

## ③ 国際部門

・6月28日（金）翻訳ボランティアの募集開始（公式WEBサイト、公式SNSにて広報）

## ④ 広報部門

### (1) 渉外

1) 第25回京都国際学生映画祭：協賛/後援先への事業報告 3月31日（金）完了

2) 第26回京都国際学生映画祭：協賛依頼

第26回協賛金 11社等（第25回・12社等+物品）

### (2) 広報

1) コンペ作品および新規実行員募集の案内・広報

Twitter、Facebook等SNSにてコンペティション作品募集、新規実行委員募集の案内。

2) 応援メッセージ

オンライン配信企画の応援メッセージを公式YouTubeにて配信した。

### (3) 制作

1) コンペ作品および新規実行員募集チラシ/ポスター制作

2) 第26回京都国際学生映画祭チラシ・ポスター・チケット

3) 第26回京都国際学生映画祭公式カタログ

### (4) 連携企画イベント

1) 京都国際映画祭2023に参加（10月13日）

前年度グランプリ受賞作品『LUNCHBOX』を上映し学生実行委員が登壇した。

2) 東京学生映画祭とのコラボ企画に参加 (12月10日)

前年度グランプリ受賞作品『LUNCHBOX』を上映し、両映画祭委員のトークセッションに参加した。

3) SHINP Vol.16に参加 (12月23日)

前年度入選作品『Identibye』を上映し学生実行委員が登壇した。

4) 京都大学医学部附属病院と連携 (2月～)

前年度入選作品を入院患者の各病床のモニターより視聴できるようにした。

⑤ 入選作品決定

国内：3件 [2] 海外：13件 [1] (7ヶ国) 計16件 ※ [ ] はアニメーション作品数

※色付きはアニメーション作品

No.	原題	監督名	尺	学校	所在国
1	Hellscape	Alix DEVAUX, Camille LEROUX, Félicia POGGI, Clémence LACOUME, Lara BRIÈRE, Valentine WILKE	6	Supinfocom Rubika	フランス
2	The Crooker Lovers	Thanachanok PADUNGCHAIPO OMTHAI	16	Mahidol University International College	タイ
3	Lost in Count	GONG Bochen	30	Beijing Film Academy	中国
4	Between Us	YANG Ji-won	24	KOOKMIN University	韓国
5	EX MACHINA	PARK Jongwoo	36	Korea National University of Arts	韓国
6	DOCOOK	羽部空海	4	武蔵野美術大学	日本
7	Durian Trees	CHEUN Shi Chin	26	Taiwan I-SHOU University	台湾
8	Hell-World Judge	GUAN Lichen	38	Dongguk University	韓国
9	喝采	平尾匠	34	京都精華大学	日本
10	Returning South	Sofía AYALA	15	German Film and Television Academy	ドイツ
11	MICROWAVE LOVE	KWON Chan-young	26	KOOKMIN University	韓国
12	Fresh	LEE Euntaek	14	The University of Suwon	韓国
13	The Steak	Kiarash DADGAR	8	Soore Art University of Tehran	イラン
14	Life of Dongwoo	PARK Hobeom	18	Soongsil University	韓国

15	Movie Dream	YANG Yuan	39	Shanghai Business School	中国
16	SEWING LOVE	許願	8	多摩美術大学	日本

⑥ 最終審査会結果

2022年11月24日(木)にキャンパスプラザ京都にて開催された最終審査会の結果、以下の通り受賞者が決定した。

	作品名	部門	国
👑 グランプリ	Movie Dream	実写	中国
👑 準グランプリ	Life of Dongwoo	実写	韓国
最終審査員賞 (大江崇允賞)	MICROWAVE LOVE	実写	韓国
最終審査員賞 (山口淳太賞)	The Steak	実写	イラン
最終審査員賞 (山戸結希賞)	Durian Trees	実写	台湾
実行委員賞	Fresh	実写	韓国

⑦ その他

(1) 助成金事案

・令和5年度 芸術文化振興基金助成金 交付要望書 →採択

(2) ndjc:若手作家育成プロジェクト2023(文化庁委託事業)

第24回京都国際学生映画祭準グランプリ受賞者を推薦したが、選出されなかった。

【本祭】

①日程:2024年2月10日(土)~2月12日(月・休)3日間

オンライン配信(Vimeo)2月17日(土)~23日(金)7日間 迄※購入から1週間視聴可能

②会場:京都文化博物館フィルムシアター

③タイムテーブル:

2月10日 (土)	開会式 10:30~	プログラムA 11:00~	最終審査員企画 『ドロステのはてで僕ら』 13:40~	プログラムC 15:50~	交流会 18:00~
2月11日 (日)	関西企画 【関西フォーカス】 10:30~		最終審査員企画 『適切な距離』 12:15~	プログラムB 14:50~	プログラムA 17:15~
2月12日 (月・休)	プログラムC 10:30~	最終審査員企画 『玉城ティナは夢想する』 13:35~		プログラムB 14:25~	授賞式 17:00~

④実施企画(シアター):

入選作品			
プログラム A	Hellscape	The Crooker Lovers	Lost in Count
	Between Us	EX MACHINA	
プログラム B	DOCOOK	Durian Trees	Hell-World Judge
	喝采	Returning South	
プログラム C	MICROWAVE LOVE	Fresh	The Steak
	Life of Dongwoo	Movie Dream	SEWING LOVE
最終審査員企画			
①山口淳太監督 上映企画	『ドロステのはてで僕ら』		
②大江崇允監督 上映企画	『適切な距離』		
③山戸結希監督 上映企画	『玉城ティナは夢想する』		
関西企画【関西フォーカス】			
佐々木 温一 監督 (近畿大学)	『脚本』		
山田 耕平 監督 (大阪芸術大学)	『ぐらんぱ・おりじなる』		
タイ・ウリン 監督 (立命館大学大学院)	『Episodic memory』		
授賞式	1) 入選作品監督入場・紹介 2) 受賞作品発表・表彰／贈呈・講評・受賞者コメント ・実行委員賞 ・最終審査員賞 ・準グランプリ、グランプリ 3) 閉会 休憩後、グランプリ作品上映		

⑤実施企画（オンライン配信）

入選 16 作品を 1 パッケージにして配信

⑥来場者数、視聴者数

本祭来場者数 296 名(第 25 回 244 名)

視聴者数 59 回 (第 25 回 203 回)

### (3) 障がい学生支援事業

#### 【事業計画の概要および実績】

##### <概要>

「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」（「障害者差別解消法」）が2016年4月から施行されたことに伴い、各大学は障がい学生支援業務に携わる担当者の能力向上や大学の枠を超えた情報共有や連携の場が求められることとなった。これらのニーズに対応するため、京都を中心とした関西にある大学の障がい支援業務に携わる担当者による「関西障がい学生支援担当者懇談会」を開催し、今後の対応について意見交換を行う。

また、学生へは、聴覚障がい学生の授業における情報保障となるノートテイクについての理解やスキル向上を図るため、ノートテイク養成講座・パソコン（PC）テイク養成講座を開講する。

さらに、障がい学生支援事業企画検討委員会を積極的に活用し、加盟大学のニーズを踏まえた研修会も実施する。

##### <進捗>

#### 1. 大学における障がい学生支援に関する高校教員との懇談会

日時：2023年8月4日（金）14：00～17：00

会場：キャンパスプラザ京都

内容：①話題提供1：「障害のある学生の大学生活と学び ―身体障害のある学生の例を交えて―」

（講師：京都大学 DRC（学生総合支援機構障害学生支援部門）コーディネーター  
辻井 美帆 氏）

②話題提供2：「精神・発達障害のある学生支援について

～さまざまなつながりを意識した支援とは～

（講師：立命館大学 BKC 学生オフィス 障害学生支援室 支援コーディネーター  
岩井 栄一郎 氏）

③グループ別懇談会

参加者：22名（加盟校9名、高等学校教員（特別支援学校含む）他13名）

#### 2. 2023年度 ノート・パソコン（PC）テイク養成講座

テイク養成のために一実体験をもとに背景や意義を考えるー

日時：2023年8月25日（火）14：00～16：15

会場：キャンパスプラザ京都

内容：話題提供1：「聞くことに困り感がある学生への支援技術を活用した支援のあり方を知る」

講師：日本聴覚障害学生高等教育支援ネットワーク（PEPNet-Japan）事務局  
筑波技術大学 障害者高等教育研究支援センター 助教 磯田恭子 氏

話題提供2：『機器操作の事例紹介』

話者：同志社大学 学生支援センター スチューデントダイバーシティ・アクセシビリティ  
支援室 チーフコーディネーター 土橋 恵美子 氏

参加者：20名（加盟校教職員6名、学生2名、非加盟校教職員12名）

### 3. 第31回関西障がい学生支援担当者懇談会（KSSK）

日時：2023年9月13日（金）13：00～17：00

会場：キャンパスプラザ京都

内容：①話題提供：「障害のある学生の災害時対策について —PHED\_SIG-EPの取り組みから」

講師：福井工業大学 工学部 教授 竹田 周平 氏

PHED（東京大学 障害と高等教育に関するプラットフォーム）

：SIG-EP（災害等の緊急時対応に関する専門部会）

企画コーディネーター：京都大学 学生総合支援機構 准教授 村田 淳 氏

DRC チーフコーディネーター、HEAP ディレクター

②分科会 A：精神障がいのある学生の支援

分科会 B：身体障がいのある学生の支援

分科会 C：支援体制・システムを考える

分科会 D：障害のある学生の就労支援

分科会 E：コーディネート基礎編 —合理的配慮の考え方—

参加者：55名（加盟校30名、非加盟校25名）

### 4. テーマ別研修会

障がいのある学生への修学支援（基礎講座）

日時：2023年12月1日（金）14：00～16：30

会場：キャンパスプラザ京都

内容：話題提供：「高等教育機関に求められる障がいのある学生への対応」

講師・ナビゲーター：京都大学 学生総合支援機構

DRC（障害学生支援部門）・チーフコーディネーター

HEAP（高等教育アクセシビリティプラットフォーム）・ディレクター

准教授 村田 淳 氏

参加者：29名（加盟校16名、非加盟校12名、その他1名）

### 5. 第32回関西障がい学生支援担当者懇談会（KSSK）

日時：2024年2月29日（水）12：45～17：00

会場：キャンパスプラザ京都

内容：①話題提供：「高等教育段階での障害のある学生支援について」

講師：文部科学省高等教育局学生支援課課長補佐 小栗 孝明 氏

企画コーディネーター：京都大学 学生総合支援機構 准教授 村田 淳 氏

DRC チーフコーディネーター、HEAP ディレクター

②分科会 A：支援体制・システムやスタッフマネジメントを考える

分科会 B：コーディネートの基礎編 ～合理的配慮の考え方～

分科会 C：コーディネートの応用編 —コーディネート業務経験概ね3年以上—

分科会 D：小規模大学における障がい学生支援

分科会 E：障がいのある学生のキャリア支援

参加者：65名（加盟校31名、非加盟校33名、その他1名）

## 【実施スケジュール（主要事項）】

5月19日（金）	障がい学生支援事業企画検討委員会（第1回）
6月21日（水）	関西障がい学生支援担当者懇談会幹事会（第1回）
8月4日（金）	大学における障がい学生支援に関する懇談会
8月25日（金）	2023年度 ノート・パソコン（PC）タイカー養成講座
9月13日（水）	第31回関西障がい学生支援担当者懇談会（KSSK）
10月31日（火）	関西障がい学生支援担当者懇談会幹事会（第2回）
12月1日（金）	テーマ別研修会
1月11日（木）	障がい学生支援事業企画検討委員会（第2回）
2月29日（木）	第32回関西障がい学生支援担当者懇談会（KSSK）

## 各種委員会等の開催について

### （1）京都学生祭典事業

#### ① 京都学生祭典組織委員会

第1回 3月24日（金）

主要議題：第20回決算報告、第21回事業方針、事業企画、当初予算ほか

第2回 9月22日（金）

主要議題：第21回実施方針、補正予算ほか

第3回 12月5日（火）

主要課題：決算見込み、第22回本祭開催日ほか

第1回 3月27日（水）

主要議題：第21回決算報告、第22回事業方針、事業企画、当初予算ほか

#### ② 京都学生祭典企画検討委員会

第1回 1月31日（火）

主要議題：委員長・副委員長選出、第20回テーマ・当初予算・各部署実施計画ほか

第2回 3月14日（火）

主要議題：第20回決算、第21回当初予算・監査人人選ほか

第3回 5月30日（火）

主要議題：第21回本祭実施方針、事業進捗報告ほか

第4回 7月14日（金）

主要議題：第21回本祭実施方針、事業進捗報告ほか

第5回 8月30日（水）

主要議題：第21回本祭実施方針、補正予算ほか

第6回 11月17日（金）

主要議題：第21回実施・状況報告、決算見込み、第22回実行委員会発足、監査人人選ほか

第1回 2024年1月31日（水）



主要議題：委員長・副委員長選出、第22回テーマ・各部署実施計画ほか

第2回 2024年3月6日（水）

主要課題：第21回事業報告、第22回当初予算、各部署実施計画ほか

### ③ 京都学生祭典事務局会議

第1回 2月16日（木）

主要議題：第20回事業報告（正式）、第21回当初予算、各部署実施計画ほか

第2回 4月19日（水）

主要議題：第21回本祭企画、プレイベント、各部署実施計画ほか

第3回 6月16日（金）

主要議題：第21回本祭開催方針、広報・営業方針、企画概要ほか

第4回 8月17日（木）

主要議題：第21回本祭開催方針、補正予算ほか

第5回 10月24日（火）

主要議題：第21回実施・状況報告、決算見込み、第22回実行委員会発足ほか

第6回 12月21日（木）

主要議題：第22回テーマ・当初予算・各部署実施計画ほか

第1回 2月15日（木）

主要議題：第21回事業報告、第22回当初予算、各部署実施計画ほか

## （2）京都国際学生映画祭事業

### ① 京都国際学生映画祭企画検討委員会

第1回 5月30日（火）

主要議題：企画検討委員長選出、本祭会場、コンペ応募状況、一次審査状況、企画案提出ほか

第2回 7月29日（土）

主要課題：開催形態の検討、二次審査状況、最終審査員報告、企画案提出ほか

第3回 9月12日（火）

主要課題：開催形態の検討、入選作品報告、本祭プログラム枠、広報協力依頼ほか

第4回 11月25日（土）

主要課題：開催方針

第5回 2月27日（火）

主要課題：総括、次年度開催方針

## （3）障がい学生支援事業

### ① 障がい学生支援事業企画検討委員会

第1回 5月19日（金）

主要議題：委員長選出、2023年度障がい学生支援事業

第2回 1月11日（木）

主要議題：2024年度障がい学生支援事業、KSSK開催、2023年度事業実施報告

② **関西障がい学生支援担当者懇談会（KSSK）幹事会**

第1回 6月21日（水）

主要議題：第31回 KSSK の開催について

第2回 10月31日（火）

主要議題：第32回 KSSK の開催について

以上

## (1) 事業の概況

### 【事業計画の概要および実績】

#### <概要>

「第5ステージプラン」の中では柱の一つとして「オール京都での国際交流推進」を掲げ、①留学生誘致・支援事業、②学生の海外留学・交流促進事業、③教職員のグローバル化支援事業を主な推進施策としてきた。

#### ① 留学生誘致・支援事業

2015年度から、大学コンソーシアム京都が事務局となり、加盟大学、日本語学校・専修学校等の教育機関、企業、関係業界団体、関係公的機関など産官学のオール京都による留学生誘致・支援組織「留学生スタディ京都ネットワーク」を設立し、留学生の受入体制の強化、留学生と留学生同士・日本人学生等との交流促進を図ってきた。第5ステージプランにおいては、「留学先としての京都」の認知度・ブランド力の更なる向上に向け、観光と連携した「学びのまち」の情報発信など、より効率的・効果的な留学生誘致プロモーション活動等に取り組んでいくこととしている。

また、京都で学ぶ留学生に対する交流・日本語学習・就職等の支援として、留学生と地域活動団体等との交流や留学生支援・交流コミュニティ「KyoTomorrowAcademy（京トゥモローアカデミー）」をプラットフォームとした日本語学習支援（スタディグループ等）、企業見学ツアー、他の団体との連携による就職支援、日本人学生と留学生の交流などに取り組むとともに、留学生対象のインターンシッププログラムの実施や、留学生向け就職支援情報ポータルサイト、留学生のための住宅情報発信サイトの運営などを行っている。

#### ② 学生の海外留学・交流促進事業

単位互換を利用した豪州メルボルン（龍谷大学主催）への海外派遣プログラムを引き続き行うとともに、IELTS、TOEFLをはじめとする語学習得支援や「英語で京都をプレゼンテーション」研修を実施し、加盟校学生の留学促進や将来の京都において国際人として活動する意識の活性化を目指し、取り組みを進めている。

また、加盟校において学生向け海外語学研修が行われている一方で、財団に留学プログラムの開発や広報を期待する意見もあることから、例えば、1～2週間程度の期間で安価、安全かつ質の高い英語学習環境を提供できる、近場の東南アジアなどをフィールドとした安近短（安全・近場・短期）のプログラム開発等に向けた検討を行っている。

#### ③ 教職員のグローバル化支援事業

スキルアップ研修や、教職員向け「IELTS pretesting」など、加盟校教職員のスキルアップを支援

していくものである。

また、加盟校における教職員の研修方法や留学生対応、海外大学との交流実績等の各校取組事例を共有することを通じた加盟校の国際化に向けた取組支援について、タイムリーかつニーズの高いテーマを設定し、茶話会やセミナー形式で引き続き実施してきた。

## (2) 留学生誘致・支援事業（留学生スタディ京都ネットワーク事業）

### 【事業計画の概要および実績】

#### ＜留学生スタディ京都ネットワーク＞

2015年度から京都地域における留学生（外国人研究者を含む。以下同じ）の誘致、受入体制の整備や、留学生の知識・経験を地域の国際化や活性化に活かすための仕組みづくりをオール京都で推進し、「大学のまち・学生のまち」としての京都の魅力向上を図るため、加盟大学、日本語学校・専修学校等の教育機関、企業、関係業界団体、関係公的機関等による「留学生スタディ京都ネットワーク」を運営し、事業を実施している。

2024年3月末時点で93団体・機関に参画いただいている。

#### 【取組の概要】

- 1 「留学先・学びのまち」としての認知度の向上（情報発信）
  - 京都留学総合ポータルサイトの運営
  - 留学生PRチームの運営
  - 海外教育旅行向け支援メニューの提供
  - 「留学先としての京都」のブランド力測定手法等の検討
- 2 各大学・日本語学校の誘致活動等の支援
  - 国内外での京都進学説明会等の開催
  - 京都留学ガイド「STUDY KYOTO」の活用
  - 会員向けセミナー・交流会の開催
- 3 留学生受入環境の整備
  - 留学生向けインターンシップの実施【有給・無給ハイブリッド型として実施】
  - 留学生のための住宅情報サイトの運営
  - 留学生向け就職支援事業の連携促進
  - 留学生支援・交流コミュニティの運営

#### 1 「留学先・学びのまち」としての認知度の向上（情報発信）

##### (1) 京都留学総合ポータルサイト「STUDYKYOTO」の運営

8言語（英・簡・繁・韓・タイ・ベトナム・インドネシア・日）により、京都の学校情報、生活情報、就職情報等、京都留学に関する情報を留学検討層と在京留学生向けに発信するもの。

在校生インタビューや留学生・OBOGインタビュー、Magazine記事の追加等コンテンツの充実を図ってきている。多言語化についても順次取り組んできているところである。

アクセス数（2023年度）：160,464セッション（2022年度160,174セッション）

## (2) 留学生PRチームの運営

京都で学ぶ現役留学生によるPRチームが、各国における日本留学関連の情報収集、京都の留学情報の現地向け発信をソーシャルメディア等により行うもの。

7か国（地域）〔中国、韓国、台湾、タイ、インドネシア、ベトナム、欧米・英語圏〕、9名体制でFacebook（英語、タイ語、中国語繁体字）、共通のInstagram、YouTubeを、また、中国へのPR強化のため、中国版SNSのWeiboとWeChat、動画投稿サイトBilibiliで発信を行っており、順調にファン数を伸ばしている。

〔Study Kyoto Facebook〕 英語（20,2180ファン）、Thailand（6,202ファン）、京都留学情報（2,961ファン）			
〔Study Kyoto Weibo〕	1,331フォロワー	〔Study Kyoto WeChat〕	2,476フォロワー
〔Study Kyoto YouTube〕	1,254フォロワー	〔Study Kyoto Bilibili〕	257フォロワー
〔Study Kyoto Instagram〕	1,922フォロワー	※2024.3末現在	

## (3) 教育旅行支援

日本を修学旅行（教育旅行）先として訪れる海外の高校生・大学生ツアーグループ、教職員グループに対し、京都留学情報の提供や京都の大学・日本語学校・専修学校等を交えた説明会、京都の大学等からの模擬講義、学生交流等のコンテンツをコーディネートする教育旅行支援を実施するもの。

学校等の要望に基づく実施していくものである。2023年度においては、この枠組としての事業実施はなかったが、2月に外部機関が実施した韓国人の高校生と京都の韓国人留学生の研修会・交流会に協力するなどの形で本事業の趣旨にかなう取り組みを実施した。

## (4) 「留学先としての京都」のブランド力測定手法等の検討

留学生にとっての京都留学の魅力やプロモーション活動の成果等について継続的に測定するため、の「留学生満足度調査」を実施するもの。

2023年度は2017年度、2020年度に引き続いて第3回目の調査を実施したものである。

大学コンソーシアム京都及び留学生スタディ京都ネットワーク加盟校（大学・日本語学校・専門学校等）すべてに調査依頼とポスター等の広報物を送付し、調査への協力依頼等を進めてきたところ、回答数は1,370、有効回答数は967と、多くの回答を得ている。

### <主な調査項目>

- ① 回答者基礎情報（出身国、所属学校、留学開始時期、日本語レベル）
- ② 生活状況（生活費、住居費、奨学金、アルバイト、住居形態）
- ③ 留学までのプロセス（京都の認知度、留学情報収集の方法、留学先の決め手）
- ④ 満足度（学校生活、課外活動、日常生活、地域交流、就職支援、文化体験、行政サービス）
- ⑤ 留学後のキャリア（将来の就業、進路相談）
- ⑥ 留学生スタディ京都ネットワークの認知状況
- ⑦ その他（コロナ支援、その他困りごとなど）

<主な集計結果>

(ア) 京都についてのイメージ

順位	1位	2位	3位	4位	5位
項目	文化的なまち	古都	観光のまち	大学・学生のまち	安全なまち

(イ) 京都での留学生生活の全体的な満足度（無回答除く％）

項目	とても満足	満足	ふつう	あまり満足していない	ぜんぜん満足していない
今回	30.6	46.1	19.3	3.0	0.9
前回	26.9	46.2	23.7	2.6	0.6

(ウ) 友達への京都留学推薦度（無回答除く％）

項目	とてもそう思う	そう思う	どちらでもない	あまりそう思わない	ぜんぜんそう思わない
今回	32.8	43.0	20.4	2.1	1.8
前回	28.3	43.0	21.9	5.4	1.4

(エ) 日本留学で参考になった情報や出来事

順位	1位	2位	3位	4位	5位
項目	Web, 雑誌, 本等	SNS	友だちや留学生	留学エージェント等	留学フェア

(オ) 将来、京都で仕事をしたいか（無回答除く％）

項目	はい	いいえ	まだ決めていない
％	43.3	12.9	43.7

(カ) 京都で仕事を見つけた後、将来どうしたいか（無回答除く％）

項目	京都ですっと仕事がしたい	将来は自国に帰って仕事がしたい	まだ決めていない	その他
％	31.2	48.4	50.5	4.2

(キ) 留学を続ける上で困っていること（複数回答％）

項目	進路（進学・就職）	学費	学習	話し相手がない	ない	その他
％	49.5	31.6	28.3	12.6	22.1	3.1

## 2 各大学・日本語学校の誘致活動等の支援

### (1) 京都留学説明会等

NW加盟校の留学生誘致活動等の支援として、海外で京都に特化した京都留学説明会を開催し、京都の留学先としての知名度向上を目指すとともに、留学生の誘致促進を図るもの。

ここ3年間はコロナ禍に伴い、現地での誘致活動は困難であったことから、オンラインで開催されるものに対して積極的に参加した。2023年度については、現地フェアの参画を本格的に再開するとともに、新型コロナウイルスを契機として定着したオンラインでのプロモーションも活用してきた。

国・地域	2023 年度
インドネシア	8月19日～20日 ジャカルタ〔主催：Jeducation〕 インドネシア留学フェア
韓国	8月5日：釜山、6日：ソウル〔主催：日本学生支援機構（JASSO）〕 2023年度日本留学フェア（韓国）
香港・マカオ	11月4日：香港、5日：マカオ資料参加〔主催：日本留学支援協会（香港）〕 日本大学展 2月17日：香港 資料参加〔主催：日本留学支援協会（香港）〕 日本留学文化展
中国	6月22日 オンライン〔主催：日中文化交流センター〕 オンライン日本留学フェア
タイ	1月27日～28日 バンコク〔主催：Jeducation〕 2024年初春タイ・インドネシア留学フェア
英国	8月8日～ オンラインブース出展〔主催：慶応義塾大学ほか〕 Experience Japan Exhibition 2023
ベトナム	11月25日：ホーチミン、26日：ハノイ〔主催：日本学生支援機構（JASSO）〕 2023年度日本留学フェア（ベトナム）
マレーシア	11月17日～18日：ペナン〔主催：日本留学支援協会（香港）〕 現地高校との交流会（3校）、日本大学フェア
JASSO	9月2日：オンライン〔主催：日本学生支援機構（JASSO）〕 日本留学オンラインフェア

## (2) 首都圏をはじめとした日本語学校への京都留学説明会等

国内における留学生誘致をより戦略的に進めていくため、首都圏の日本語学校で学ぶ留学生や教職員を主な対象に、京都の大学等への進学を促進することを目的とした「京都の大学等進学説明会」や「京都の大学と日本語学校の教職員交流会」などを実施した。

- ・ 軸足は首都圏（東京）に残しつつ、他地域（福岡など）へのアプローチを展開
- ・ 京都進学に関して、教職員向けの合同説明会と交流会を5月に、留学生向けの合同説明会及び個別説明会を7月に開催。

5月18日 5月19日	教職員向け京都進学オンライン合同説明会 京都側の大学・短大・専修学校等が日本語学校の教職員・進路担当者等に対して学校情報のPR等を実施  延べ参加校数：大学・専修学校側14校、日本語学校30校
5月25日 5月26日	教職員向け京都進学オンライン交流会 京都側の大学・短大・専修学校等と日本語学校の教職員・進路担当者等との個別相談・情報交換を開催（セッション当たり15分程度）  延べ参加校数：大学・専修学校側12校、日本語学校7校

<p>7月12日 7月13日 7月14日</p>	<p>留学生向け合同説明会 京都側の大学・短大・専修学校等が日本語学校の留学生に対して学校情報のPR等を実施。 7/12（水）大学学部 7/13（木）大学院 7/14（金）芸術系・短大・専門学校</p> <p>延べ参加校数：大学・専修学校側17校 出席者数：50名（教職員4，留学生46）</p>
<p>9月7日</p>	<p>留学生対象 国内留学フェアへの出展（大阪） 主催：アクセスネクステージ 会場：アクセス梅田フォーラム 実績なし</p>
<p>9月26～27日</p>	<p>日本語学校教職員対象 国内留学フェアへの出展（東京） 主催：アクセスネクステージ 会場：渋谷クロスタワー24階 ※ 併せて、千駄ヶ谷日本語学校・早稲田文化館・JET日本語学校において留学生スタディ京都ネットワークの取組状況の説明と各校の取組に関する情報収集を行った。</p> <p>新規開拓3校</p>
<p>12月6日</p>	<p>留学生募集担当者対象教職員交流会への出席（福岡） 主催：ライセンスアカデミー 会場：東洋ホテル1F</p> <p>参加日本語学校：6校</p>
<p>12月8日</p>	<p>日本語学校教職員対象京都進学説明会の主催（東京） 主催：留学生スタディ京都ネットワーク 委託事業者：アクセスネクステージ 会場：渋谷クロスタワー24階 ※ 併せて、12月7日～8日に、フジ国際語学院、KCP地球市民日本語学校、ヒューマンアカデミー日本語学校東京校、行知学園第二附属日本語学校、東京早稲田外国語学校新宿本校を訪問し、留学生スタディ京都ネットワークの取組状況の説明と各校の取組に関する情報収集を行った。</p> <p>参加校：大学・専修学校側10校、日本語学校14校</p>
<p>12月15日</p>	<p>日本語学校教員対象研究会（in名古屋） 主催：ライセンスアカデミー 会場：イオンコンパス名古屋笹島会議室</p> <p>参加日本語学校：4校</p>

(参考) 12/22 「日本語で話そう！（Chat in Japanese）」



京都の大学・学校に進学を検討（進学予定含む）している首都圏の日本語学校の生徒を対象に、日本の文化・留学生生活・季節ごとのテーマに京都の大学の学生と交流することを目的として、留学生支援・交流コミュニティ「KyoTomorrow Academy(京トゥモローアカデミー)」および留学生スタディ京都ネットワーク PR チームの協力し、試行的に実施

参加した日本語学校 2 校（6 名）：ヒューマンアカデミー日本語学校東京校、JET 日本語学校

### (3) 京都留学生フォト・動画コンテスト

従来から、留学生目線での京都留学の魅力を表現したフォトや動画を募集し、国内で学ぶ留学生や海外の学生に向けたコンテンツとして活用することで、京都への留学生誘致につなげてきた。

2023 年度については、フォト・動画とも一定程度ストックがあることから実施していない。

### (4) 留学生スタディ京都ネットワーク会員向けセミナー

先進事例等の把握や会員間の交流促進のため、有識者等を招いたセミナー・交流会等を実施。

<p>第 1 回 5 月 11 日</p>	<p>2023 年度留学生スタディ京都ネットワーク総会・情報交換会 参加者：41 名（総会出席者数） &lt; 情報提供団体 &gt; ① 留学生スタディ京都ネットワーク ② 京都府 ③ 京都市 ④ グローバルトラストネットワークス ⑤ 独立行政法人 都市再生機構 西日本支社 ⑥ グローカル人材ネットワークス ⑦ 京都市国際交流協会</p>
<p>第 2 回 7 月 19 日</p>	<p>外国人留学生の在留審査手続の申請取次に係る研修会（オンライン） 講師：大阪出入国在留管理局 京都出張所 統括審査官 中村 修治氏 受講者数：106 名 &lt; 昨年度実績 &gt; 7 月 13 日開催、受講者数 99 名</p>
<p>第 3 回 12 月 15 日</p>	<p>「やさしい日本語」セミナー 講師：「やさしい日本語」有志の会 杉本 篤子 氏 会場：大学コンソーシアム京都 5F 第 2～第 4 演習室 実施趣旨：学校生活だけでなく、生活の様々な場面でも役立つ「やさしい日本語」講座を開催 受講者数：9 名</p>

## 3 留学生の受入環境整備・コンテンツの強化

(\*) 印は「留学生支援・交流コミュニティ(KyoTomorrow Academy)事業」関連事業

学生生活・就職活動の体験や情報を共有する仲間を増やすための留学生支援・交流コミュニティ「KyoTomorrow Academy(京トゥモローアカデミー)」を活かして、「日本語学習支援」(日本語スタディグループや日本語学習プログラムの運営)、「就職支援」(地元企業を知る企業見学ツアー(Company Visit)や他団体との連携による就職支援)、「交流支援」(留学生同士、留学生と日本人学

生、留学生と地域活動団体等との交流機会の創出)を実施。

### (1) 留学生向けインターンシップ

京都地域の大学等で学ぶ留学生に、京都地域の企業の事業内容を理解する機会を提供するとともに、留学生と企業との相互理解を深め、卒業後の京都における採用促進や就職後の定着を図るため、有給及び無給によるインターンシッププログラムを提供するもの。

	内容等
5月24、26、27日	ガイダンス 参加者数 50名(昨年度:35名)
6月17日	企業との交流会 参加学生数46名、参加企業数 17社 → 正式エントリー 学生42名、企業17社)
8月上旬	マッチング決定
8月8日	事前研修①
8月9日	事前研修②
8月15日 ～9月末	インターンシップ就業(長期有給:7社11名、短期無給7社14名) (留学生スタディ京都ネットワークにおいても8月25日～30日、短期・無給で2名の留学生を受け入れた。)
10月28日	インターン事後研修
11月11日	インターン成果報告会

※ 例年実施しているインターンシップ(制度改正後もタイプ3としてインターン継続)に加え、オープン・カンパニー(タイプ1)として次の取組を実施。下記「(2) 企業訪問プログラム Company Visit」として実施してきた取組と類似性も大きいことから、今後、取組の整理を行っていく。

2月20日	株式会社淡交社 10名参加 (1)企業紹介 (2)職員への質疑応答 (3)ギャラリー見学 (4)茶の湯体験
-------	---

### (2) 企業訪問プログラム Company Visit (\*)

京都企業について学ぶ機会の少ない留学生に訪問の機会を提供することにより、京都企業の理解と留学生の京都での就職・定着の促進を図るもの。

8月10日	菅原精機株式会社 11名参加 (1)事業概要紹介 (2)工場見学 (3)質疑応答
3月13日	バリューマネジメント株式会社 10名参加 歴史的建造物の利活用による宿泊施設・結婚式場等の運営 歴史的資源を活用した観光まちづくり

### (3) 就業支援事業連携促進

京都で学ぶ留学生がスムーズに就職活動を行えるよう、就業支援事業を行う団体が連携を図り事業を実施しており、その一環として、京都の大学等の就職支援担当者を対象に、留学生向け就業支援事業の紹介を行う「留学生対象就業支援事業説明会」を開催。

4月28日	大学・学校向け留学生対象就業支援事業説明会（オンライン） ・留学生対象就業支援事業を行っている7団体から今年度の事業計画を説明 ・12校から参加された15名の職員がブレイクアウトルームに分かれて、就業支援活動に関する情報共有・意見交換を実施
10月5日	府・市及び関係機関による第1回就業支援担当者会議
3月5日	府・市及び関係機関による第2回就業支援担当者会議

#### (4) 合同就職説明会（\*）

他の団体と連携した留学生や企業向け交流会・合同説明会を実施するもの。

2月22日	留学生と京都のスタートアップ・地域企業等の交流会 (1)日時 令和6年2月22日（木曜日）午後1時30分～午後5時 (2)場所 京都経済センター (3)内容 講演・トークセッション（第1部） 留学生と京都企業との交流会（第2部） (4)主催 京都市、（公財）京都高度技術研究所、ジェトロ京都 ※ 大学コンソーシアム京都は後援団体として関与
-------	---

#### (5) 留学生の交流・連携促進（\*）

留学生支援・交流コミュニティ「KyoTomorrow Academy（京トゥモローアカデミー）」を活かした、学生生活や就職活動等における留学生同士、留学生と日本人学生、留学生と地域活動団体等との交流を促進。

〔KTA コミュニティ活動等〕（KTA サポートチーム等による体験・情報発信）

4月22日	琵琶湖疎水 船ツアー（疎水記念館、京都国際交流会館ほか）
5月20日	春のウェルカムセッション（会員勧誘活動、梅小路公園ほか 留学生28名参加）
6月7日	学校見学（京都民際日本語学校）
7月7日	ワールドディナー「ベトナムディナーの日」（宇多野ユースホステル）
7月15日	京都光華女子大学まちやキャンパス・祇園祭菊水鉾
8月29日	丹波ワイン株式会社（ワイン・地元野菜など）
9月8日	龍安寺（わび・さび学習）
9月30日	秋のウェルカムセッション（会員勧誘活動、キャンパスプラザ京都）留学生15名参加
10月25日	同志社大学学生団体 SEED・組みひも体験
2月21日	文化庁・山田香木店

〔留学生と地域の交流・連携促進〕

留学生と留学生の交流を希望する市民活動団体等との交流会を開催し、マッチングの機会を創出するとともに、留学生交流事業担当者会議をベースに、担当者間の情報共有や留学生交流に関する情報の効果的な発信手法の検討など事業連携を促進するもの。

<今年度実績・予定>

10月14日	～京瓦の老舗（しにせ）を訪ねる～ 〔伝統技術とイノベーションの現場を見てみよう～ ～京瓦をめぐる今昔ものがたり～〕 会場：浅田製瓦工場（京都市伏見区） 留学生 18 名参加
12月16日	～宇治っ子朗読劇団☆GENJIを訪ねる～ 〔1000年前の京都・宇治に思いをはせてみよう～子供たちが描く源氏物語の世界～〕 会場：宇治市文化センター（京都府宇治市） 留学生 15 名参加
2月10日	～竹の里・乙訓で京銘竹を学ぼう～ 会場：ディスカバー京都長岡京 別邸「竹葉庵」 内容：竹の魅力説明、放置竹林などの地域課題を説明、竹のかごの編み方講座 留学生 15 名参加

(6) 日本語で話そう！（Chat in Japanese）（日本語スタディグループ）（\*）

日本人学生サポーターを中心に留学生向けに日本語を使ったアクティビティを実施。

<今年度実績・予定>

6月10日	日本語で話そう！ ① （16名参加）
7月14日	日本語で話そう！ ② （17名参加）
7月22日	日本語で話そう！ ③ （15名参加）
8月26日	日本語で話そう！ ④ （19名参加）
10月7日	日本語で話そう！ ⑤ （17名参加）
10月19日	日本語で話そう！ ⑥ （15名参加）
11月10日	日本語で話そう！ ⑦ （23名参加）
12月9日	日本語で話そう！ ⑧ （20名参加）
12月22日	日本語で話そう！ ⑨ （9名参加）※国内誘致事業との連携
2月3日	日本語で話そう！ ⑩ （23名参加）
3月6日	日本語で話そう！ ⑪ （26名参加）
3月16日	日本語で話そう！ ⑫ （30名参加）

(7) 日本語学習支援プログラム（\*）

留学生の日本語運用力の更なる向上を目指し、何らかの知識・経験が得られる機会と併せて日本語学習ができるセミナーを企画・開催（全3回シリーズ）。今年度は秋学期（10～11月）において実施している〔講師：京都光華女子大学キャリア形成学科 教授 上田 修三 氏〕。

10月21日	キャリア形成のための日本語講座① 受講者数 13名
--------	---------------------------

10月28日	キャリア形成のための日本語講座②	受講者数	10名
11月4日	キャリア形成のための日本語講座③	受講者数	9名

### (3) 学生の海外留学・交流促進事業

#### 【事業計画の概要および実績】

#### (1) オーストラリア（メルボルン）語学研修プログラム留学 ※単位互換〔龍谷大学国際学部主催〕

加盟校学生に様々なレベルでの留学機会を提供できるよう、大学コンソーシアム京都とビクトリア大学連携組織との協定に基づくオーストラリアビクトリア州メルボルンでの留学派遣プログラムを実施。新型コロナウイルス感染拡大に伴い、2020年度は事業実施を見送り、2021年度はオンライン留学として実施したものであるが、2022年度は、3年ぶりに現地渡航によるプログラム実施した。

ただし、本事業については、各大学における留学プログラムが充実してきていることや、オンライン等での留学など、様々な環境変化がみられることを踏まえ、主催大学との協議のうえ、2023年度以降の実施を見送るとともに、大学コンソーシアム京都独自の留学プログラムの再構築を含め、今後の方向性を検討しているところである。

#### (2) 英語で京都をプレゼンテーション

海外留学を目指す学生や英語で日本・京都の魅力を発信することに興味がある学生を対象に、日本文化や京都の奥深い魅力を英語で知り理解する機会を提供し、京都や日本の魅力について英語でプレゼンテーションできる能力の向上を図る研修事業を実施（今年度の受講者は6名←途中で1名減少したため）。

5月27日	①icebreak、日本概論、京都概論、伝統文化講義
6月3日	②伝統文化華道体験
6月10日	③日本庭園見学〔平安神宮神苑〕
6月17日	④伝統文化茶道体験
6月24日	⑤日本・京都の衣食住・名所・行事講義、留学生ディスカッション
7月8日	⑥個人プレゼンテーション

※ 例年、修了者のうち希望者には、京都市から「京都 PR 学生大使」に任命される。今年度は8月9日（水）に「京都 PR 学生大使」任命式を開催し、修了者全員（6名）が大使に就任。

#### (3) 学生向け英語試験対策講座

日本人学生の海外留学促進に向けた IELTS や TOEFL など英語試験対策講座を実施。

8月3日	IELTS スキルアップセミナー（サンプルテスト及び解説）	受講者 20名
	※ 教職員向けと合同実施	
10月9日	TOEFL iBT テストスキルアップセミナー	受講者 31名

#### (4) 安近短（安心・安価、近場、短期）な語学留学プログラムの開発

加盟校学生に様々なレベルでの留学機会を提供できるよう従前から取り組んでいる「オーストラリア・メルボルンにおける海外語学研修」に加え、中長期にわたる本格的な海外留学につながるきっかけづくりを促進するため、留学初心者でも参加しやすい安近短な留学プログラムを新たに開発することを目指し、事例調査などの情報収集を継続的に進めてきている。

2023年度は京都外国語大学や、国立マレーシア科学大学日本文化センターにもご協力いただき、具体的な海外留学・研修プログラムとしての実施に向け、検討を続けてきた。

#### (5) 京都韓国教育院との連携

京都韓国教育院は、韓国と外務省が協議の上に設立した駐大阪大韓民国総領館の附属機関である。今年度になり、留学生スタディ京都ネットワーク留学生誘致プロモーションワーキンググループの庵途座長（立命館大学文学部教授）からの紹介があり、日本人における韓国への留学促進及び韓国から日本への留学促進の両方向の進展を見据え、会議やイベントへの出席を通じて、今後取組に向けた情報収集及びパイプ作りを進めてきている。

6月24日～25日	韓国留学博覧会 in 日本（京都）への出席
10月9日	日韓国大学生文化フォーラムへの出席
11月	留学生満足度調査の実施について周知協力
2月1日	韓国青少年訪日研修における協力

### (4) 教職員のグローバル化支援事業

#### 【事業計画の概要および実績】

##### (1) 教職員スキルアップ研修

高等教育の国際化が加速するなか、大学教員・職員の英語運用能力に加え、多様な文化的背景を持つ留学生と円滑な意思疎通を図るための、語学を超えた習慣や社会通念、宗教等への理解も欠かせないものとなっていることから、実務能力の底上げとスキルアップに対する意欲向上を図るため、様々な場面を想定したケーススタディができる英語運用能力向上研修や英語圏以外の文化を学ぶ研修を実施。

今年度予定	内容等
7月22日 (対面)	「Everyday Communication」【語学】 〔講師：マーク・オーウェン・コスロウスキ氏（株式会社アイベック）〕
7月29日 (対面)	「Email & ウェブ会議で使える英語表現」【語学】 〔講師：マーク・オーウェン・コスロウスキ氏（株式会社アイベック）〕
8月5日 (対面)	「Meeting & Discussion」【語学】 〔講師：ゲレン・グレカス氏（株式会社アイベック）〕
8月26日 (オンライン)	「東アジア諸国を中心としたイスラム文化研修」【文化】 〔講師：ハガルト・プリヤヒタ氏（株式会社アイベック）〕
9月2・6日 (オンライン)	「ビジネス英語リテラシー：大学における異文化理解と英語によるコミュニケーション」 〔講師：西川美香子氏（長崎大学多文化社会学部准教授）〕
9月9日 (オンライン)	アクティブラーニング演習：遠隔授業にも活かせる英語を使った科目の教授法 〔講師：西川美香子氏（長崎大学多文化社会学部准教授）〕 ⇒ 受講希望者が少なかったことから、講師との協議をへて開催中止

##### (2) 教職員向け IELTS Pretesting 体験会

学生からの問い合わせへの対応力を高めるため、教職員向けの IELTS Pretesting も実施。

8月3日	IELTS 体験イベント（サンプルテスト及び解説）【再掲】 ※ 学生向けと合同実施
------	--

### (3) 加盟校の国際化に向けた取組事例共有セミナー

教職員の国際化支援の一環として、大学における様々な国際化の取組に係る事例共有セミナーを実施。2022年度については留学生スタディ京都ネットワークで実施する会員向けセミナーと一体の取組として実施した。

11月8日	テーマ：「グローバル人材育成のために大学ができること～マレーシア・Taylor's University の経験から～」 会場：キャンパスプラザ京都 2階第1会議室 講演者：Raja Edriana Baizura 氏 (Taylor's University) 塩川 雅美 氏 (大学未来創造研究所) 参加者：14名
-------	---

## 国際事業部 各種委員会等の開催について

### (1) 国際連携事業

#### ① 国際連携事業運営委員会

2023年12月12日 第一回会議

2024年3月13日 第二回会議

### (2) 留学生スタディ京都ネットワーク事業

#### ① 留学生スタディ京都ネットワーク運営委員会

2024年2月1日 第一回会議

2024年3月28日 第二回会議

#### ② 留学生誘致プロモーションワーキンググループ

2023年10月24日 第一回会議

2023年12月22日 第二回会議 ②③の合同ワーキングとして

2024年3月12日 第三回会議 ②③の合同ワーキングとして

#### ③ 留学生満足度向上ワーキンググループ

2023年12月22日 第一回会議 ②③の合同ワーキングとして

2024年3月12日 第二回会議 ②③の合同ワーキングとして

### (1) 調査企画事業

#### 【事業計画の概要および実績】

第5ステージ（2019-2023年）の最終年度にあたる2023年度は引き続き、事業の効果検証と効率的な事業運営を図りながら、プランに掲げた数値目標等の達成を目指した取組を推進した。

広報事業においては、加盟校のプロモーションに資する取組として、京都学生広報部の活動の定着化とより一層の活性化を図る。専用サイト「コトカレ」における京都のPR記事の配信を積極的に行い、活動の指標となるコトカレPV数（閲覧件数）の年間100万PVの達成に向けて取り組んだ。また、学生広報部員と中高生・企業等とのタイアップ事業の実施など、情報波及力を高める事業にも積極的に取り組むとともに、京都の大学生のための公式アプリ「KYO-DENT」の配信をとおして、学生同士のつながりや学びの深化に向けた取組も進めた。

都市政策事業、地域連携事業については、事業開始から15年以上が経過し、一定、加盟校への事業の浸透と取組の定着化がみられている。第5ステージでは、これまでの取組実績やノウハウをより一層広めるため、2019年4月に開設した、大学・地域連携ポータルサイト「がくまちステーション」などを活用し、取組の活性化と裾野の拡大に取り組んだ。

#### 1 財団指定調査課題

調査事業企画検討委員会において、各年度の指定調査課題の進行管理やテーマ設定等の検討を行い、第5ステージプランに掲げた施策を推進した。

##### (1) 2022年度調査課題（2件）

ア 多様性の包摂に向けた合理的配慮の取組事例調査と大学間連携組織の可能性

（担当：学生支援事業部）

【研究代表者】京都大学学生総合支援機構障害学生支援部門（DRC）准教授 村田 淳

イ 京都地域における効果的な地域連携活動

（担当：調査・広報事業部）

【研究代表者】京都橘大学経営学部経営学科助教 大田 雅之

##### (2) 調査研究費について

1件あたり150万円（上限額）

##### (3) スケジュール

ア 2022年度調査課題

2022年4月

調査研究開始

2022年9月6日

第1回調査事業企画検討委員会

2022年11月1日

第2回調査事業企画検討委員会・中間報告会

2023年3月16日

第3回調査事業企画検討委員会・研究報告会

2023年4月11日

調査研究成果報告書提出

2023年7月

調査研究成果報告書公開、加盟校等へ共有



## イ 2023年度調査課題

次期中期計画（2024-2028年度）を策定するにあたり、財団全事業を見渡し、各事業が抱える課題の確認や効果（成果）の検証、また、それらを踏まえた2024年度以降の財団事業の方向性を示す端境期であるため、課題の設定を見送った。

## 2 「共通指標」に基づく財団基礎データの収集

2016年度から全事業（協働事業を除く）で「共通指標」に基づく量的、質的データの収集を開始。現在、2016年度から2021年度の6年間のデータを集約して財団ホームページで公開している。なお、2022年度集計結果は2023年11月2日に公開した。

年度	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022
提供事業数	44	38	40	40	44	47	45

## 3 中期計画の策定と運用

### (1) 第6ステージプラン（計画期間：2024-2028年度）（仮称）

財団では、5年ごとに財団の目指すべき方向性や事業のあり方についてまとめた「ステージプラン」を策定し、事業運営の指針としている。現行の「第5ステージプラン（2019-2023年度）」は2017年度に設置した大学政策委員会において事業方針等を取りまとめ、2019年1月開催の理事会に答申、同年3月に策定した。2019年度からは年に一度、一般向けの事業進捗報告会を開催。

2022年度は、大学政策委員会、同幹事会、次期中期計画策定検討プロジェクトチーム会議を開催し、第5ステージプランの事業検証及び第6ステージに向けた検討課題を洗い出すとともに、「第6ステージプラン（2024-2028年度）」（仮称）のコンセプトを固めた。

#### 第5ステージプランの概要

計画期間	2019-2023年度（5年間）
ビジョン	だれもが学び、つながる京都へ ～地域とともに個性と特色を活かした多様な学びの展開～
施策の柱と 主な新規事業	柱1 大学間連携による学びの提供と充実 柱2 大学教職員の能力開発と交流機会の充実 柱3 大学の枠を超えた学生間の交流・活動支援 柱4 オール京都での国際交流推進 柱5 大学・学生・地域社会との連携による京都地域の発展と活性化 柱6 高等教育の環境変化に対応する組織運営

#### 2022年度大学政策委員会等スケジュール

4月27日～5月31日	加盟校アンケートの実施
7月13日	第1回大学政策委員会
7月28日～9月2日	加盟校ヒアリングの実施
9月6日	第1回プロジェクトチーム会議
9月14日	第1回大学政策委員会幹事会
10月12日	第2回大学政策委員会
11月9日	第2回大学政策委員会幹事会

11月17日	第2回プロジェクトチーム会議
1月18日	第3回大学政策委員会幹事会
2月8日	第3回大学政策委員会
3月2日	第3回プロジェクトチーム会議
3月8日	第4回大学政策委員会
3月11日	第6回理事会

2023年度は、以下のスケジュールに従い、大学政策委員会、同幹事会、次期中期計画策定検討プロジェクトチーム会議を開催し、「第6ステージプラン（2024-2028年度）」の策定に向けて検討を重ねた結果、2024年1月20日の第6回理事会で最終承認をもらい、策定した。

#### 第6ステージプランの概要

計画期間	2024-2028年度（5年間）
目 標	大学間連携・地域振興の核となるプラットフォームの実現
方 針	京都だからこそできる取組の追求 大学間連携のさらなる深化+進化
領域及び 主な事業	<p><b>【Field I 大学間連携】</b> 単位互換事業、産学連携教育事業（旧インターンシップ事業）、高大連携事業、生涯学習（京カレッジ）事業、FD・SD事業、障がい学生支援事業</p> <p><b>【Field II 産官学民連携】</b> リカレント教育事業、アントレプレナーシップ事業、地域連携・地域活性化事業</p> <p><b>【Field III 学生支援】</b> 学生組織支援事業、留学生誘致・支援事業、海外留学・交流促進事業</p> <p><b>【戦略企画】</b> 共同研究調査事業、広報戦略事業</p> <p><b>【クロスファンクショナルチーム】</b> 協働教育支援事業、パイロット事業</p>

#### 2023年度大学政策委員会等スケジュール

5月10日	第1回大学政策委員会幹事会	※プロジェクトチーム会議随時
6月14日	第1回大学政策委員会	
7月12日	第2回大学政策委員会幹事会	
7月27日	加盟校説明会	
9月13日	第3回大学政策委員会幹事会	
10月11日	第2回大学政策委員会	
11月8日	第4回大学政策委員会幹事会	
12月13日	第3回大学政策委員会	
1月20日	第6回理事会	
2月27日	第6ステージプラン冊子納品	

## (2) 「大学のまち京都・学生のまち京都推進計画」について

京都市の大学政策の指針となる、「大学のまち京都・学生のまち京都推進計画」を京都市と財団が協働し策定している。2017年度から、大学のまち京都・学生のまち京都推進会議（通称：推進会議）において、2019年度から2023年度までの推進計画の具体的な検討を行い、2019年3月に策定した。当財団の次期中期計画とも密接に連携しながら取組を推進した。

10月26日 令和5年度「大学のまち京都・学生のまち京都」推進会議

## 4 京都B&Sプログラム

京都観光推進協議会（事務局：京都市観光MICE推進室）、JTB京都支店との協働事業で、2014年度から実施。京都に来る修学旅行生（中高生）を対象に、学生ボランティア（有償）がガイド役となって京都を案内する。その過程で、市内の大学構内へ立ち寄り、将来の進学意欲の喚起や大学生との触れ合いを通じ「大学のまち京都」の魅力を発信する。学生ボランティアの確保に課題があり、財団のインカレ団体や広報媒体を通じた、情報発信などにより、登録者の確保に協力している。

### 【受入実績】

- 2016年度：23校（3,064名）
- 2017年度：30校（3,399名）
- 2018年度：29校（3,848名）
- 2019年度：21校（2,166名）
- 2020年度：1校（51名）
- 2021年度：7校（843名）※オンライン実施を含む
- 2022年度：17校（2,197名）
- 2023年度：19校（2,528名）

## (2) 広報事業

### 【事業計画の概要及び実績】

第5ステージでは、情報収集・発信機能の強化を掲げ、加盟校に有益な情報について組織的に対応し、情報の収集・発信を行う。広報事業として、京都学生広報部の活動充実などに取り組み、専用サイト「コトカレ」の年間100万PV達成を目指している。

- ①財団ウェブサイトとSNS等による財団事業の発信機能強化
- ②京都学生広報部の専用ウェブサイト「コトカレ」の充実と情報発信力の強化
- ③学生広報部と中高生、企業とのタイアップ事業の展開

### 1 財団ウェブサイト・SNSの運用

財団ウェブサイトのアクセス実績の解析・状況分析を実施し、アクセス数の増加、情報発信力の強化を図った。SNSについてはfacebookとTwitterを運用。

## 2 会報等の発行

### (1) 財団 Information (財団紹介パンフレット)

毎年6月に更新。2021年度は中刷り（加盟組織・沿革）のみ更新（2021年9月）

2022年度は冊子本体と中刷りを更新。2022年7月20日発行済。

2023年度は、2024年度に大幅な会報誌の変更が見込まれるため、冊子本体と中刷りの軽微な修正を更新。2023年7月発行済。

### (2) 会報誌

年1回発行（2023年3月発行済）

→2023年度は、2024年度の30周年記念誌の発行の準備のため、発行見送り

## 3 京都学生広報部

「大学のまち京都・学生のまち京都」の魅力を経済の大学生たちが全国の中高生に発信することを目指して2015年9月に創部。同年10月に専用ウェブサイト「コトカレ」を開設した。

京都市及び運営支援を委託するクリエイター育成協会、株式会社タグラインと協働で学生部員への支援を行っている。具体的には将来大学生となる中高生にとって魅力あるコンテンツを制作することで中高生の読者の増加を目指し、また、中高生との交流事業等に取り組んでいる。幅広い広報展開によってステークホルダーや京都地域全体のPRにつなげるよう努めた。

### (1) 概要

ア 開設年度：2015年9月 ※京都市との協働事業

イ 部員数：76名（17大学：2024年3月31日時点）

大学・短期大学名	部員数	大学・短期大学名	部員数	大学・短期大学名	部員数
京都大学	5	京都芸術大学	1	京都精華大学	0
京都橘大学	2	京都光華女子大学	1	京都外国語大学大学院	1
京都産業大学	10	同志社大学	19	龍谷大学	6
京都女子大学	13	同志社女子大学	1	佛教大学	1
花園大学	1	立命館大学	9	京都外国語大学	1
京都府立大学大学院	1	京都府立大学	2	大谷大学	2

ウ 公開記事数及びページビュー数（閲覧数）

年度	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023
公開記事数	105件	66件	131件	165件	133件	161件	106件	55件	75件
PV数	75,210	159,969	423,579	678,031	660,468	619,236	647,315	687,548	558,361

エ 月間ページビュー数（閲覧数）

年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2017	16,696	18,224	22,178	17,490	13,658	53,725	35,403	55,754	47,776	39,014	43,177	60,484
2018	66,110	56,409	45,710	43,608	48,846	69,302	53,783	84,633	44,971	42,332	51,277	65,080
2019	47,510	52,300	48,498	48,059	45,628	50,955	47,228	73,084	43,663	55,911	62,493	85,139

2020	53,884	52,477	44,239	40,479	51,268	47,639	44,291	40,946	40,594	48,898	52,475	102,046
2021	118,150	52,017	45,373	44,542	37,016	46,494	43,666	40,246	39,468	46,234	51,240	82,869
2022	92,460	49,712	52,268	50,568	47,489	51,845	52,179	48,116	47,769	54,848	61,172	79,122
2023	84,021	49,848	48,906	52,139	51,582	42,673	40,857	35,869	29,675	34,236	37,429	51,126

## (2) 主な事業

### ア 研修事業

広報部員のスキルアップを目的とした研修を実施。

#### ①研修会 1 「よい記事とは」を考えるー取材準備から執筆までー

講師：堀川 諭氏（京都産業大学外国語学部准教授）

日時：2023年4月20日（木）

参加人数：22名

#### ②研修会 2 カメラ研修会ー基礎から始める人物撮影ー

講師：上掛 周平氏（京都市役所職員）

日時：2023年10月26日（木）

参加人数：6名

#### ③研修会 3 カメラ研修会ーゼロから始める撮影機材の使い方ー

講師：上掛 周平氏（京都市役所職員）

日時：2023年11月29日（水）

参加人数：3名

### イ 中高生・企業等との協働事業

#### ①平安神宮プロジェクト

多くの若者に平安神宮に来てもらうことを目的とした平安神宮とのコラボ企画。

写真サークルの学生などを対象に平安神宮での撮影会・交流会を開催した。

開催日時：2023年9月17日（日）14時～17時

参加人数：21名（部員除く）

#### ②よしもとプロジェクト

よしもと祇園花月とのコラボ企画で、よしもと祇園花月の認知度向上、学生の来場者の増加を目的とする。

<過去の実績>

- ・2019年度 劇場でイベントを開催
- ・2020年度～2022年度 オンラインでの取材を中心に祇園エリアの魅力を発信するための記事や、フリーペーパーを作成した。

<2023年度の実績>

- ・7月16日、よしもと祇園花月に出演した大学生コンビ「リッケンジョリーナ」（同志社大学

喜劇研究会所属) を取材。

- ・1月15日、女性コンビ「天才ピアニスト」を取材。
- ・よしもと祇園花月とのコラボイベントを開催した。

イベント名:「京都学生広報部presents祇園花月大学

～0B・0Gが帰ってきた!?ホームカミングデー2024～」

開催日時:2024年2月4日(日)18時45分開場 19時15分開演

会場:よしもと祇園花月

出演者:ロングコートダディ、祇園、ネイビーズアフロ、天才ピアニスト、ナイチンゲールダンス、令和喜多みな実 河野良祐(MC)、大学サークル5団体、京都学生広報部

内容:芸人さんのネタ披露、大学生のお悩み相談会、サークル・団体紹介

チケット:学生1,000円(学生証の提示が必要)一般2,000円

チケット最終枚数:427枚(一般369名、招待58名)※キャパ502席

#### ウ 部員募集等

4月と5月に新入部員歓迎会を開催した結果、6名が入部した。また、10月8日(日)には京都学生祭典にブース出展し、さらなる部員獲得を目指しPRした。

11月からInstagram広告(2万円分)を実施。

#### 4 「大学のまち京都 学生のまち京都」公式アプリ「KYO-DENT」の開発

京都市との協働事業。京都でしか味わえない学生生活を実現するための様々な取組や、学生向けの各種情報を学生に直接かつ確実に届けるとともに、学生のニーズなどを把握し、学生を対象とする取組の改善や新たな事業創設の基盤につなげるためのアプリを2020年3月から配信開始。

##### (1) 趣旨・目的

- ① 京都でしか味わえない学生生活の実現
- ② 京都の魅力を感じた学生の就職を含めた地域への定着
- ③ 京都での学生生活のブランド化による新たな学生の獲得

##### (2) 主な機能

- ① お得情報  
学割等の学生向けサービスを展開している店舗や施設の情報をマップ上やカテゴリ別に配信。
- ② イベントカレンダー  
京都ならではの学生向けイベント情報をカレンダー形式で配信。
- ③ ニュース  
京都市、大学コンソーシアム京都などから、学びの充実につながる学生向けニュースを配信。
- ④ ポイント  
記事の閲覧などのアプリの利用で、電子マネー(計120種類以上)に交換できるポイントを発行。
- ⑤ 京めばえ機能  
アプリの利用に応じてポイントを獲得できる機能。

### (3) 推進体制

京都市と財団が事務局を務め、京都経営者協会、(公財)京都高度技術研究所、京都学生広報部、京都学生祭典実行委員会で構成される「京都ならではの学び・魅力向上」協議会が事業の企画・運営、予算管理等を行う。なお、アプリの機能やデザイン等は、同協議会の下に設置した学生プロジェクトチームにおいて検討された。

2023年6月29日 2023年度第1回協議会を開催

### (4) 広報活動

- 7月21日 京都産業大学に KYO-DENT の食堂に三角柱 70 部を新たに設置
- 8月8日 大学生協へデジタルサイネージを使った周知やチラシ等の設置を依頼  
(京都大学・京都橘大学・同志社大学へポスター、チラシを郵送)
- 11月22日 大学生協へ来年度新入生の案内に KYO-DENT のチラシを同封依頼。  
京都府医大・府大、立命館大学、同志社大学、京都工芸繊維大学へ送付。
- 12月6日 京都市立芸大の学生に KYO-DENT のチラシ・ポスターの新デザインを依頼。
- 3月中旬 リニューアル広報物印刷後、加盟校へ郵送。
- 3月25日～4月23日 Instagram 広告配信。

### (5) ダウンロード数の推移 (2020.3.26～)

年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2019												367	367
2020	349	576	489	435	831	1,103	1,386	1,331	679	504	826	1,351	9,860
2021	2,255	489	1,157	781	655	407	1,113	1,083	608	464	662	1,502	11,176
2022	2,775	1,667	1,034	606	600	835	951	951	477	486	605	869	11,856
2023	2,040	1,587	1,031	728	615	840	767	869	533	521	583	817	10,931

累計ダウンロード数：44,190件

## (3) 都市政策研究推進事業

### 【事業計画の概要および実績】

#### 1 京都から発信する政策研究交流大会

加盟校の学生が、日頃の研究や学習成果の発表の場として互いに交流を深め、都市政策に活かすことを目的に2005年度から開催。

大会は、加盟校の政策系学部の教員で構成する「都市政策研究推進委員会」が中心となり、企画・審査を実施するほか、学生実行委員会の活動への助言等を行っている。

#### (1) 第19回大会について

- ア 日時 2023年12月17日(日)10時～17時
- イ 会場 龍谷大学 深草キャンパス 和顔館

## ウ 応募実績

	エントリー	応募者	発表組数
組数	102	88	79※

※発表枠数は80組だが、1組、口頭発表を辞退  
(2022年度参考) 応募者108組、発表者63組

## エ 研究奨励賞受賞者一覧

賞名	部門	発表題目	区分	団体名	所属大学名
大学コンソーシアム京都理事長賞	口頭・論文	シビックテックによるまちづくり展開支援 ー市民の視点が変わる京都市の協働モデルー	団体	野田ゼミC班	同志社大学
日本公共政策学会賞	論文	嵐山地区におけるARによるごみ箱の場所案内	団体	京都府立大学公共政策学部公共政策学科 2回生駒寄ゼミA	京都府立大学
優秀賞	口頭発表	京都丹後鉄道の上下分離のあり方に関する研究 ー「地域に愛される鉄道」を実現するための3ステップー	団体	福知山公立大学3年杉岡ゼミ	福知山公立大学
		カラーユニバーサルデザインに配慮した観光情報のアクセシビリティに関する研究 ー「もうひとつの京都」公式HPの事例からー	団体	福知山公立大学地域経営学部佐藤充ゼミ CUD班	福知山公立大学
		商店街と伝統産業のコラボレーション ー千本商店街・朱雀大路の街における京うちわの宣伝・展示の事例ー	団体	佛教大学社会学部大谷ゼミ 京うちわ班	佛教大学
		時間銀行「おあいこバンク」導入案 ー新たな助け合いの形による地域の繋がり強化ー	団体	同志社大学政策学部 風間ゼミナール時間銀行班	同志社大学
		アクセシビリティを高める公共トイレの構築 ーインタビュー調査によるトイレ利用者等の声をもとにー	団体	京都産業大学 藤野ゼミAチーム	京都産業大学
		Re:空き家vation ー宮津に泊まって、宮津を知るー	団体	菅原ゼミ×宮津市府中C班	京都産業大学
		京都市におけるシカ肉有効活用モデルの提案 ー循環型社会の実現を目指してー	団体	鹿プロジェクト	龍谷大学
		自治会脆弱化を改善する自治会等予算提案制度 ー一定年男性の孤立化解消を手がかりにしてー	団体	同志社大学政策学部 野田ゼミB班	同志社大学
		住民のための京都市財政情報発信のあり方	団体	京都府立大学玉井ゼミ	京都府立大学
		学校種別をふまえた機動的な教育プラットフォーム ー京都市の教育現場における業務負担軽減のためにー	団体	同志社大学政策学部 野田ゼミA班	同志社大学



## (2) 実施スケジュール

(2023 年)

5 月 19 日	第 1 回都市政策研究推進委員会
6 月 16 日	エントリー開始
6 月 30 日	応募者向け説明会（説明動画の公開）
8 月 4 日	エントリー締切
9 月 15 日	第 2 回都市政策研究推進委員会
10 月 24 日	論文提出締切
11 月 10 日	発表者資格審査会
11 月 21 日	発表者向け説明会
12 月 8 日	第 3 回都市政策研究推進委員会
12 月 17 日	第 19 回京都から発信する政策研究交流大会

(2024 年)

2 月 16 日	第 4 回都市政策研究推進委員会
3 月 12 日	政策提言懇談会（研究奨励賞受賞者による発表、行政機関との意見交換）

## (3) 学生実行委員会

加盟校の学生で構成。大会広報チラシの作成、SNS による PR 活動、大会当日の学生企画の企画、運営及び大会の運営補助を担当。

<学生企画>

テーマ：「京都の秘宝：政策と歴史を解き明かすクイズクエスト」

目的：京都地域に関するクイズ企画を通して、多様な参加者同士が交流しながら楽しむとともに、京都地域への理解を深めることを目的とする。

内容：所属大学が異なる様々な学生が集まる貴重な機会を活かし、学生同士の交流に重きを置いた企画を実施することで、参加者相互の距離を縮めるとともに、クイズを通して京都地域について理解を深める企画内容とする。また、分科会での口頭発表で緊張していた参加者がクイズという気軽な企画へ参加することで、リラックスしてもらうことも目指す。

<2023 年度 学生実行委員（9 名）>

大学・短期大学名	人数	大学・短期大学名	人数
京都教育大学	1	京都先端科学大学	3
京都産業大学	1	同志社大学	1
京都女子大学	1	龍谷大学	2

#### (4) 大学別発表件数

大学名	第14回 (2018)		第15回 (2019)		第16回 (2020)	第17回 (2021)	第18回 (2022)	第19回 (2023)
	口頭	パネル	口頭	パネル	口頭	口頭	口頭	口頭
京都大学	(1)	0	(1)	0	0	0	0	0
京都府立大学	3(1)	1	8(1)	1	2	4	4	6
福知山公立大学	1	2	2	5	10	6	7	9
大谷大学	0	0	0	0	0	0	0	4
京都先端科学大学	0	0	0	0	0	4	2	5
京都産業大学	7	1	13	3	15	19	14	19
京都女子大学	0	0	0	0	1	1	1	0
京都橘大学	3	0	3	0	1	4	2	5
京都文教大学	1	0	1	0	1	2	1	0
同志社大学	10	5	12	2	12	11	13	15
佛教大学	8	2	9	3	3	4	3	5
立命館大学	12(2)	5	8	2	1	0	1	1
龍谷大学	9	1	11	0	10	17	15	10
計	55(4)	17	68(2)	16	56	72	63	79

※ ( ) 内は大学院生の数

#### (5) 来場者数の推移

第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	第8回	第9回
238	149	632	420	524	545	410	317	362
第10回	第11回	第12回	第13回	第14回	第15回	第16回	第17回	第18回
377	451	423	352	392	507	433	607	446
第19回								
463								

※発表者、一般聴講者（学生実行委員、職員、審査員は除く。）の合計

## (4) 地域連携事業

### 【事業計画の概要および実績】

京都のまちの発展、活性化を目指し、加盟校が有する知と人材、学生の活力を生かした地域との連携事業を京都市と連携して実施している。

#### 1 大学地域連携創造・支援事業（愛称：学まちコラボ事業）

大学の求める人材育成に資する実践的教育・研究機会の確保と地域ニーズに基づき、大学の知や学生の活力を生かした地域課題の解決や地域活性化を目的とし、大学と地域との連携による取組に対して助成金を交付し、学生の学びと成長を支援している。

2021年度以降、2017年度から設けていた「文化枠」の募集は行わず、「一般枠」のみの募集としている。2023年度は11事業への補助を行った。

2023年度は、2024年度募集パンフレットについて、京都市立芸大の学生にデザインを委託し、一新した。

#### (1) 令和5（2023）年度のスケジュール

4月1日～5月19日 募集期間

6月8日 一次（書類）審査（書面開催）

6月18日	二次(プレゼンテーション)審査
7月19日	認定式・取組スタート
11月21日	第3回企画・選考委員会
3月20日	成果報告会・交流会

## (2) 令和5(2023)年度の応募実績

申請件数：11事業

採択団体：11事業（条件付き採択：2事業※）

※10, 11位については、学まちコラボ事業に求められる水準に達していないが、新規事業であることに鑑みて、今後の展開に期待し減額の上、奨励事業として採択。

## 2 大学×地域連携ポータルサイト「がくまちステーション GAKUMACHI STATION」

財団ではこれまで、大学・学生・地域と連携した活動を支援し、学生の学びと成長、地域の活性化を図ることを目的に、サークルや学生グループによるまちづくり活動を支援する「学まちコラボ事業」や、大学を挙げた地域連携の取組を支援する「学まち連携大学」促進事業の実施のほか、都市にかかわる課題について学生が調査・研究した成果を政策提案する「京都から発信する政策研究交流大会」の開催、加盟校における地域連携の取組紹介ページ「まちづくり事例集」の作成など、多様な地域連携事業に取り組んできた。2019年4月には、こうした地域連携にかかわる幅広い情報やノウハウを網羅したポータルサイトとして「がくまちステーション」を開設（まちづくり事例集は本サイトに再編）し、大学・学生と地域との連携活動の活性化を図るべく運用している。

### (1) 掲載内容

#### ア 学まちコラボ事業

2018年度の活動実績を中心に2017年度以前の報告集を掲載。

2019年度からSDGsアイコンによる検索機能を追加。

#### イ 「学まち連携大学」促進事業

- ・2016～2019年度の採択校の取組を紹介（大谷大学、京都教育大学、京都女子大学、京都橘大学、同志社女子大学、龍谷大学）
- ・2020年度からの採択校の取組を紹介（京都光華女子大学・京都光華女子大学短期大学部、花園大学、京都橘大学、龍谷大学・龍谷大学短期大学部）
- ・採択校による事例紹介などによる、大学・地域連携シンポジウムの紹介

#### ウ 京都から発信する政策研究交流大会

優秀賞受賞者の発表論文及び発表データ、推進委員（教員）へのインタビュー記事を掲載。

#### エ 加盟校における地域連携活動の取組

上記ア～ウの取組以外の加盟校独自の大学・学生・地域連携の活動を紹介。

### (2) スペシャルコンテンツ

地域連携活動やまちづくりの分野などのトップランナーのインタビュー記事などを随時更新。

### (3) 検索機能

京都府下の市町村、大学名、取組分野のキーワードで取組が検索可能。

2019年度からSDGsアイコンによる検索機能を追加。

### 3 「学まち連携大学」促進事業

地域社会との関わりの中で得られる学生の学びと成長の機会を創出する取組を、大学の組織的な取組として定着させることを目的に、2016年度から地域と連携した実践的な教育プログラムの開発・実施に取り組む大学に補助金を交付し、取組を支援してきた。

2020年度からは全学的に地域連携に取り組む大学の裾野の一層の拡大を図るため、新たに対象となる取組を増やして募集を行ない、新たに4大学を採択し、4箇年にわたる支援を実施している。

2022年度は9月29日に中間評価会を実施し、11月30日に講評をHPで公開。

2023年度は（2020～2023年度）の最終年度となるため、成果報告会を3月22日に行った。

#### (1) 採択大学及び採択事業（2020～2023年度）

##### スタートアップ型

大学名	申請事業名
京都光華女子大学・ 京都光華女子短期大学部	京で学び・京で働き・京に暮らす ～地域連携型プログラムの展開～
花園大学	利他の精神に基づいた地域連携教育プログラムの推進事業

##### 発展型

大学名	申請事業名
京都橘大学	山科・醍醐地域で「変化を楽しむ」地域連携型教育プログラム
龍谷大学・龍谷大学短期大 学部	伏見をフィールドにした地域連携型教育プログラムの展開 - まちぐるみキャンパス（学び合いのコミュニティ）の深化 -

（参考）2016年度学まち連携大学促進事業採択大学

大谷大学、京都教育大学、京都女子大学、京都橘大学、同志社女子大学、龍谷大学

#### (2) 支援スキーム

	スタートアップ型	発展型
対象大学	加盟大学のうち、2016年度学まち連携大学促進事業及びCOC、COC+に採択された大学（参加大学を除く）以外の大学・短期大学	加盟大学のうち、2016年度学まち連携大学促進事業の採択大学等、全学的に地域連携を促進している大学・短期大学
支援金	1年目：200万円、2年目：160万円、 3年目：120万円、4年目：100万円 （4年間最大580万円）	1年目：300万円、2年目：240万円、 3年目：190万円、4年目：150万円 （4年間最大880万円）

### 4 大学・地域連携シンポジウム

学まちコラボ事業や各区のまちづくり支援事業を含めた大学・地域連携事例を広く発信するとともに、大学・地域連携活動に関わる学生や大学関係者、地域団体等が交流する機会を創出するため、「大学・地域連携サミット」を京都市と協働で2016年度から開催している。2021年度は「シンポジウム」に改め。

2022年度は募集要項に基づき中間評価会を開催するためシンポジウムの実施はなし。代わりに学まちコラボ事業の取組内容等を「がくまちステーション」で公開し、広く周知を行った。

2023年度は、「学まち連携大学」促進事業が2023年度で終了となり、同事業の最終報告会を別途実施することから、シンポジウムは実施を見送る。

## 各種委員会等の開催について

### (1) 調査企画事業

#### ① 調査事業企画検討委員会

- |            |              |
|------------|--------------|
| 10月31日     | 第1回委員会       |
| 11月11日～18日 | 第2回委員会（書面会議） |
| 2月29日      | 第3回委員会       |

#### ② 「大学のまち京都・学生のまち京都推進会議」

- |        |       |
|--------|-------|
| 10月26日 | 第1回会議 |
|--------|-------|

### (2) 都市政策研究推進事業

#### ① 都市政策研究推進委員会

- |        |                      |
|--------|----------------------|
| 5月19日  | 第1回委員会               |
| 9月15日  | 第2回委員会               |
| 11月10日 | 発表者資格審査会             |
| 12月8日  | 第3回委員会               |
| 12月17日 | 第19回京都から発信する政策研究交流大会 |
| 2月16日  | 第4回委員会               |

### (3) 地域連携事業

#### ① 学まちコラボ事業（大学地域連携創造・支援事業）企画・選考委員会

- |        |                             |
|--------|-----------------------------|
| 6月8日   | 2023年度採択事業一次審査（※対面もしくは書面開催） |
| 6月18日  | 2023年度採択事業二次審査              |
| 7月19日  | 認定式                         |
| 11月21日 | 企画・選考委員会                    |
| 3月20日  | 成果報告会                       |

### (4) 広報事業

#### ① 「京都ならではの学び・魅力向上」協議会

- |       |              |
|-------|--------------|
| 6月29日 | 2023年度第1回協議会 |
|-------|--------------|

## 総務部 事業進捗

### (1) 総務業務（法人運営・庶務）

#### 【事業計画の概要および実績】

##### <概要>

##### ◆法人運営

##### (1) 機関会議

法人の意思決定を行うため、評議員会、理事会、運営委員会を開催する。また、会員団体への事業報告等の場として会員総会を開催する。（日程、主な議題等については「各種委員会等の開催について」参照）

##### (2) 大学のまち・京都 サマーミーティング

大学コンソーシアム京都の事業推進や京都市の大学政策の参考とすること、京都の大学と京都市の一層の連携を図ることを目的とし、8月26日に加盟大学学長と京都市長との懇談会を開催した。

8月26日（土） サマーミーティング 開催形態：対面  
10:00～13:00

### (2) 財務・経理業務

#### 【事業計画の概要および実績】

##### <概要>

本業務は、財団の予算執行管理及び財産の運用などを担当する。安定的に事業を運営するため、事業の選択と集中を推進し、経費節減、特定財産の計画的な活用等、効率的な財政運営を図る。

##### <実績>

5月30日（火）	2022年度決算監査
6月24日（土）	2022年度事業報告・決算承認
6月30日（水）	2022年度事業報告・決算書を内閣府に提出
9月20日（水）	予算説明会
11月 8日（水）	2024年度事業計画・予算基本方針承認 当初予算、アクションプラン作成依頼
1月20日（土）	2023年度補正予算承認
3月 9日（土）	2024年度事業計画書・当初予算承認

### (3) 研修業務

#### 【事業計画の概要および実績】

##### <概要>

財団職員の能力向上のために研修企画を策定し、実施する。本年度は総務部が主体となり、以下の日程で研修を実施する。また、次期ステージプラン策定に向けて、高等教育行政などに理解を深める研修を実施するなど、研修メニューの充実を図る。

##### <実績>

4月 1日 (土)	新入職員オリエンテーション
4月19日 (水)	ハラスメント防止規程に基づく業務の説明会 (ハラスメント相談員、及び役職者対象)
5月17日 (水)	事業部業務説明会 (教育事業部、教育開発事業部、国際事業部)
6月21日 (水)	事業部業務説明会 (学生支援事業部、調査・広報事業部、総務部)
7月19日 (水)	個人情報保護に関する研修
8月23日 (水)	SPOD (四国地区大学教職員能力開発ネットワーク) フォーラム
～8月25日 (金)	2023 (愛媛大学 城北キャンパス) <教育開発事業部2名>
9月2日 (土)	大学行政管理学会・研究集会 (文教大学 東京あだちキャンパス、
～9月3日 (日)	Zoom 併用) <全国コンソと日程重複、参加なし>
9月20日 (水)	ハラスメント研修
10月23日 (月)	総合消防訓練
午前	参加者：大学コンソーシウム京都職員、委託業者、テナント等 スタッフ 計54名
12月22日 (金)	大学政策のトピックをテーマとした研修会 (第3回)
2月21日 (水)	「救急救命」の対応に係る実技研修 (予定)
職員会議後	
3月13日 (水)	出向満了者等業務成果報告会

### (4) 全国大学コンソーシウム協議会事業

#### 【事業計画の概要および実績】

##### <概要>

本事業では、全国の大学コンソーシウム組織(大学連合体・大学連携組織)からなる協議会組織「全国大学コンソーシウム協議会」の事務局として、運営委員会・総会の開催、協議会予算の執行管理等を行う。情報交換・交流の場として「全国大学コンソーシウム研究交流フォーラム」を開催する。

##### ○第20回全国大学コンソーシウム研究交流フォーラム

日 時：2023年9月2日 (土)・3日 (日)

会 場：常葉大学 静岡草薙キャンパス (静岡市駿河区弥生町6-1)

テーマ：(全体テーマ)

大学コンソーシウムが紡ぐ持続可能な地域社会づくり

～アフターコロナ時代を見据えた新たな価値の創造を目指して～

## <実績>

- 4月26日（水） 2022年度 監査報告（監事）
- 5月20日（土） 第1回運営委員会（主要議題：決算等）
- 6月 1日（木） 第2回運営委員会（主要議題：協議会規約の一部改正等）※書面会議
- 6月15日（木） 第1回幹事会（主要議題：決算、協議会規約の一部改正）※書面会議
- 9月 2日（土） 協議会総会（主要議題：決算・予算等）
- 9月 3日（日） 第3回運営委員会（主要議題：第20回フォーラムについて）
- 2月 3日（土） 第4回運営委員会（主要議題：第21回、第22回フォーラムについて）
- 2月15日（木） 第2回幹事会（主要議題：代表幹事の選任）※書面会議

## （5）勤労学生援助会・表彰奨学金事業

### 【事業計画の概要および実績】

#### <概要>

本事業では、「勤労学生援助会」の事務局として、理事会等の開催・予算の執行管理等を行う。「勤労学生援助会」では、人物・学業とも他の学生の模範となる学生で、学費や生活費をアルバイト及び奨学金等に頼り、家庭からの援助が皆無に近い学生や、京都地域の社会活動で著しく貢献した学生を表彰し、奨学金を給付する。

#### <実績>

- 6月 9日（金） 第1回理事会
- 7月27日（木） 通常総会・理事会
- 9月 1日（金） 表彰学生推薦依頼
- 2月 6日（火） 表彰学生選考委員会
- 3月14日（木） 勤労学生表彰・奨学金贈呈式

## （6）施設管理事業（指定管理）

### 【事業計画の概要および実績】

#### <概要>

施設管理事業は、京都市から指定管理者として2023年度から2026年度までの4年間の再指定を受け、キャンパスプラザ京都の管理運営を行っている。引き続き、施設運営に必要な委託業者（受付、警備、清掃、各種インフラ管理等）と連携を図りながら適切な施設管理を行う。

#### <実績>

##### 【保守点検実施】

- 4月10日（月）、4月24日（月）、5月 8日（月）、5月22日（月）、6月 5日（月）、
- 6月19日（月）、7月10日（月）、7月24日（月）、8月 7日（月）、8月28日（月）、
- 9月11日（月）、9月25日（月）、10月16日（月）、10月30日（月）、11月13日（月）、



11月27日（月）、12月11日（月）、12月18日（月）、1月15日（月）、1月29日（月）、  
2月5日（月）、2月19日（月）、2月26日（月）、3月4日（月）、3月11日（月）、  
3月18日（月）

**【第1講義室の使用停止について】**

映像音響システム制御機器の故障に伴い、2023年4月1日（土）から当面の間、第1講義室は使用を停止中。

**【全館停電について】**

停電実施日：2024年2月5日（月）

※電気事業法の規定により制定された、自家用電気工作物保安規程で規定した点検基準に基づき、受変電設備精密点検を停電して実施した。

**【貸室予約について】**

次年度予約日：2024年3月5日（火）（一般：3カ月、大学6カ月）

※2024年度の各大学への使用予定事業の調査と京都市への優先使用・大学コンソーシアム主催事業の仮予約は11月1日（水）に案内を送付。2月10日（土）正午必着です。

**【大学院等共同サテライト】**

- ・入居者募集（7/中旬 加盟校に周知、8/31募集締切）

第1～8講習室のうち、第3講習室（明治国際医療大学、2023/4/1～2028/3/31）以外の最大7講習室（内4部屋は2023年度で契約満了）について募集。

新規応募はなし。3大学が更新。1大学が2023年度で満了。

〔参考〕

第1講習室	立命館大学	（2024/3/31契約満了、2024/4/1～1年で更新）
第2講習室	京都文教大学	（2024/3/31契約満了、2024/4/1～1年で更新）
第3講習室	明治国際医療大学	（2023/4/1～2028/3/31）
第4講習室	京都外国語大学	（2024/3/31契約満了、2024/4/1～貸室化）
第5講習室	空室	（2017/3/31退去、現在貸室として利用）
第6講習室	空室	（2017/3/31退去、現在貸室として利用）
第7講習室	龍谷大学	（2024/3/31契約満了、2024/4/1～1年で更新）
第8講習室	空室	（2022/3/31退去、現在貸室として利用）

## 総務部 各種委員会等の開催について

### ■開催報告■

#### (1) 総務業務(法人運営)

##### ①評議員会

- 5月17日(水) 第1回(主要議題:評議員の辞任・選任について 他)※書面会議  
6月24日(土) 第2回(主要議題:2022(令和4)年度事業報告及び決算について 他)  
以下、予定  
3月9日(土) 第3回(主要議題:2024(令和6)年度事業計画及び予算について 他)  
3月19日(火) 第4回(主要議題:専務理事の報酬について)  
※書面会議

##### ②理事会

- 4月28日(金) 第1回(主要議題:運営委員の選任について 他)※書面会議  
6月1日(木) 第2回(主要議題:2022(令和4)年度事業報告及び決算について 他)  
※書面会議  
6月24日(土) 第3回(主要議題:運営委員の選任について、理事長職務執行報告 他)  
9月21日(木) 第4回(主要議題:臨時職員規則の一部改正について 他)  
※書面会議  
11月25日(土) 第5回(主要議題:電子取引データの訂正及び削除の防止に関する事務処理規程 他)  
1月20日(土) 第6回(主要議題:2023(令和5)年度 公益財団法人大学コンソーシアム京都 補正予算について 他)  
2月20日(火) 第7回(主要議題:顧問の辞任と選任について)  
※書面会議  
3月9日(土) 第8回(主要議題:2024(令和6)年度 公益財団法人大学コンソーシアム京都 事業計画及び予算について 他)  
3月12日(火) 第9回(主要議題:副理事長の選任、専務理事の選任)  
※書面会議

##### ③会員総会

- 6月24日(土) 報告事項 2022(令和4)年度 公益財団法人大学コンソーシアム京都  
事業報告及び決算について

##### ④運営委員会

- 4月12日(水) 第1回(主要議題:第1回理事会の開催について 他)  
5月17日(水) 第2回(主要議題:2022(令和4)年度事業報告及び決算について 他)  
6月14日(水) 第3回(主要議題:第21回京都学生祭典における大学分担金について  
他)  
7月12日(水) 第4回(主要議題:2023年度大学執行部塾の実施報告について 他)  
9月13日(水) 第5回(主要議題:第4回理事会の開催について 他)  
10月11日(水) 第6回(主要議題:第5回理事会の開催について 他)

- 11月 8日（水） 第7回（主要議題：2024年度事業計画策定及び予算編成の基本方針について 他）
- 12月13日（水） 第8回（主要議題：第6回理事会の開催について 他）
- 1月17日（水） 第9回（主要議題：2023（令和5）年度 公益財団法人大学コンソーシアム京都 補正予算について 他）
- 2月14日（水） 第10回（主要議題：役員賠償責任保険の継続加入について 他）
- 3月 6日（水） 第11回（主要議題：2024（令和6）年度 公益財団法人大学コンソーシアム京都事業計画・予算について 他）

## （2）財務・経理業務

専門委員会等なし

## （3）研修業務

専門委員会等なし

## （4）全国大学コンソーシアム協議会事業

### ① 全国大学コンソーシアム協議会 運営委員会

- 5月20日（土） 第1回運営委員会（主要議題：決算等）
- 6月 1日（木） 第2回運営委員会（主要議題：協議会規約の一部改正等）※書面会議
- 9月 2日（土） 協議会総会（主要議題：決算・予算等）
- 9月 3日（日） 第3回運営委員会（主要議題：第21回フォーラムについて）
- 2月 3日（土） 第4回運営委員会（主要議題：第21回、第22回フォーラムについて）

### ②全国大学コンソーシアム協議会 幹事会

- 6月15日（木） 第1回（主要議題：決算、協議会規約の一部改正等）※書面会議
- 2月15日（木） 第2回幹事会（主要議題：代表幹事の選任）※書面会議

## （5）勤労学生援助会・表彰奨学金事業

### ① 勤労学生援助会理事会・選考委員会

- 6月 9日（金） 第1回理事会  
（主要議題：事業・決算報告、会則の変更、後任人事 他）
- 7月27日（木） 通常総会  
（主要議題：事業・決算報告、会則の変更、後任人事 他）
- 2月 6日（火） 表彰学生選考委員会
- 3月14日（木） 勤労学生表彰・奨学金贈呈式